B5FJ-3511-01

マイリカバリで
いざというときも安心

FMかんたんバック
アップでバックアップ

Q&A集

パソコンを復元する
(リカバリ)

廃棄・リサイクル

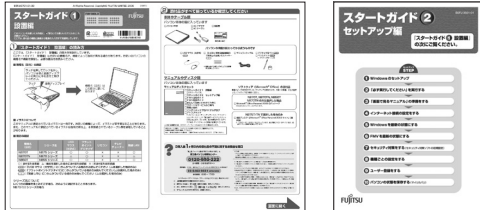
こまったときにはこの1冊!

トラブル解決ガイド

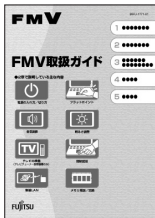
FUJITSU

マニュアルのご案内

冊子のマニュアル

スタートガイド（1　設置編　2 セットアップ編）

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ

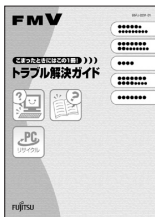
- 『スタートガイド1　設置編』
- 『スタートガイド2　セットアップ編』

FMV取扱ガイド

- 各部の名称と働き
- パソコンの取り扱い
  - ・電源の入れ方/切り方
  - ・音量の調節
  - ・輝度の調節　など
- 周辺機器の設置/設定/増設
- お手入れ
- 仕様一覧

FMVテレビ操作ガイド

テレビチューナー内蔵機種に添付

- テレビについて
  - ・テレビの見かた
  - ・録画のしかた
  - ・保存のしかた
- テレビなどに関するQ&A

トラブル解決ガイド

- マイリカバリ
- バックアップ
- トラブル解決Q&A
- リカバリ（ご購入時の状態に戻す）
- 廃棄・リサイクル

サポート&サービスのご案内

- ユーザー登録・特典
- AzbyClubのご案内
- 困ったときは
- 故障かな？ と思ったときは
- お問い合わせ先
- 操作指導サービス
- お問い合わせ票/修理依頼票

この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

画面で見るマニュアル

説明している主な内容

- パソコンの基本
- セキュリティ対策
- インターネット／Eメール
- FMV使いこなし事例集
- パソコン本体の取り扱い
- 周辺機器の接続
- 添付ソフトウェア一覧
- 困ったときのQ&A

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

テクニカルコミュニケーター協会が定める「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

画面で見るマニュアルの始め方

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV画面で見るマニュアル」の順にクリック

参照の探し方

冊子のマニュアルの本文内に、≫「＊＊＊＊＊＊（文書番号）」とある場合は、『画面で見るマニュアル』で検索してご覧ください。

文書番号：≫ の横にある6桁の数字

参照

▼ Windows の画面について

『画面で見るマニュアル』≫「920010」で検索

→「Windows の画面と各部の名称」

文書番号（6桁の数字）を入力して「検索する」をクリック

FMV 画面で見るマニュアル バージョン情報:V1.

920010

検索する

検索のヒント

FMV 画面で見るマニュアル

❶ 文書番号（6桁の数字）を入力

❷「検索する」をクリック

文書番号の内容が表示

「目次」、「検索」、「索引」など、他にもいろいろな探し方があります。

『画面で見るマニュアル』について詳しくは、画面右上の ? 使い方 をクリックしてください。

目次

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

第 5 章 廃棄・リサイクル

第 6 章 付録

困ったときには まずこちらをご覧ください。
トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

起動／終了

画面

音／スピーカー

CD／DVD

キーボード／マウス／フラットポイント

無線LAN／モデム

インターネット

Eメール

Q&A集

ソフトウェア／ドライバ

プリンタ／印刷

Windowsの操作

その他、Windows の基礎知識や豆知識については、
『画面で見るマニュアル』→「1. パソコンの基本」をご覧ください。

文字入力

その他

画面に表示されるメッセージ

テレビ

（テレビチューナー内蔵機種のみ添付）

- 画面が表示されない
- DVDが再生できない、DVDの画像が乱れる
- Blu-ray Discが再生できない
- 地上アナログ放送が映らない、映像が不鮮明
- 地上デジタル放送が映らない
- BSデジタル、110度CSデジタル放送が映らない
- リモコンが効かない
- ディスクをセットして録画ボタンを押しても、
  地上アナログ放送をDVDに録画できない
- デジタル放送で、メッセージが表示される

FMVテレビ操作ガイド

その他、テレビについてのQ＆Aは、
『FMVテレビ操作ガイド』→「困ったときのQ＆A」をご覧ください。

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
▶	参照先を記述しています。
参照	参照していただきたいマニュアルを記述しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。 （起動方法について、このマニュアルの巻頭でご案内しています。）
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER	FMV、DESKPOWER
FMV-TEO	FMV、TEO
FMV-BIBLO	FMV、BIBLO
FMV-BIBLO LOOX	FMV、BIBLO LOOX、LOOX
Microsoft® Office ナビ 2007	Office ナビ
Microsoft® Office Outlook® 2007	Outlook 2007
Microsoft® Office Personal 2007	Office Personal 2007 または Office 2007
Microsoft® Office PowerPoint® 2007	Office PowerPoint 2007 または PowerPoint 2007
Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP または Windows XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP または Windows XP Professional
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005	Windows XP または Windows XP Tablet PC Edition
Windows Vista™ Home Premium	Windows または Windows Vista または Windows Vista Home Premium
Windows Vista™ Home Basic	Windows または Windows Vista または Windows Vista Home Basic
Windows® Internet Explorer® 7	Internet Explorer 7 または Internet Explorer
Norton Internet Security 2007	Norton Internet Security
Roxio Easy Media Creator	Easy Media Creator
辞書 & 検索ソフトシリーズ 広辞苑第五版	広辞苑第五版
辞書&検索ソフトシリーズ 現代用語の基礎知識 2007年版	現代用語の基礎知識
ＦＭＶ 画面で見るマニュアル V1.1	画面で見るマニュアル
スーパーマルチドライブ、 CD-RW/DVD-ROM ドライブ、 Blu-ray Disc ドライブ、 ポータブルスーパーマルチドライブ、 ポータブル CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD/DVD ドライブ
アプリケーションディスク 1、 アプリケーションディスク 2	アプリケーションディスク

各部名称について

次にあげる一部の各部名称は、機種により異なるため、このマニュアルでは次のように表記しています。

各部名称	このマニュアルでの表記
電源ボタン パソコン電源ボタン 電源スイッチ メインスイッチ	電源（パソコン電源）ボタン
電源ランプ パソコン電源ランプ 電源 / スタンバイランプ	電源（パソコン電源）ランプ
フラットポイント フラットポイントデジタイザ	フラットポイント
ディスプレイ テレビ（TEO でディスプレイとしてお使いの場合）	ディスプレイ

インターネット上の情報について

インターネット上に掲載されている情報（画像、映像、音楽、文書などのデータ）のほとんどは、著作権法により保護されています。
個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人のホームページなどに掲載することはできません。

商標および著作権について

カスタムメイドモデルについて

このマニュアルの本文中に「富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルで、ご購入時にスタンダードセットを選択した場合」または「カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方」という表記があります。
これはインターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート)」で「カスタムメイドモデル」をご購入の際に、「ソフトウェア」の項目で「スタンダードセット（Office なし)」を選択した方が対象になります。

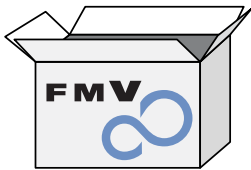
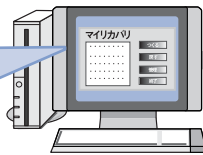
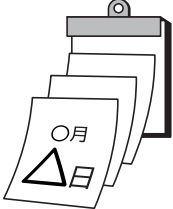
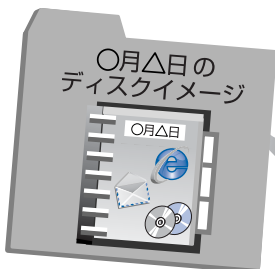
第 1 章

「マイリカバリ」で いざというときも安心

「マイリカバリ」は、インターネットや E メールなどの各種設定が終了した後に、自分の好きなタイミングで、ハードディスクのディスクイメージを作成しておくことができるソフトウェアです。
「マイリカバリ」を使うと、自分で保存しておいた時点の状態に戻すことができます。
ここでは、「マイリカバリ」の使い方について説明します。

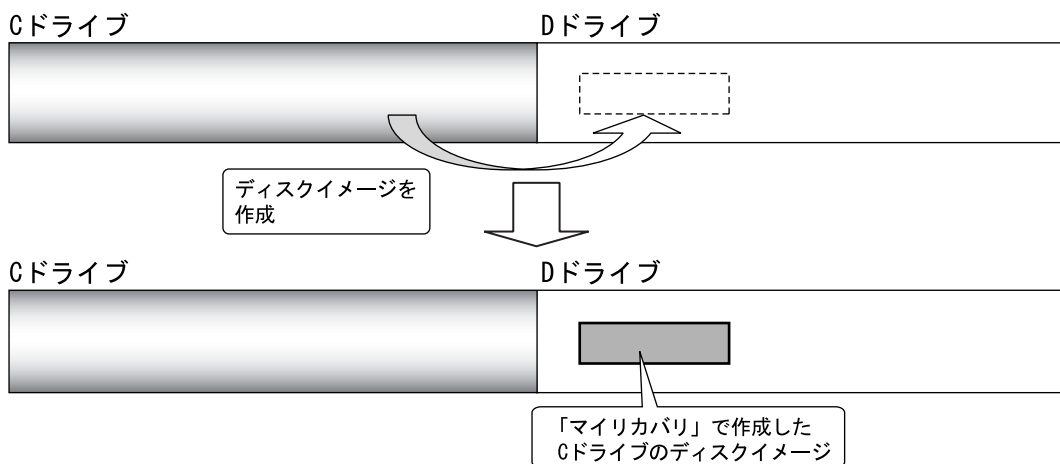
「マイリカバリ」で いざというときも安心

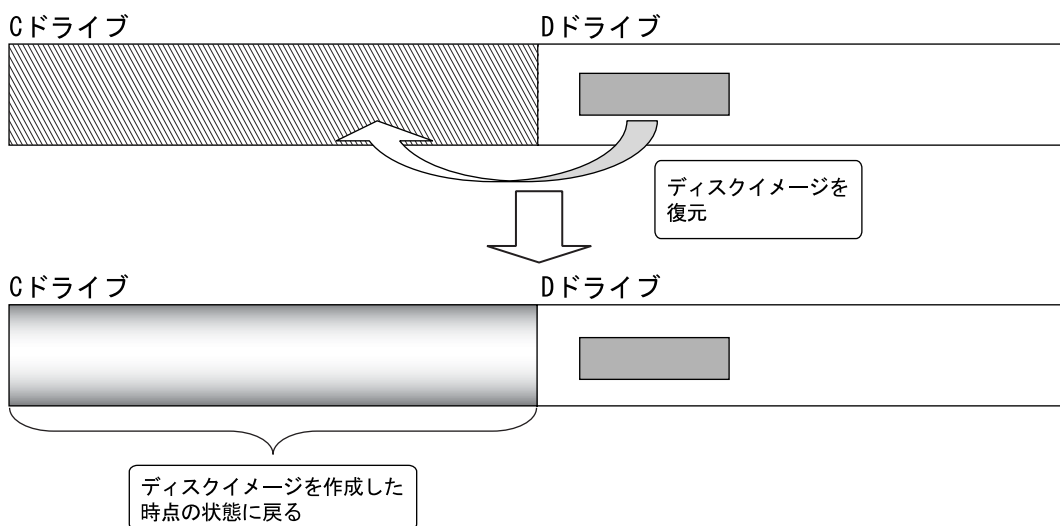
1 「マイリカバリ」とは

「マイリカバリ」を使ったリカバリについて、簡単に説明します。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

「マイリカバリ」でできること

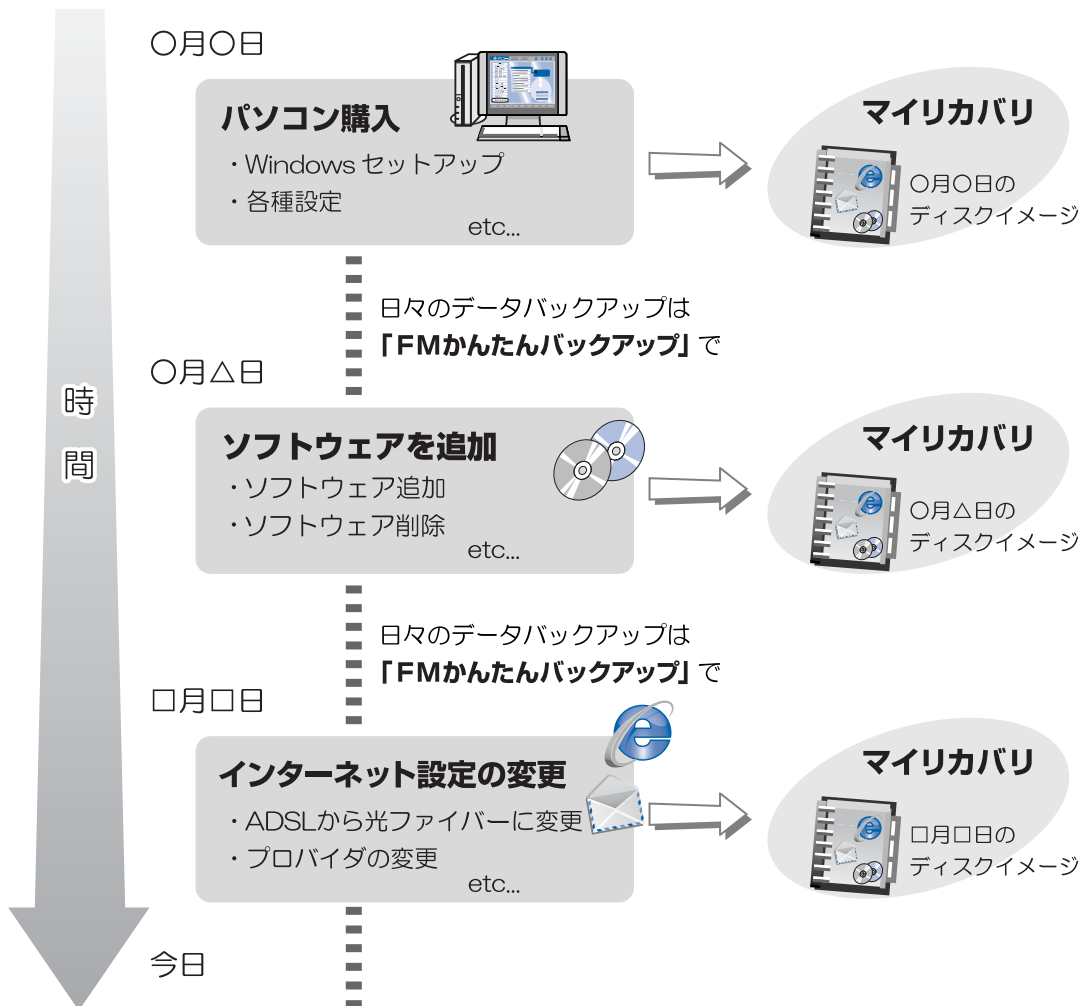
「マイリカバリ」は、ハードディスク（C ドライブのみ）をまるごとディスクイメージとして保存しておき、必要なときにディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻すことのできるソフトウェアです。
「マイリカバリ」を使ったリカバリを行うにはどのような作業が必要か、簡単に説明します。

ディスクイメージを作成する

ディスクイメージとは、ハードディスクに格納されたあらゆる情報のコピーが保存されているファイルです。
「マイリカバリ」では、C ドライブのデータをまるごとディスクイメージとして D ドライブに保存します。C ドライブをまるごと D ドライブにバックアップしておくようなものと考えればよいでしょう。

ディスクイメージを復元する

ディスクイメージを復元して、C ドライブを前の状態に戻すことを、「マイリカバリ」を使ったリカバリをするとも言います。
ディスクイメージを使ったリカバリを行うと、C ドライブが、ディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻ります。

お勧めの使い方

万が一、何らかの不具合が生じてパソコンの調子がおかしくなったときに、パソコンの調子が良かったときの状態をそのまま保存したディスクイメージが作ってあれば安心です。ディスクイメージが作ってあれば、「マイリカバリ」を使って、簡単な操作でパソコンを調子の良かったときの状態に戻すことができます。
C ドライブのバックアップとして、次のイメージ図のように定期的にディスクイメージを作成しておくのもお勧めです。また、DVD にディスクイメージを保存しておけば、パソコンに不具合があった場合でも安心です。

「マイリカバリ」で いざというときも安心

2 ディスクイメージを作成する

いざというときに備えて、C ドライブのディスクイメージを作成しておくと安心です。
ここでは、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する方法を説明します。

重 要

パソコンに不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください

ディスクイメージを作成すると、パソコンの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。パソコンに不具合が起こっているときはディスクイメージを作成しないでください。

外付けハードディスクは必ず取り外してください

パソコン本体の USB コネクタ、または IEEE1394（DV）端子に、外付けハードディスクを接続している場合は、ディスクイメージを作成する前に、必ず取り外してください。
外付けハードディスクが接続されていると、ディスクイメージが作成できません。

「リカバリ＆ユーティリティディスク」以外で領域を設定した場合

「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使用せずに、市販のソフトウェアなどでハードディスクの領域設定を行った場合、「マイリカバリ」はお使いになれません。

D ドライブを拡張領域に設定した場合

D ドライブを拡張領域に設定していると、「マイリカバリ」はお使いになれません。

1 デスクトップの（マイリカバリ）をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

POINT

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます。

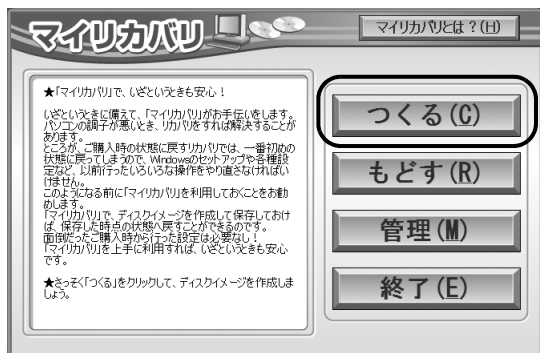
1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。
2. 「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。
3. （マイリカバリ）をクリックして選択し、「実行」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

2 「続行」をクリックします。

「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

3 「閉じる」をクリックします。

「マイリカバリ」が表示されます。

4 「つくる」をクリックします。

POINT

Dドライブの空き容量が不足しているというメッセージが表示されたときは

「マイリカバリ」で作成されるディスクイメージはDドライブに保存されるため、Dドライブの空き容量が足りない場合に表示されます。
次の方法でDドライブの空き容量を増やしたり、作成するディスクイメージの容量を減らしたりしてください。

- 「マイリカバリ」の「管理」で不要なディスクイメージを削除する
- Dドライブにある不要なデータを削除する
- Cドライブにある不要なソフトウェアを削除（アンインストール）する

5 作成するディスクイメージに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

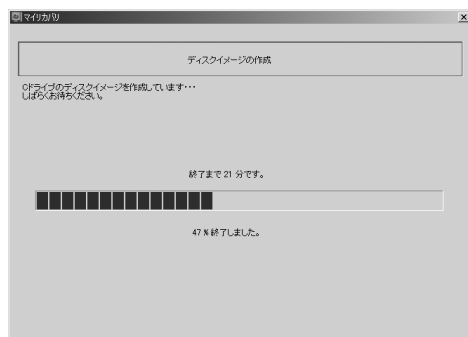
6 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。
「ディスクイメージの作成」という画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

7 「ディスクイメージの作成」という画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

8 「実行」をクリックします。

9 ディスクイメージを作成し始めます。しばらくお待ちください。

しばらくすると、「ディスクイメージを作成しました。」と表示されます。

10 「完了」をクリックします。

Windows が再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージが D ドライブに保存されました。

POINT

作成したディスクイメージは、DVD に保存できます

DVDにディスクイメージを保存しておけば、パソコンにもしものことがあった場合でも安心です。ディスクイメージをDVDに保存しておくことをお勧めします。詳しくは、「ディスクイメージをDVDにコピーする」（P.25）をご覧ください。

3 「マイリカバリ」で いざというときも安心

ディスクイメージを復元する

「マイリカバリ」であらかじめ作成しておいたディスクイメージを、復元する方法を説明します。

重要

ディスクイメージを作成した後に C ドライブに保存したデータは失われます

ディスクイメージを復元すると、C ドライブが、ディスクイメージを作成した時点の状態に戻ります。よって、ディスクイメージを作成した後に C ドライブに保存したデータは、すべて失われます。ディスクイメージを作成した後に保存したデータは、D ドライブや CD/DVD などの別の媒体にバックアップをしてください。

バックアップ方法については、「「FM かんたんバックアップ」でバックアップ」(••▶ P.31)をご覧ください。

外付けハードディスクは必ず取り外してください

パソコン本体の USB コネクタ、または IEEE1394(DV)端子に、外付けハードディスクなどを接続している場合は、ディスクイメージを復元する前に、必ず取り外してください。

外付けハードディスクが接続されていると、ディスクイメージが復元されません。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 お使いの機種に合わせて、次の操作を行います。

■DESKPOWER LX シリーズの場合

電源が切れた状態で、パソコン前面のフラップを開けて診断ボタンを押します。起動メニューが表示されたら、手順 4 に進んでください。

起動メニューが表示されないときは、キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備して、手順 3 に進んでください。

■BIBLO NF75/70/50/40 シリーズ、MG70 シリーズの場合

電源が切れた状態で Support ボタンを押します。この後、手順 4 に進んでください。

■上記以外の機種の場合

キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。この後、手順 3 に進んでください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が変わるまで何度も押してください。

しばらくすると、起動メニューが表示されます。

重要

FUJITSU ロゴ画面が表示されないときは

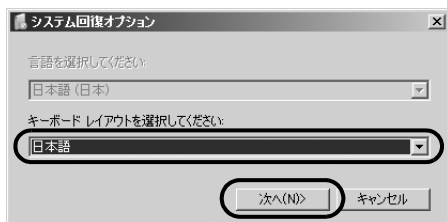
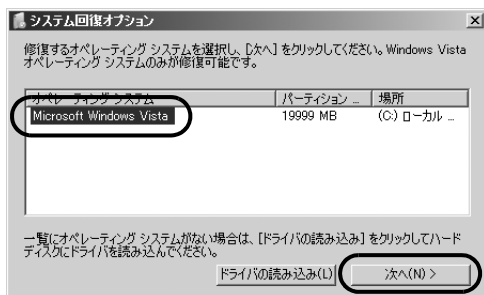
(スタート)→ ▶ の ▶ →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

4 起動メニューが表示されたら、⬇を押して、「< トラブル解決ナビ >」または「<Recovery and Utility>」を選択し、Enterを押します。

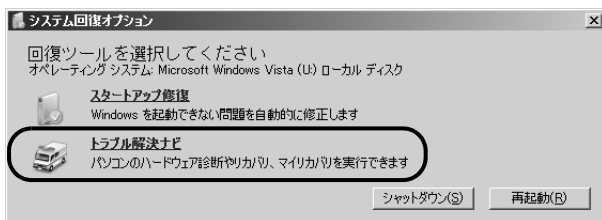
重要

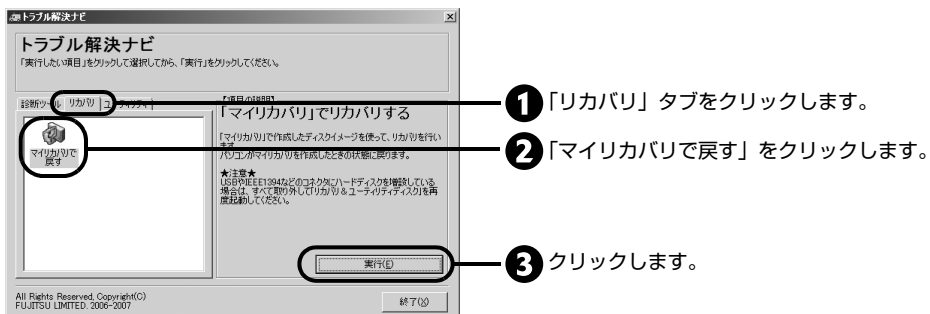
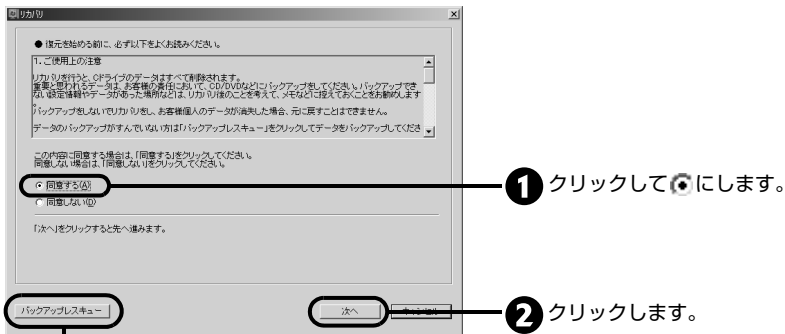
「< トラブル解決ナビ >」または「<Recovery and Utility>」が表示されないときは

BIOS の設定を初期値に戻してください。詳しくは、「BIOS をご購入時の状態に戻す」（••▶P.165）をご覧ください。

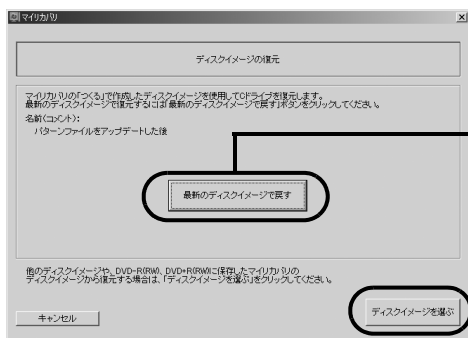
5 「システム回復オプション」ウィンドウで「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。

6 「Microsoft Windows Vista」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択してください。
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

8 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

9 次の画面の操作を行います。

10 「使用条件」の内容を確認し、次の画面の操作を行います。

ディスクイメージを作成したときから現時点までに作成したデータは、「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしてください。
ここをクリックすると「かんたんバックアップレスキュー」が起動します。
「かんたんバックアップレスキュー」の使い方については、「Windows が起動しないときにバックアップする」（▶ P.152）をご覧ください。

11 「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを選択します。

ここで選んだディスクイメージを使ってリカバリを実行します。

・最新のディスクイメージでリカバリをする場合
「最新のディスクイメージで戻す」をクリックし、手順 12 に進みます。

・他のディスクイメージを選びたい場合
・DVD±R/RWに保存したディスクイメージを利用したい場合
「ディスクイメージを選ぶ」をクリックします。

POINT

「ディスクイメージを選ぶ」をクリックすると表示される画面について

使いたいディスクイメージをクリックして◉にし、「決定」をクリックしてください。

・Dドライブに保存されたディスクイメージを復元する場合
→「ハードディスクからディスクイメージを選ぶ」をクリックして◉にし、復元するディスクイメージをクリックして選択します。

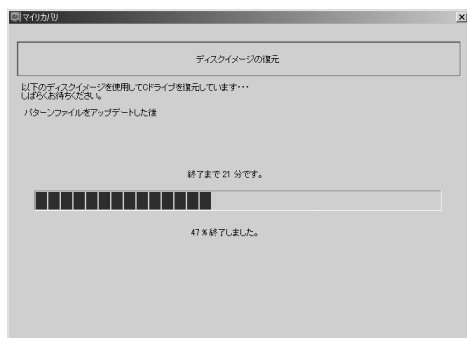
・DVD ± R/RW に保存されたディスクイメージを復元する場合
→「DVD±R(RW)に保存したディスクイメージを選ぶ」をクリックして◉にします。

12 「次へ」をクリックします。

1

マイリカバリでいざというときも安心

13 「実行」をクリックします。

マイリカバリの進行状況を示す画面が表示され、ディスクイメージを使ったリカバリが始まります。

14 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「復元が完了しました。」と表示されます。

15 「OK」をクリックします。

Windows が再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ったリカバリが完了しました。

POINT

Windows を終了せずに、ディスクイメージを復元することもできます

1. パソコンの電源を切らずに、デスクトップの(マイリカバリ)をクリックします。
   「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。
2. 「続行」をクリックします。
   「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
   「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。
3. 「閉じる」をクリックします。
   「マイリカバリ」が表示されます。
4. 「もどす」をクリックします。
5. 「OK」をクリックします。
   パソコンが再起動します。
6. これ以降の操作は手順 10（••▶ P.22）をご覧ください。

「マイリカバリ」で いざというときも安心

4 ディスクイメージをDVDにコピーする

BIBLO LOOX P シリーズを除く

Dドライブに保存されているディスクイメージを、DVD±R/RWにコピーする方法を説明します。なお、必要なDVD±R/RWの枚数は、お使いのモデルや状況によって異なります。手順5（••▶ P.26）の画面に表示される枚数を確認し、必要な枚数のDVD±R/RWをご用意ください。

POINT

お使いになれるディスク

「マイリカバリ」でディスクイメージを書き込めるディスクは、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R です。
CD-R、CD-RW、DVD-R DL、DVD+R DL、DVD-RAM、Blu-ray Disc はお使いになれません。

DVD ± R/RW への書き込みには「Easy Media Creator」が必要です

ディスクイメージを DVD ± R/RW に書き込むには、「Easy Media Creator」というソフトウェアが必要です。「Easy Media Creator」は、このパソコンに用意されています。

ディスクイメージを書き込んだ DVD ± R/RW ではパソコンは起動できません

ディスクイメージを書き込んだ DVD ± R/RW では、パソコンは起動できません。
「マイリカバリ」でリカバリをする手順の途中で、ディスクをセットするところでのみ、お使いになれます。

1 デスクトップの（マイリカバリ）をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

POINT

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます。

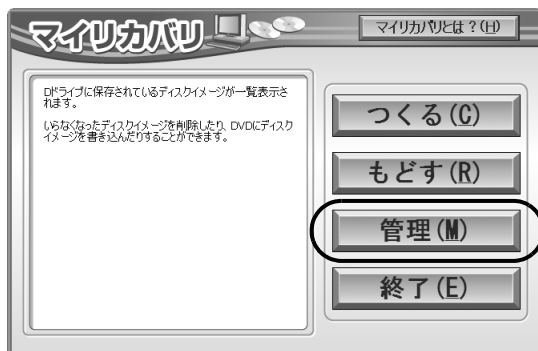
1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。
2. 「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。
3. （マイリカバリ）をクリックして選択し、「実行」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

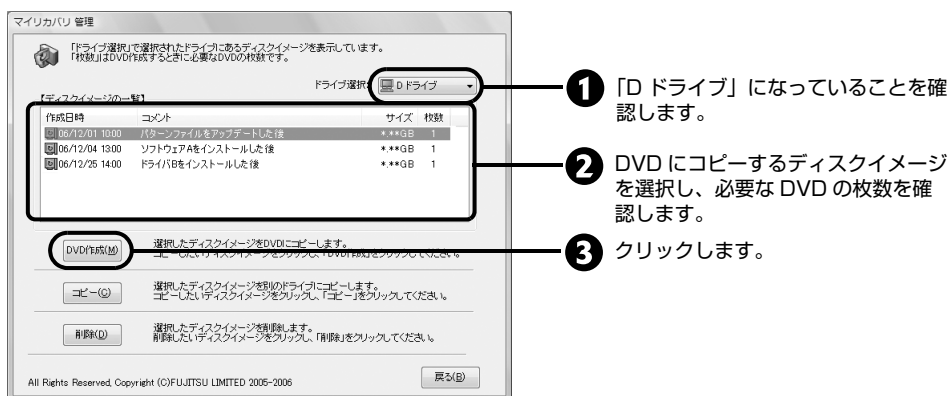
2 「続行」をクリックします。

「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

3 「閉じる」をクリックします。

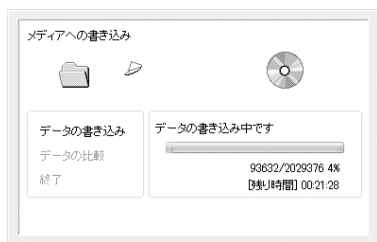
「マイリカバリ」が表示されます。

4 「管理」をクリックします。

（これ以降の画面はお使いの機種により異なります）

5 次の画面の操作を行います。

「ドライブ選択」に表示されているドライブに保存されているディスクイメージが、「ディスクイメージの一覧」に表示されています。

6 「ディスクイメージ 1 枚目を DVD にコピーします。・・・」というメッセージが表示されたら、ディスクイメージを書き込むディスクを、パソコンにセットします。

7 「はい」をクリックします。

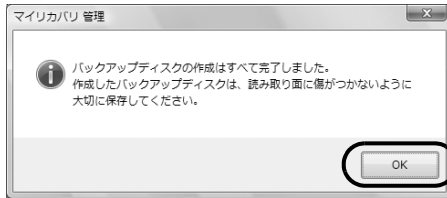
ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

書き込みが完了すると、「メディアへの書き込みが終了しました」というメッセージが表示され、CD/DVD ドライブが自動的に開きます。

8 「OK」をクリックします。

9 **ディスクを取り出し、ディスクイメージ名と何枚目のディスクかわかるようにディスクのレーベル面に記入します。**

ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷がつくおそれがあります。

10 **手順 6 〜 9 を繰り返します。**

11 **「バックアップディスクの作成はすべて完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。**

12 **「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。**

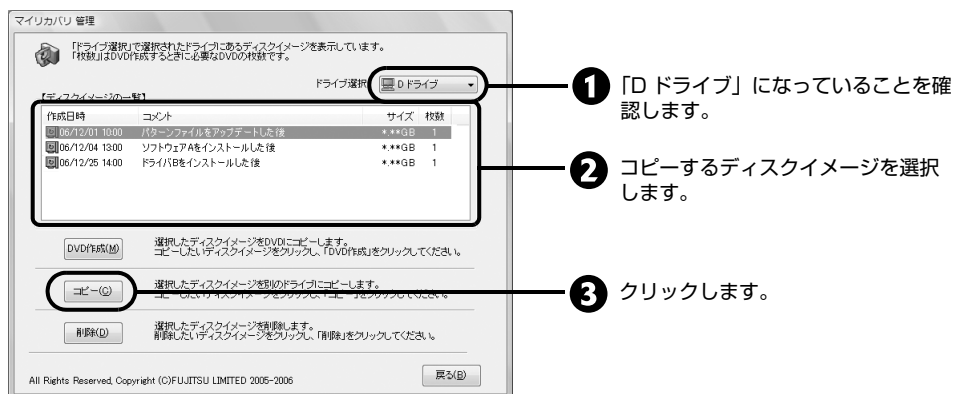
13 **「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。**

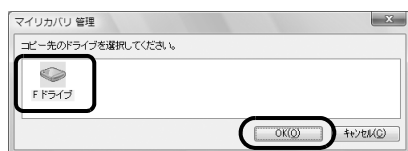
「マイリカバリ」で いざというときも安心

5 ディスクイメージを他のドライブにコピーする

D ドライブに保存されているディスクイメージを、C ドライブ以外の他のドライブにコピーできます。ディスクイメージをバックアップとして保存しておきたいときなどにお勧めします。
なお、他のドライブにコピーしたディスクイメージを復元するときは、いったんディスクイメージを D ドライブにコピーしてから復元します。

1 「ディスクイメージをDVDにコピーする」の手順1〜4（P.25）を行います。

2 次の画面の操作を行います。

「ドライブ選択」に表示されているドライブに保存されているディスクイメージが、「ディスクイメージの一覧」に表示されています。

3 コピー先のドライブの一覧が表示されたら、コピー先のドライブをクリックし、「OK」をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

4 「OK」をクリックします。

ディスクイメージのコピーが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。
書き込みが完了すると、「ディスクイメージのコピーが終了しました」というメッセージが表示されます。

5 「OK」をクリックします。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

6 「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

7 「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。

POINT

他のドライブにコピーしたディスクイメージを復元するには

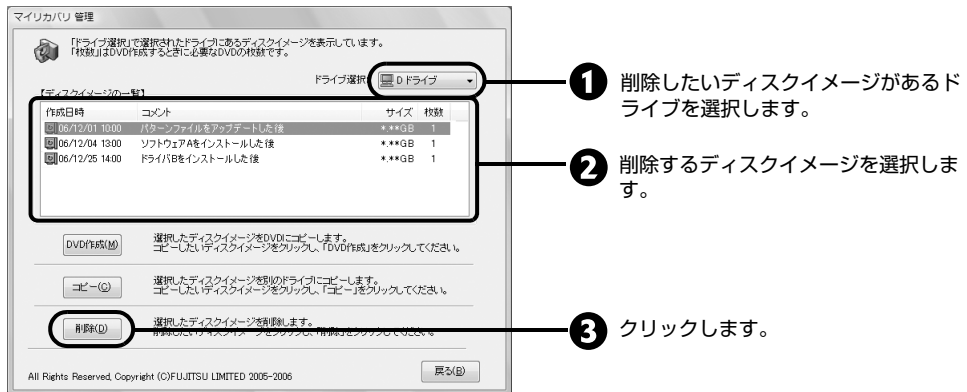
他のドライブにコピーしたディスクイメージを復元するには、いったんDドライブにコピーしてから、復元する必要があります。
他のドライブから D ドライブにコピーするには、次の操作を行います。

1. 「ディスクイメージを DVD にコピーする」の手順 1 ～ 4（••▶ P.25）を行います。
2. 「ドライブ選択」で、コピー元のドライブを選択します。
   コピー元のドライブに保存されているディスクイメージが表示されます。
3. 「ディスクイメージの一覧」から、コピーするディスクイメージをクリックし、「コピー」をクリックします。
   コピー先のドライブが表示されます。
4. D ドライブをクリックし、「OK」をクリックします。
5. 確認のメッセージで「OK」をクリックします。
   ディスクイメージのコピーが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。
6. 完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
7. 「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。
8. 外付けハードディスクなどをパソコン本体から取り外します。
9. 「もどす」をクリックします。
10. 「OK」をクリックします。
    パソコンが再起動します。
11. 「ディスクイメージを復元する」の手順 10 ～ 15（••▶ P.22）を行います。

6 ディスクイメージを削除する

不要になったディスクイメージを削除する方法を説明します。

1 **「ディスクイメージを DVD にコピーする」の手順 1 ～ 4（P.25）を行います。**

2 **次の画面の操作を行います。**

確認のメッセージが表示されます。

3 **「はい」をクリックします。**

ディスクイメージが削除されます。

4 **「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。**

5 **「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。**

第２章

「FM かんたんバックアップ」でバックアップ

「マイリカバリ」と「FM かんたんバックアップ」を組み合わせてデータの予備を保存しておけば、さらに安心！
定期的なバックアップには、「FM かんたんバックアップ」を使いましょう。
ここでは、「FM かんたんバックアップ」の使い方について説明します。

1 大切なデータは予備を保存しておきましょう

万一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。
データの予備を保存しておくことを「バックアップ」と言います。
「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルなどのバックアップや復元がまとめて簡単にできます。

参照
▼「FM かんたんバックアップ」以外のバックアップ方法
『画面で見るマニュアル』 »「211050」で検索
→「バックアップで大切なデータを守る」

定期的にバックアップしておきたいデータ

パソコンには次のようないろいろなデータが保存できます。
- デジタルカメラの写真
- 文章、イラスト、映像
- 知人とのメール
- アドレス帳に登録したメールアドレス
- 「Internet Explorer」のお気に入り（ホームページのアドレス集）

しかし、次のような状態になると、多くの場合、保存したデータは、もう元に戻すことはできません。
- ファイルが壊れた
- 誤って消去した
- ハードディスクが壊れた
- Windows が起動しなくなった
- ご購入時の状態に戻した

いつこのような状態になるかはわかりません。こうなったときに被害を最小限にとどめるためにも、大切なデータは日頃から定期的にバックアップする習慣をつけましょう。

2 「FM かんたんバックアップ」をお使いになる前に

「FM かんたんバックアップ」をお使いになる前に、次の注意事項をご覧ください。

■次のデータは、「FM かんたんバックアップ」で保存できません

- **著作権情報付きの音楽データ**
  インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードした音楽データなどは、著作権情報が付いたファイルのため、「FM かんたんバックアップ」での保存や復元ができません。
  著作権情報付きの音楽データのバックアップと復元については、各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- **「FM かんたんバックアップ」の「保存する内容」の「項目」欄に登録されていないソフトウェア**
  「保存する内容」の「項目」にソフトウェアを追加すると保存できるようになります。
  または、ファイルをコピーして、バックアップしてください。
- **バージョンアップを行ったソフトウェア**
  ソフトウェアのバージョンアップを行うと、ファイルの構造やデータの格納先が変更されることがあります。この場合は、ファイルをコピーして、バックアップしてください。

▼ ファイルをコピーしてバックアップする方法
『画面で見るマニュアル』 » 「211070」で検索
→「ファイルを選んでバックアップする」

■CD/DVD にコピー中はスリープや休止状態にしないでください

保存データを CD/DVD にコピー中にスリープや休止状態などの省電力状態にすると、CD/DVD への書込みができなくなります。パソコンを省電力状態にする操作は行わないでください。
なお、タイマー機能で省電力状態に移行する設定になっている場合は、特に設定の変更は必要ありません。省電力状態への移行を防いで、CD/DVD へのコピーを完了します。

■テレビ番組の録画データは DVD に保存することをお勧めします

テレビ番組を録画したデータは容量が大きいため、「FM かんたんバックアップ」を使用せず、個別に DVD に保存することをお勧めします。

参照

▼テレビ番組の録画データについて
『FMV テレビ操作ガイド』
→「付録」→「テレビ番組の録画データについて」

■データの保存先を変更するときの注意

データの保存先は、ご購入時はDドライブに設定されています。
Cドライブ、Dドライブ以外にハードディスクドライブやリムーバブルディスクドライブが存在する場合のみ、保存先のドライブを変更してください。
なお、バックアップ後にご購入時の状態に戻す作業を行う予定の場合、保存先をCドライブに設定しないでください。ご購入時の状態に戻す作業を実行すると、Cドライブに保存されたデータはすべて削除されてしまいます。

■次の場合は、CD/DVD などハードディスク以外にデータをコピーしてください

- **ハードディスクの領域を変更する場合**
- **故障したときに備えてバックアップする場合**

ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスク全体のファイルが削除されてしまいます。
パソコンが故障したときは、ハードディスクのデータが使えなくなる可能性があります。
このようなときに備え、バックアップしたデータを、CD/DVD、外付けハードディスク、MO など、このパソコンのハードディスク以外にコピーしてください。
「FM かんたんバックアップ」を使うと、ハードディスクにバックアップしたファイルを CD/DVD に簡単にコピーできます。操作方法については、「「FM かんたんバックアップ」で保存する」（··▶ P.35）をご覧ください。

■複数のユーザーでパソコンをお使いの方へ

ユーザーアカウントの追加をした場合、それぞれのユーザー名でログオンして作成したデータを保存できます。ただし、「標準ユーザー」がログオンして作成したデータは、保存できません。
データを復元するときは、保存したときと同じユーザー名で行ってください。保存したときと違うユーザー名では正常に復元できません。

■ファイル名は日本語または英語にしてください

日本語または英語以外のファイル名をお使いの場合、「FM かんたんバックアップ」で保存／復元できないことがあります。ファイル名は、日本語または英語に変更してください。

■データを復元するときの注意

「FM かんたんバックアップ」で保存したときから復元するまでの間に、保存したファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容は保存されていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、保存したときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した設定や内容はすべて消えてしまいます。充分に注意してください。

3 「FM かんたんバックアップ」で保存する

ワープロの文書や画像ファイルなど、ソフトウェアを使って作成したデータやインターネットの設定を次の手順で保存します。

重要

Windows が起動できないときは

Windows が起動できないときに、データをバックアップするには、「かんたんバックアップレスキュー」を使います。「かんたんバックアップレスキュー」は、「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットすると表示されるメニューから行うバックアップ方法です。
操作方法については、「Windows が起動しないときにバックアップする」（P.152）をご覧ください。

1 起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。

参照

▼ スクリーンセーバーの設定方法

『画面で見るマニュアル』 » 「920740」で検索

→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

2 （スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。

3 「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。

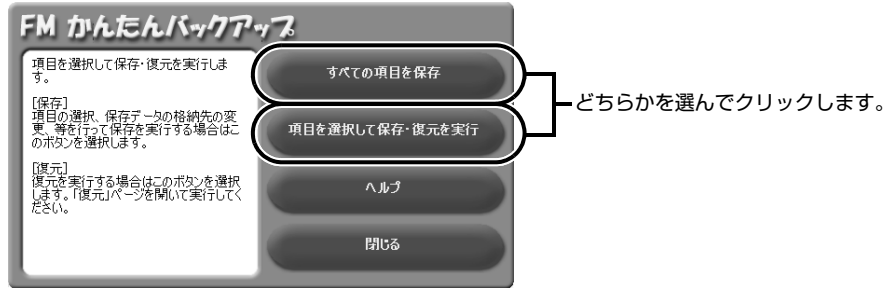
4 （FM かんたんバックアップ）をクリックして選択し、「実行」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

5 「続行」をクリックします。

「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。

6 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

7 どちらかのボタンを選んでクリックします。

■すべての項目を保存

すべての項目を D ドライブに保存する場合、クリックします。
この後は、手順 9 に進んでください。

■項目を選択して保存・復元を実行

次の場合、クリックします。
・一部の項目を D ドライブに保存する場合
・すべての項目または一部の項目を CD/DVD にコピーする場合

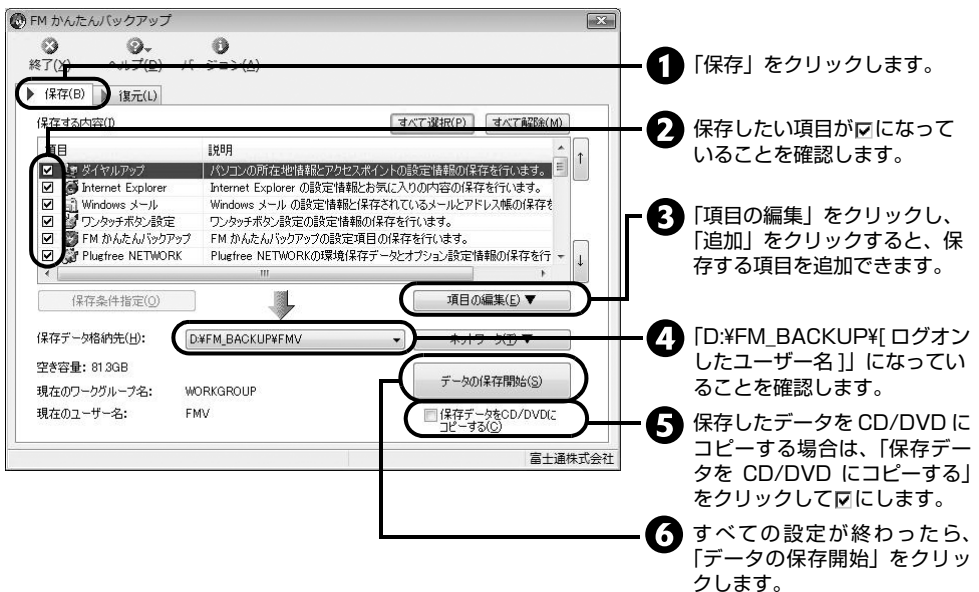
データを CD/DVD に直接保存することはできません。

バックアップデータを CD/DVD に保存する場合は、いったん D ドライブに保存したデータを CD/DVD にコピーします。

LOOX P シリーズをお使いの方へ

LOOX Pシリーズをお使いの場合、「FMかんたんバックアップ」でCD/DVDにデータをコピーすることはできません。Dドライブ以外の場所にデータをコピーしたい場合は、外付けのハードディスクドライブやUSBメモリなどのリムーバブルディスクドライブをご用意いただき、「データの格納先」をそれらのドライブに変更してください。

8 「すべての項目を保存」を選択した場合は、手順 7 に進んでください。「項目を選択して保存・復元を実行」を選択した場合は、❶～❻の手順に従って操作してください。

画面で見るマニュアル 添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

CD/DVD へのコピーには「Easy Media Creator」が必要です

保存したファイルを CD/DVD にコピーするには、このパソコンに用意されている「Easy Media Creator」というソフトウェアを使います。
CD/DVD へのコピーについては、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。

9 「保存開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

POINT

「既に保存したデータが存在します」というメッセージが表示された場合

以前に保存したデータを破棄し、新しく保存するときは、「はい」をクリックしてください。

「開始」がクリックできない場合

保存先のディスク容量が不足しています。「キャンセル」をクリックして保存するデータ容量を減らしたり、「FM かんたんバックアップ」を一度終了してから保存先の空き容量を増やしたりして、始めから操作をし直してください。

10 データの保存が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

11 「保存結果」ウィンドウで、結果を確認します。

保存に失敗した場合は、もう一度保存に失敗した項目を選択して保存する操作を行ってください。
このとき、保存データ格納先のデータのファイルを開いて、データが保存されたことを確認すると、より安心です。

12 「保存結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

■手順 7 で「すべての項目を保存」を選択した場合
「FM かんたんバックアップ」が終了します。次の手順 13 は必要ありません。

■手順 7 で「項目を選択して保存・復元を実行」を選択した場合
「FM かんたんバックアップ」ウィンドウに戻ります。

■手順 8 で「保存データを CD/DVD にコピーする」を選択した場合
CD/DVD へのコピーが始まります。この後は、画面の指示に従って操作してください。

13 「終了」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」が終了します。

これで、「FM かんたんバックアップ」により、ファイルが保存されました。

4 「FM かんたんバックアップ」で復元する

「FM かんたんバックアップ」で保存したファイルを次の手順で元の場所に復元します。
「かんたんバックアップレスキュー」で保存したファイルを復元するときも、「FM かんたんバックアップ」で復元します。

重要

ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合

先にソフトウェアをインストールしてからファイルを復元してください。

復元する前の注意

「FM かんたんバックアップ」で保存したときから復元するまでの間に、保存したファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容は保存されていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、保存したときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した設定や内容はすべて消えてしまいます。充分に注意してください。

復元する前の注意（ご購入時の状態に戻す作業の場合）

「FMかんたんバックアップ」で保存した「Outlook 2007」のファイルを復元する前に、「Outlook 2007」の初期設定が必要です。必ず「Outlook 2007」の初期設定をお済ませになってから、ファイルを復元してください。

参照

▼「Outlook 2007」の初期設定について

『画面で見るマニュアル』»「406010」で検索
→「アカウントやメールアドレスを設定する（Outlook 2007）」

1 起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。

参照

▼ スクリーンセーバーの設定方法

『画面で見るマニュアル』 »「920740」で検索
→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

2 D ドライブからデータを復元する場合は、手順 3 に進んでください。CD/DVD からデータを復元する場合は、データを保存した CD/DVD を CD/DVD ドライブにセットします。

3 （スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。

4 「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。

5 （FM かんたんバックアップ）をクリックして選択し、「実行」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

6 「続行」をクリックします。

「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。

7 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

8 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。

9 「復元」タブをクリックします。

10 ❶〜❸の手順に従って操作してください。

■「FM かんたんバックアップ」で保存した場合

「復元データ格納先」が「保存データ格納先」と同じになっていることを確認してください。ご購入時の設定では、「保存データ格納先」は「D:¥FM_BACKUP¥[ログオンしたユーザー名]」になっています。
CD/DVD からデータを復元する場合は、「復元データ格納先」の中から、CD/DVD の入ったドライブを選択してください。
2 枚以上の CD/DVD からデータを復元する場合、CD/DVD から直接復元はできません。復元する方法については、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。

■「かんたんバックアップレスキュー」で保存した場合

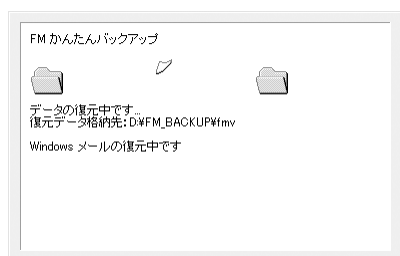
「復元データ格納先」の中から「D:¥PE_BACKUP¥[ログオンしたユーザー名]」を選択してください。

11 「復元開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

「復元を行うと保存時のデータで上書きされ、保存時の状態に戻ります。復元を続けますか？」というメッセージが表示されます。

12 保存時の状態に戻すときは、「はい」をクリックします。

13 データの復元が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

14 「復元結果」ウィンドウで、結果を確認します。

POINT

ファイルが復元されなかった場合

次のような原因が考えられます。

・「復元データ格納先」が間違って指定されている
　ドライブ名を保存したときと同じドライブに指定し直してください。
・ファイルが保存されていない
　ファイルの保存に失敗しています。この場合、ファイルの復元はできません。

15 「復元結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

「データの復元が終了しました」というメッセージが表示されます。

16 「OK」をクリックします。

Windows が再起動します。

これで、保存したファイルが元の場所に復元されました。
このとき、復元したファイルを開いて、データが復元されたことを確認すると、より安心です。

第 3 章
Q&A 集

ここではパソコンを使っていて、故障かなと思うようなトラブルが発生した場合の対処方法を Q&A 形式で説明しています。
パソコンを操作できる場合は、『画面で見るマニュアル』もあわせてご覧ください。

トラブルかな？と思ったら

パソコンにトラブルが起こったときは

パソコンの調子がよくない、あるいは、パソコンが動かないと思ったら、状況に応じて次のことをチェックしてみてください。簡単に解決できる問題もあります。

落ち着いて状況を確認しましょう

STEP1

トラブルが起こったときは、次のことを確認しましょう。

- ●直前に行った操作
- ●現在のパソコンの状態

マニュアルで解決する

STEP2

このマニュアルでは、次のトラブルについて Q&A 形式で説明しています。

テレビ

『FMV テレビ操作ガイド』
→「困ったときの Q&A」

▶画面が表示できる場合のトラブルには

『画面で見るマニュアル』
→「9. 困ったときの Q&A」

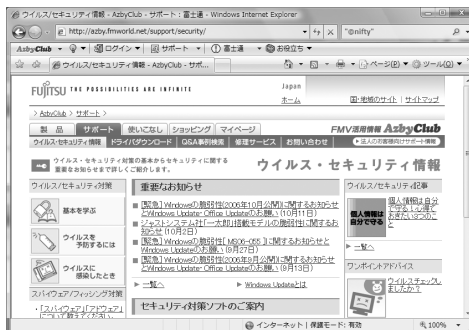
FMV のホームページで解決する

ホームページで最新のサポート情報や、Q&A 情報を紹介しています。困ったときにご覧いただくのはもちろん、定期的にアクセスしていただくことで、トラブルを予防できます。（ご利用には、インターネット接続環境が必要となります。）

● サポートページ―http://azby.fmworld.net/support/ ●

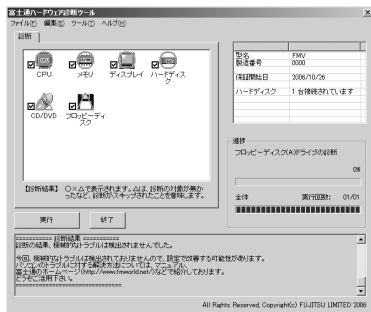
このホームページの内容

- ●最新のサポート情報
- ● Q&A 情報（Q&A navi）
- ●機種別注意事項
- ● E メールによるサポート

STEP 3

STEP 4

サポート窓口に問い合わせる

お問い合わせをする前にチェック！

次のことを試してみましょう。トラブルが解決できる場合があります。

「診断プログラム」（▶P.96）を実行する。
Windows が起動しなくなったときは、このパソコンの診断プログラムでパソコンを診断してください。

どうしてもトラブルが解決できないときは『**サポート＆サービスのご案内**』をご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

このパソコンに添付のソフトウェアについては

『サポート＆サービスのご案内』→「困ったとき」→「サポート窓口に相談する」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」

パソコンの操作方法がわからない場合は

『サポート＆サービスのご案内』→「困ったとき」→「サポート窓口に相談する」

故障かなと思ったら

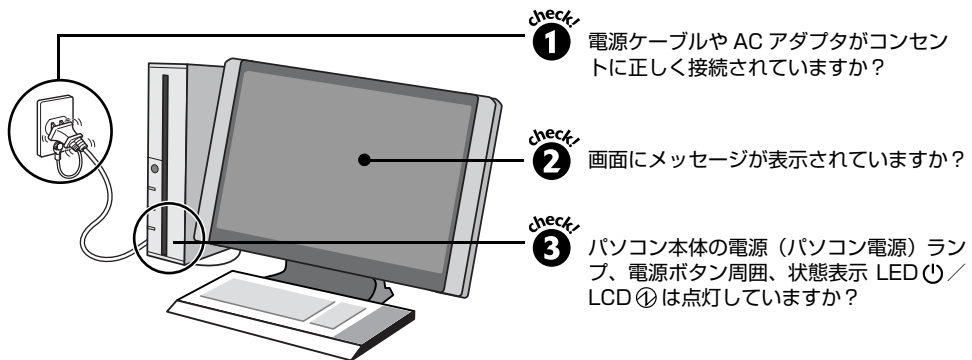
『サポート＆サービスのご案内』→「困ったとき」→「故障したとき」

※一部のサポートは有料となります。
※サポートのご利用にはユーザー登録が必要となります。
　ユーザー登録の方法は、『サポート＆サービスのご案内』 をご覧ください。

1 Q&A 集 パソコンがおかしいときの Q&A 集

起動／終了

パソコンの電源が入らない

次の点を順番に確認してください。

check! 1 電源ケーブルや AC アダプタがコンセントに正しく接続されていますか？

正しく接続されていない場合は、いったん電源ケーブルを抜いて３分ほど待ってから接続し直してください。

- BIBLO の場合、AC アダプタと AC ケーブルが正しく接続されていることも確認してください。
- TEO の場合、前面・背面がふさがれていない AV ラックにパソコン本体が設置されているかなど、設置場所も確認してください。

参照

『スタートガイド１　設置編』

【バッテリだけでお使いの場合［BIBLO］】

ＡＣ アダプタを接続してください。接続して画面が表示される場合は、バッテリが切れているか、外れている可能性があります。バッテリがしっかりと取り付けられているか確認してから、ＡＣ アダプタを接続してバッテリの充電をしてください。

参照

『ＦＭＶ 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」

check! ❷ 画面にメッセージが表示されていますか？

表示されている

→「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない」（••▶P.47）をご覧ください。

表示されていない

→ **check! ❸** に進んでください。

check! ❸ パソコン本体の電源（パソコン電源）ランプ、電源ボタン周囲、状態表示 LED⏻／LCD① は点灯していますか？

【消灯している場合】

原因	対処
休止状態になっている（休止状態に設定した方のみ）	電源（パソコン電源）ボタンを押して、元の状態に戻してください。
周辺機器が正しく取り付けられていない ［DESKPOWER］［TEO］	「Q　周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（••▶P.80）
AC アダプタが外れている ［BIBLO］	AC アダプタをパソコン本体に接続してください。 参照 『ＦＭＶ 取扱ガイド』 →「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「AC アダプタを接続する」

【オレンジ色に点灯している ［DESKPOWER］［TEO］ ／点滅している ［BIBLO］ の場合】

原因	対処
パソコンの省電力機能が働いている スリープ状態になっている	電源（パソコン電源）ボタンを押してください。電源ボタンを４秒以上押さないようにしてください。４秒以上押すとパソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

【緑色に点灯している ［DESKPOWER］［TEO］ ／点灯している ［BIBLO］ の場合】

●全機種共通

原因	対処
周辺機器が正しく取り付けられていない	「Q　周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（••▶P.80）
「おやすみディスプレイ」の機能が働いている （「おやすみディスプレイ」を設定した方のみ）	マウスを動かして数秒待つか、フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【→】【←】【↑】【↓】や【Shift】のどれかを押してください。 ・「おやすみディスプレイ」の解除方法 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【O】（オー）キーを１回押す。詳しくは、「PowerUtility －スケジュール機能」のヘルプをご覧ください。

● DESKPOWER、TEO の場合

原因	対処
「電源プランの選択」で設定した「ディスプレイの電源を切る」が実行されている	・DESKPOWER の場合 マウスを動かして数秒待つか、キーボードの【→】【←】【↑】【↓】や【Shift】のどれかを押してください。 ・TEO の場合 フラットポイントの操作面にふれるか、キーボードの【→】【←】【↑】【↓】や【Shift】のどれかを押してください。
ディスプレイのケーブルが正しく接続されていない／ディスプレイの電源ランプが消灯、またはオレンジ色に点灯している [DESKPOWER CE シリーズ] [TEO]	ディスプレイのケーブルがパソコン本体に正しく接続されているか、ディスプレイに電源ケーブルがある場合には、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 参照 『スタートガイド１　設置編』
ディスプレイの電源が入っていない／ディスプレイの電源ランプが消灯している [DESKPOWER CE シリーズ] [TEO]	ディスプレイの電源ボタンを押してください。ディスプレイの電源を入れ直しても改善されない場合は、パソコンの電源を入れ直してください。 →「Q パソコンの電源がどうしても切れない」 （••▶P.51）
入力信号が正しくない [TEO]	ディスプレイの入力信号を、パソコンが接続されている入力に切り替えてください。

● BIBLO の場合

原因	対処
省電力機能が働いている	フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【→】【←】【↑】【↓】や【Shift】のどれかを押してください。
ディスプレイの明るさが暗くなっている	【Fn】を押しながら【F6】、または【F7】を押してください。ディスプレイの輝度調節ができます。
外部ディスプレイに表示されるようになっている	【Fn】を押しながら【F10】を何度か押してください。外部ディスプレイ表示と液晶ディスプレイ表示が切り替わります。
テレビに表示されるようになっている	テレビを接続し、ディスプレイの表示に切り替えてください。 参照 『画面で見るマニュアル』 »「000600」で検索 →「表示するディスプレイを切り替える」

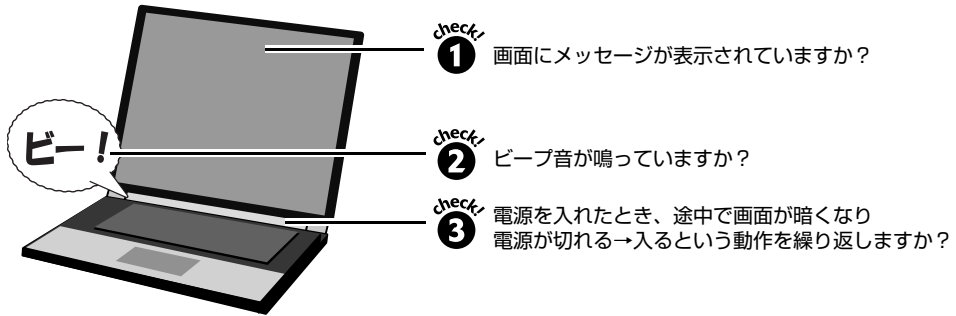
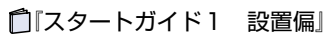
check!❹ **それでも解決しない場合には**

パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q パソコンの電源がどうしても切れない」（••▶P.51）をご覧になり、電源を入れ直してください。
また、BIBLO の場合、AC アダプタと内蔵バッテリパックをいったん取り外して２～３分放置後、再び取り付けると問題が解決することがあります。

参照

『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」

パソコンの電源を入れても、Windowsが起動しない

次の点を順番に確認してください。

check! 1 画面にメッセージが表示されていますか？

画面にメッセージが表示された場合は、メッセージを確認して対処をご覧ください。なお、画面に表示されたメッセージは、メモなどに控えておくことをお勧めします。

メッセージ	対処
「規定外の信号です」 「規定外の信号が入力されました」 など ［DESKPOWER ／外部ディスプレイを接続している方］ ［TEO］	解像度やリフレッシュレートが高く（または低く）設定されている可能性があります。 「リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ］［TEO］」（••▶P.48）や「解像度や発色数を変更する［DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ］［TEO］」（••▶P.49）をご覧になり、設定を変更してください。
「システムのインストールが完全ではありません」など	Windows セットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、Windows が起動しなくなる場合があります。 「Q　パソコンの電源がどうしても切れない」（••▶P.51）をご覧になり、パソコンの電源を強制的に切ってから、パソコンをご購入時の状態に戻してください。
「Remove disks or other media」など （フロッピーディスクドライブ搭載機種のみ）	フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされたまま、パソコンの電源を入れたときに表示されます。フロッピーディスクを取り出して【Enter】を押してください。

【その他のメッセージが表示された場合】

「Q　パソコンの電源がどうしても切れない」（••▶P.51）をご覧になり、いったんパソコンの電源を切った後、次の①～⑤を順番に試してください。

	確認事項	手順
①	パソコンとディスプレイの接続を確認する [DESKPOWER CE シリーズ] [TEO]	パソコンとディスプレイを正しく接続してください。 参照 『スタートガイド１　設置編』
②	パソコンと周辺機器の接続を確認する	パソコンに周辺機器を接続している場合は、いったんすべての周辺機器を取り外してください。その後、パソコンの電源を入れ直してください。
③	BIOS をご購入時の状態に戻す	「BIOS をご購入時の状態に戻す」（••▶P.165）をご覧になり、BIOS の設定を戻してください。
④	リフレッシュレートを変更する [DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ] [TEO]	→「リフレッシュレートを変更する [DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ] [TEO]」（••▶P.48）
⑤	解像度や発色数を変更する [DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ] [TEO]	→「解像度や発色数を変更する [DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ] [TEO]」（••▶P.49）

リフレッシュレートを変更する[DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ][TEO]

1 「Q パソコンの電源がどうしても切れない」（••▶P.51）をご覧になり、パソコンの電源を切ります。

2 パソコンの電源を入れます。

3 FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、【F8】を押します。

軽くキーを押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

FUJITSU ロゴ画面が表示されない場合は、（スタート）→ の → 「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

4 「Windows ブートマネージャ」画面が表示されたら、お使いの OS が選択されていることを確認し、【F8】を押します。

しばらく操作しなかった場合、Windows RE の自動修復が始まります。画面の指示に従って自動修復を完了させてください。完了後、再度手順 2 ～ 4 を行ってください。

5 「詳細ブート オプション」画面で【↑】【↓】で「低解像度ビデオ（640 × 480）を有効にする」を選択し、【Enter】を押します。

画面が表示されるまでお待ちください。

6 画面の何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。

7 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。

「画面の設定」ウィンドウが表示されます。

8 「モニタ」タブにある「詳細設定」をクリックします。

「詳細設定」がクリックできない場合は、タスクバーの設定を変更してください。タスクバーの設定を変更するには、タスクバーの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「タスクバーをほかのウィンドウの手前に表示する」の☑を□にします。

タスクバーの設定を変更しても「詳細設定」がクリックできない場合は、ウィンドウを画面上部にずらしてください。

9 「モニタ」タブをクリックし、「画面のリフレッシュレート」の値を選択します。
10 「OK」をクリックします。
「画面の設定」ウィンドウに戻ります。
11 をクリックします。
12 （スタート）→ の→「再起動」をクリックします。
Windows が再起動します。

解像度や発色数を変更する［DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ］［TEO］
「リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ］［TEO］」の手順 1 ～ 5（••▶P.48）を行って Windows を起動した後、画面が表示されたら、「解像度、発色数やリフレッシュレートの設定が変わっていませんか？」（••▶P.53）の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。

【①～⑤を試しても Windows が起動しない場合】
Windows のシステムが壊れている可能性があります。「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使って、大切なデータをバックアップした後、パソコンをご購入時の状態に戻してください。
- データのバックアップ方法：「Windows が起動しないときにバックアップする」（••▶P.152）
- パソコンをご購入時の状態に戻す方法：「パソコンを復元する（リカバリ）」（••▶P.101）

check!❷ ビープ音が鳴っていますか？
鳴っている
→メモリが正しく取り付けられていないか、このパソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。
メモリを増設している場合は、いったん電源を切り、増設したメモリが正しく取り付けられているか確認してください。
鳴っていない
→ **check!❸** に進んでください。

重 要

正しく取り付けても鳴る場合や、メモリを増設していないのに鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。弊社純正品以外のメモリを増設している場合は、メモリの製造元・販売元にご確認ください。

参照
▼「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」について
『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

check!❸ 電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→入る という動作を繰り返しますか？
繰り返す
→「Q パソコンの電源を入れると、Windows が再起動を繰り返す」（••▶P.50）
繰り返さない
→パソコンの電源が入っていない可能性があります。
「Q パソコンの電源が入らない」（••▶P.44）をご確認ください。

3
Q&A集

パソコンの電源を入れると、Windowsが再起動を繰り返す

Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返し、Windows が起動しなくなる場合があります。
次の手順に従って電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

1. FUJITSU のロゴ画面が表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切ります。
   電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
2. 「パソコンを復元する（リカバリ）」（••▶ P.101）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻します。

パソコンをご購入時の状態に戻し、Windows のセットアップが完了しても解決しない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にお問い合わせください。

参照

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」について
『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

パソコンの電源がどうしても切れない

どうしても問題が解決しない場合は、パソコンの電源を強制的に切り、その後もう一度電源を入れてください。

重要

強制的に電源を切る前に

次の点に注意してください。

- ハードディスクが動作しているときに電源を切ってしまうと、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性があります。
  強制的に電源を切るときは、DESKPOWERおよびTEOはパソコン本体前面のや、BIBLO は状態表示 LED/LCD のやが、ハードディスクが動作しているかどうかの目安となります。点灯や点滅をしている場合は、ハードディスクのデータを読み書きしている可能性があるため、しばらく待つことをお勧めします。
  上記以外にも、ハードディスクが動いていると思われる場合（音がするなど）は、動作が止まるまでしばらく待つことをお勧めします。
  しばらく待ってもハードディスクが動いている場合は、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押してください。ハードディスクの動作が止まることがあります。
- パソコンをご購入後やご購入時の状態に戻した後、初めて電源を入れた直後に電源を切ると、パソコンをお使いになれなくなる場合があります。Windows のセットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
  画面が映らないなど、画面が確認できない場合は、15 分ほど待ってから電源を切るようにしてください。

1. パソコンの電源を切ります。
   電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
2. この後電源を入れ直す場合は、10 秒以上待ってから、電源を入れてください。

Q&A Windowsの起動や動作が遅くなった

セキュリティ対策ソフトの設定など、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「501340」で検索して、対処方法をご覧ください。

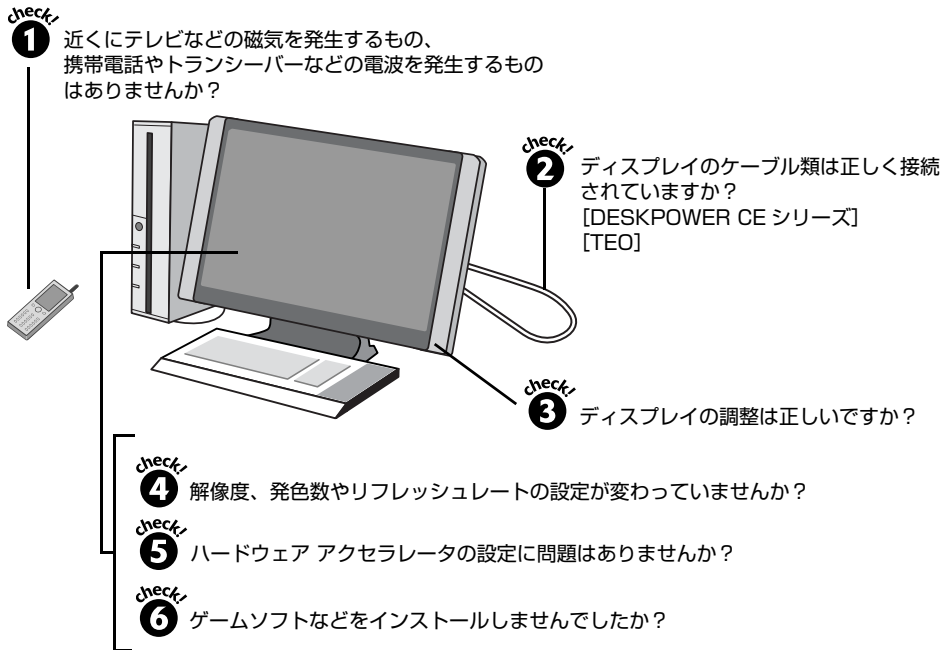
Q&A 何もしていないのに、勝手に電源が入ってしまう

お客様のご利用環境により、自動的に電源が入ることがあります。
『画面で見るマニュアル』»「501420」で検索して、対処方法をご覧ください。

画面に何も映らない

省電力機能が働いてるなど、いくつかの原因が考えられます。
対処方法については、「Q パソコンの電源が入らない」（••▶ P.44）をご確認ください。

画面が乱れる

画像が揺れる・色がずれる・画像がちらつく・画像がぼやけるなどの場合、次の点を順番に確認してください。

check! 1 近くにテレビなどの磁気を発生するもの、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発生するものがありませんか？

これらの磁気や電波を発生するものは、ディスプレイやパソコン本体に影響が出ない場所に置いてください。また、高圧電線の近くにお住まいの場合、ディスプレイやパソコン本体の置き場所を変えることによって、画面の乱れが直る場合もあります。

check! ❷ ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？［DESKPOWER CE シリーズ］［TEO］

ディスプレイのケーブル類をパソコン本体に正しく接続してください。また、電源タップなどを使用してたこ足配線をしている場合には、ケーブルを壁のコンセントに直接差し込んでください。ケーブル類の接続については、『スタートガイド１　設置編』をご覧ください。

check! ❸ ディスプレイの調整は正しいですか？
【DESKPOWER、TEO の場合】

お使いのディスプレイに付いているボタンで調整してください。LX シリーズをお使いの方はパソコン本体前面のフラップを開けて明るさ調節ボタンで調整してください。EK シリーズをお使いの方はパソコン本体前面のブライトネスボリュームで調整してください。TEO をお使いの方はディスプレイの入力信号を適切な設定に調整してください。

【BIBLO の場合】

解像度を低く設定した状態で全画面表示になっているとき、画面がぼやけたように見えることがあります。**check! ❹** の手順に従って解像度を設定し直す、または全画面表示を通常表示に切り替えてください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000430」で検索
→「全画面表示と通常表示を切り替える」

check! ❹ 解像度、発色数やリフレッシュレートの設定が変わっていませんか？

解像度が低くなっていたり、発色数が少なく設定されていたりすると、画面が乱れたように感じることがあります。次の手順に従って解像度や発色数を設定し直してください。

1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
2. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
   「画面の設定」ウィンドウが表示されます。
3. 「モニタ」タブで、解像度や発色数を変更します。

（画面は機種や状況により異なります）

解像度と発色数については、「【ご購入時の解像度と発色数】」（••▶ P.54）をご覧ください。

4 設定が終了したら「OK」をクリックします。
画面にメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

5 （スタート）→ の → 「再起動」の順にクリックします。
Windows が再起動します。

【ご購入時の解像度と発色数】

機種名（品名）	解像度	発色数
DESKPOWER LX70W/D、LX70WN、LX65WN、LX60W、LX60WN	1680 × 1050	最高（32 ビット）
DESKPOWER LX55WN、LX50W/D、LX50WN、LX45WN、LX40W、LX40WN、CE70W7/D、CE50W7、CE40W7、EK30W	1280 × 1024	最高（32 ビット）
DESKPOWER CE80WN、CE70WN、CE50WN、CE45WN、CE40WN		
20.1 型ワイド液晶ディスプレイの方	1680 × 1050	最高（32 ビット）
17 型液晶ディスプレイの方	1280 × 1024	最高（32 ビット）
ディスプレイなしの方	［注 1］	［注 1］
TEO		
HDMI 出力端子に接続している場合［注 2］	1776 × 1000	最高（32 ビット）
20.1 型ワイド液晶ディスプレイの方	1680 × 1050	最高（32 ビット）
DVI-I 端子／アナログ RGB 接続の場合	1280 × 1024 または 1024 × 768	最高（32 ビット）
BIBLO NXシリーズ	1440 × 900	最高（32 ビット）
BIBLO NFシリーズ	1280 × 800	最高（32 ビット）
BIBLO MGシリーズ	1024 × 768	最高（32 ビット）
BIBLO LOOX T シリーズ、P シリーズ	1280 × 768	最高（32 ビット）

注1：お使いのディスプレイにより表示できる解像度、発色数やリフレッシュレートが異なります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

注2：出荷時の解像度は 1776 × 1000 に設定されていますが、接続するテレビにより解像度が変わることがあります。画面からはみ出すなど正しく表示されない場合は、解像度を 1776 × 1000 に設定し直してください。

【TEO の場合】

HDMI端子で接続している場合、リフレッシュレートの値を変更すると、画像のちらつきが直る場合もあります。「リフレッシュレートを変更する［DESKPOWER LXシリーズ、CEシリーズ］［TEO］」（••▶ P.48）手順6以降をご覧になり、リフレッシュレートの値を29Hzまたは59Hzに設定してください。

参照

▼ 表示可能な解像度と発色数について
『画面で見るマニュアル』»「000360」で検索
→「画面の解像度と発色数について」

check! ❺ ハードウェア アクセラレータの設定に問題はありませんか？

次の手順に従ってハードウェア アクセラレータの設定を確認してください。

1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。

2 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
「画面の設定」ウィンドウが表示されます。

3 「モニタ」タブにある「詳細設定」をクリックします。
「[モニタ名] と「アダプタ名」のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「トラブルシューティング」タブをクリックし、「設定の変更」をクリックします。

5 「ハードウェア アクセラレータ」のをドラッグして「なし」に設定します。

6 「OK」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

7 「OK」をクリックします。

check! ❻ ゲームソフトなどをインストールしませんでしたか？

ゲームソフトなどをインストールした場合、このパソコンに合わないディスプレイドライバに置き換えられた可能性があります。
「ドライバを更新する」（••▶ P.162）をご覧になり、ディスプレイドライバを設定し直してください。

check! ❼ それでも解決しない場合には

BIOS をご購入時の状態に戻すと問題が解決する場合があります。ご購入時の状態に戻す方法については、「BIOS をご購入時の状態に戻す」（••▶ P.165）をご覧ください。

以上のすべての項目を確認しても画面の表示がおかしい場合は、「パソコンを診断する」（••▶ P.96）をご覧になり、お使いのパソコンの状態をチェックしてください。

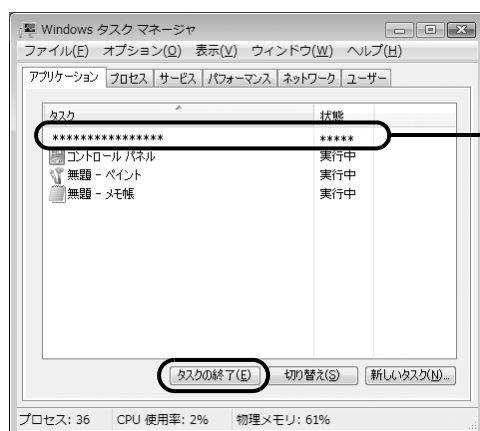
画面が動かなくなった

マウスやキーボードを操作しても、ソフトウェアが反応しない場合は、操作していたソフトウェアを強制終了してください。

重要

直前の作業内容は保存されません

この手順でソフトウェアを強制終了した場合は、直前の作業内容は保存されません。

1. 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。
2. 「タスクマネージャの起動」をクリックします。
   「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
3. 「アプリケーション」タブをクリックします。
4. 動かなくなったソフトウェアをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

5. 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。
   選んだソフトウェアが強制終了されます。ソフトウェアによっては、強制終了に 20 ～ 30 秒かかることがあります。
6. 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウの ✕ をクリックします。

画面で見るマニュアル 添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

起動時や終了時に画面がちらつく

画面の設定を変えたときなどにちらつくことがありますが、故障ではありません。
しばらくすると画面のちらつきがなくなります。

サイドバーを閉じる

画面の左右に表示しておけるサイドバーを閉じることができます。
『画面で見るマニュアル』»「921220」で検索して、対処方法をご覧ください。

真っ白で何も表示されない

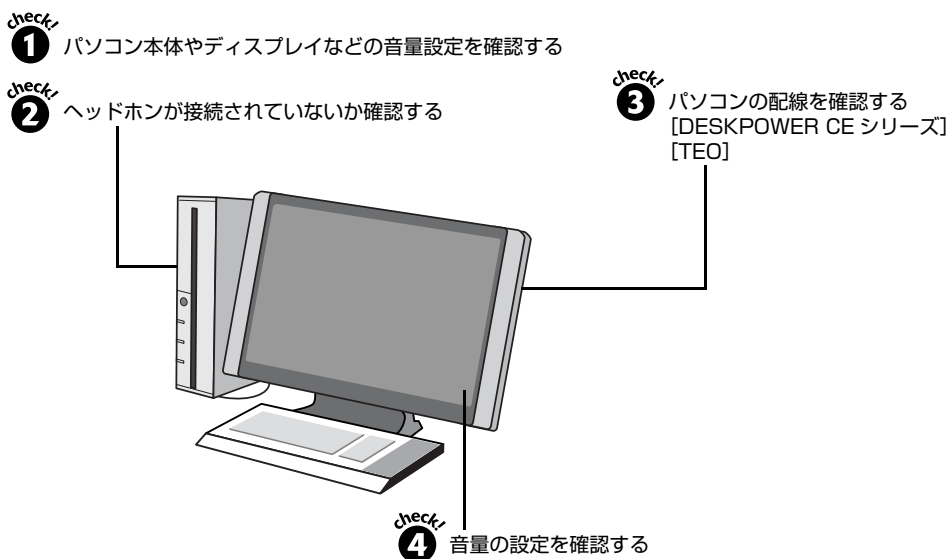
インターネットの設定など、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「500240」で検索して、対処方法をご覧ください。

ワンタッチ画面表示が動作しない（TEOの場合）

お使いのテレビがワンタッチ画面表示に対応していない可能性があります。
『画面で見るマニュアル』»「503570」で検索して、対処方法をご覧ください。

音／スピーカー

音が出ない

次の点を確認してください。

詳しくは、『画面で見るマニュアル』»「500890」で検索して、対処方法をご覧ください。

パソコンからカリカリという音がする

この音は、パソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているために発生します。故障ではありませんので、そのままお使いください。

次のような場合に、ハードディスクからカリカリという音がすることがあります。

- Windows を終了した直後
- スリープや休止状態にした直後
- パソコンの操作を一時中断した場合（ハードディスクへのアクセスが数秒間なかった場合）
- 操作を中断した状態から、再度パソコンを操作した場合
- パソコンを操作しない場合でも、常駐しているソフトウェアなどが動作した場合（ハードディスクへのアクセスがあった場合）

Q&A CDやDVDが再生できない

このパソコンに対応している CD/DVD ではないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「500940」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A パソコンで作成した音楽CD（CD-Rなど）がオーディオやCDラジカセで再生できない

一般的に、パソコンで作成した音楽 CD（CD-R など）は、オーディオや CD ラジカセの機種などによっては再生できない場合がありますのでご留意ください。
『画面で見るマニュアル』»「500980」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 接続時のモデムの音を消したい（小さくしたい）

「電話とモデムのオプション」ウィンドウで設定します。
『画面で見るマニュアル』»「500170」で検索して、対処方法をご覧ください。

CD／DVD

Q&A CDやDVDが再生できない

このパソコンに対応しているCD/DVDではないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「500940」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A CD/DVDドライブに入れたCD/DVDが取り出せない

CD/DVDの取り出し方法など、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「501140」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 他のパソコンで作成したCD/DVDが読み込めない

CD/DVDが正しくセットされていないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「501030」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A パソコンで作成した音楽CD（CD-Rなど）がオーディオやCDラジカセで再生できない

一般的に、パソコンで作成した音楽CD（CD-Rなど）は、オーディオやCDラジカセの機種などによっては再生できない場合がありますのでご留意ください。
『画面で見るマニュアル』»「500980」で検索して、対処方法をご覧ください。

キーボード／マウス／フラットポイント

マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない

次の点を確認してください。

check! ❶ ソフトウェアの操作中でしたか？

ソフトウェアを強制終了し、Windows を再起動してください。
「Q　画面が動かなくなった」（••▶ P.56）

check! ❷ キーボードの文字は入力できますか？

『画面で見るマニュアル』→「困ったときの Q ＆ A」に、キーボード入力についての説明があります。次のような場合は、あわせてご覧ください。

- キーを押しても入力できない
- テンキーの数字が入力できない
- キーに刻印されている記号が入力できない

参照
『画面で見るマニュアル』
→「9. 困ったときの Q ＆ A」→「文字入力」

check! ❸ マウスやキーボードに飲み物をこぼしましたか？

柔らかい布などで拭き取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後でキーを押しても文字が入力できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にお問い合わせください。

参照
『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

■ DESKPOWER、TEO の場合

フラットポイントが搭載されている場合には、「BIBLO の場合」（••▶ P.62）の項目もご確認ください。

check! ❶ 光学式のマウスに向かない表面の上で操作していませんか？

光学式のマウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。マウスを使う場所を変えてみてください。

- 鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- 光沢があるもの
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄があるもの（木目調など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

check!❷ ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなっていませんか？

「Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった（ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスの場合）」（••▶ P.64）もあわせてご覧になり、確認してください。

check!❸ 光学式のマウスは正しく接続されていますか？　キーボードは正しく接続されていますか？［DESKPOWER CE シリーズ、EK シリーズ］

マウスやキーボードの接続がゆるんでいると、操作ができなくなります。正しく接続されていなかった場合には、しっかりと接続し直してください。

マウスもキーボードも使えない場合は、「Q パソコンの電源がどうしても切れない」（••▶ P.51）をご覧になり、パソコンの電源を切った後にキーボードとマウスを接続し直してください。

参照

『スタートガイド１　設置編』

check!❹ スクロールボタン（マウスの真ん中のボタン）を押していませんか？［DESKPOWER］

クリックしてみてください。マウスポインタが表示される（動かせる）場合があります。

知らずにスクロールボタンを押してしまった場合、マウスポインタが変わってしまい、好きな方向に動かせないように見えることがあります。

参照

▼添付されているマウスのスクロールボタンの使い方

『画面で見るマニュアル』»「000780」で検索

→「マウスを使う」

■ BIBLO の場合

マウスを接続してお使いの場合は、「DESKPOWER、TEO の場合」（••▶ P.61）の項目もご確認ください。

check!❶ フラットポイントが汚れていませんか？

フラットポイントは表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいはフラットポイントの表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。

電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

check!❷ フラットポイントやスティックポイントの設定を変更しましたか？

USB マウスを接続した状態でフラットポイントやスティックポイントを無効にし、その後でマウスを取り外すと、フラットポイントやスティックポイントで操作ができなくなることがあります。なお、TEO の場合には、この設定はありません。

次の方法でフラットポイントを有効にすることができます。

- 【Fn】を押しながら【F4】を押す

  フラットポイントやスティックポイントが有効の場合は「Internal pointing device:Enable」、無効の場合は「Internal pointing device:Disable」と画面に表示されます。

  ただし、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントやスティックポイントの有効と無効を切り替えていた場合は、この方法で切り替えることはできません。

- 「マウスのプロパティ」ウィンドウで設定を変更する
  キー操作で切り替えられない場合は、もう一度 USB マウスを接続し、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントやスティックポイントを有効にしてください。

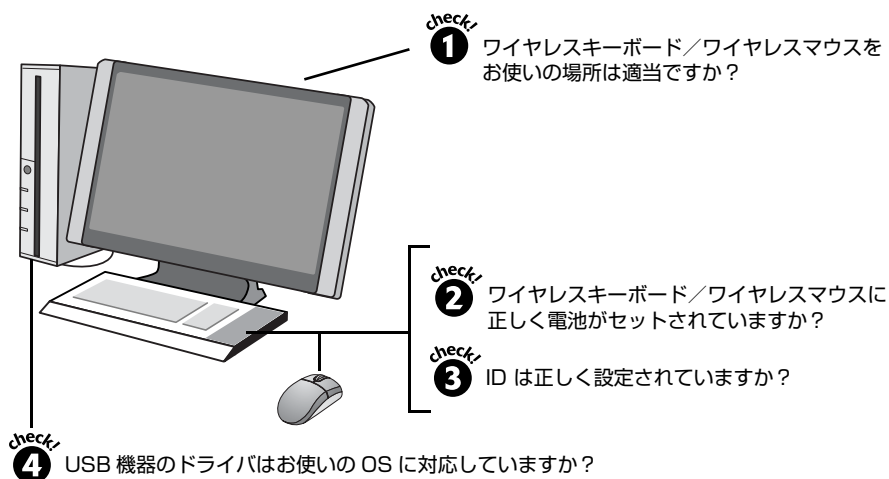
参照

▼ マウスの接続方法
『画面で見るマニュアル』»「000680」で検索
→「マウスを接続する」
▼ フラットポイントの設定方法（LOOX P シリーズを除く）
『画面で見るマニュアル』»「001080」で検索
→「USB マウスを接続したときにフラットポイントを無効にする」

BIOS セットアップのパスワードを設定した場合［BIBLO］

スリープから復帰（レジューム）したとき、フラットポイントやマウス、スティックポイントが使えない場合があります。BIOS セットアップで設定したパスワードを入力して 【Enter】 を押してください。

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった（ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスの場合）

パソコンに添付されているワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いの方は、次の点を確認してください。

「Q　マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない」（••▶ P.61）の対処方法も参考にしてください。

check! 1 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いの場所は適当ですか？

パソコン設置場所やお使いの状況によっては、通信を妨げる原因となる場合があります。
次のマニュアルをご覧になり、正しい配置とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用するときの注意事項を確認してください。

参照
『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

check! 2 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスに正しく電池がセットされていますか？

適切な乾電池を正しくセットする必要があります。
次のマニュアルをご覧になり、セットした電池の種類・向きや寿命について確認してください。

参照
『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

check! 3 ID は正しく設定されていますか？

お使いの状況により、ID を設定し直す必要があります。

参照
『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」
→「ID 設定をする」

check! ❹ **USB 機器のドライバはお使いの OS に対応していますか？**

パソコンに USB 機器を接続している方は、接続している USB 機器のドライバが正しくないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与える場合があります。今お使いの OS にドライバが対応しているかどうかを確認し、対応していない場合は USB 機器のメーカーからお使いの OS に対応したドライバを入手してください。

入手したドライバをインストールするときは、現在お使いのドライバを削除してください。

Q&A ワイヤレスキーボードで勝手に文字が入力される

このパソコンの近くで、他にもワイヤレスキーボードのパソコンを使用されているなど、いくつかの原因が考えられます。

『画面で見るマニュアル』»「502970」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A ワイヤレスキーボードの操作中に、キーを押し続けた状態になったり、音量設定が不安定になったりする

ワイヤレスキーボードの操作中に通信状態が悪化すると、このような現象が起きる場合があります。

『画面で見るマニュアル』»「500920」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A マウスポインタが勝手に移動する（ワイヤレスマウスの場合）

このパソコンの近くで、他にもワイヤレスキーボードのパソコンを使用されているなど、いくつかの原因が考えられます。

『画面で見るマニュアル』»「503030」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A マウスポインタが勝手に移動する（BIBLOの場合）

フラットポイントの設定を変更することで、問題が改善される場合があります。

『画面で見るマニュアル』»「503040」で検索して、対処方法をご覧ください。

タッチパネルでペンが使えない（LOOX Pシリーズの場合）

次の点を順番に確認してください。

check!❶ ペンでしっかりタップしていますか？

ペンの先を画面に押し付ける力が不十分な場合、正しく操作が認識されないことがあります。添付のペンで確実に画面を押して操作をしてください。

check!❷ タッチ位置がずれていませんか？

タッチ位置がずれていると、画面上をタップしても全く反応がなかったり、タップしている場所と違う場所が反応したりします。次のマニュアルをご覧になり、タッチ位置の設定を行ってください。

参照

『ＦＭＶ 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「タッチパネルを使う」→「ペンの調整」

check!❸ ペンは破損していませんか？

ペンを破損したり、紛失したりした場合は新しいペンをご購入ください。

参照

▼ 富士通サプライ品のご購入方法
『ＦＭＶ 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「タッチパネルを使う」→「タッチパネルについて」

無線LAN／モデム

無線LANがつながらない／つながらなくなった

次の点を順番に確認してください。

check! 1 ワイヤレススイッチは ON になっていますか？ [BIBLO]

OFF になっている

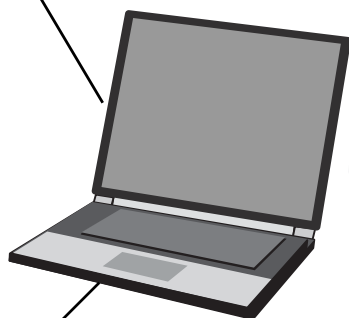
→スイッチを ON にしてください。

参照

▼ ワイヤレススイッチ

『FMV 取扱ガイド』→「各部の名称と働き」

ON になっている

→ **check! 2** に進んでください。

check! 2 無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか？

電源が入っていない

→無線 LAN アクセスポイントに添付のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。

電源が入っている

→ **check! 3** に進んでください。

check! ❸ パソコンと無線 LAN アクセスポイントの設置場所は適当ですか？

パソコンと無線 LAN アクセスポイントの距離が遠かったり、間に障害物があったりすると、電波が届きにくいことがあります。パソコンと無線 LAN アクセスポイントの設置場所を変えることで、改善できる場合があります。
無線 LAN アクセスポイントに添付のマニュアルや次のマニュアルをご覧になり、設置場所を確認してください。

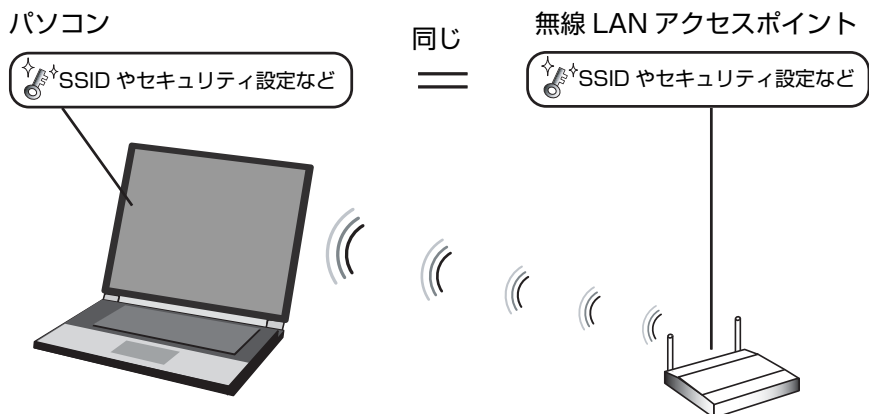
参照
『画面で見るマニュアル』»「001010」で検索
→「無線 LAN をお使いになる上でのご注意」

check! ❹ ユーティリティ「Plugfree NETWORK」の設定が正しくできていますか？

このパソコンに搭載されている無線 LAN は、ユーティリティ「Plugfree NETWORK」を使って設定します。「Plugfree NETWORK」のプロファイルを確認してください。確認する項目は次のとおりです。

- SSID（ネットワーク名）
- パスフレーズ（PSK）や WEP などのセキュリティ設定

SSID とセキュリティ設定については、無線 LAN アクセスポイントの設定と同じにする必要があります。無線 LAN アクセスポイントの設定も確認してください。また、手動設定の場合 OS の IP アドレス設定も確認してください。

参照
▼「Plugfree NETWORK」の設定方法
『画面で見るマニュアル』»「000790」で検索
→「無線 LAN の設定方法」

※ 競合を避けるためパソコンと無線 LAN アクセスポイントの IP アドレスは違う値にする必要があります。

check! ❺ 無線 LAN アクセスポイントのチャンネル設定が正しくできていますか？

無線LANアクセスポイントに設定されているチャンネルがこのパソコンの使用可能チャンネル以外になっている可能性があります。IEEE802.11bの場合、無線LANアクセスポイントのチャンネルを1～13に設定してください。設定方法については、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

check! ❻ 別売の無線 LAN アダプタを使用していませんか？

無線 LAN が搭載されている機種の場合は、別売の無線 LAN アダプタを使うと、ユーティリティなどが競合し、正常に動作しないことがあります。このパソコンに搭載されている無線LANを使うことをお勧めします。
パソコンに搭載されている無線 LAN を使用する場合には、次の手順に従って設定し直すと、正常に動作する場合があります。

1. 別売の無線 LAN アダプタのドライバやユーティリティを削除します。
2. 別売の無線 LAN アダプタを取り外します。
3. このパソコンのユーティリティ「Plugfree NETWORK」を削除（アンインストール）します。
4. もう一度「Plugfree NETWORK」をインストールし直します。

別売の無線 LAN アダプタについては、無線 LAN アダプタに添付のマニュアルをご覧ください。

すでにある無線LANのネットワークに、このパソコンを接続できない

次の点を確認してください。

check!❶ 同一フロア内などで複数の無線 LAN のネットワークがあり、使用するチャンネルが重なっていませんか？

近くに他の無線 LAN のネットワークがある場合は、使用するチャンネルが重ならないように無線 LAN アクセスポイントのチャンネルを変更してください。使用中のチャンネルについては、ユーティリティ「Plugfree NETWORK」の「無線 LAN 管理」→「無線 LAN 情報」→「一覧表示」の順にクリックしてご確認ください（ただし、無線 LAN アクセスポイントが SSID を隠す設定になっている場合は、チャンネルが表示されません）。

check!❷ 接続先のパソコンの電源が入っていますか？

接続先のパソコンの電源が入っているか、確認してください。

check!❸ 接続先にアクセスする権限はありますか？

接続先のネットワークまたはパソコンにアクセスする権限があるか、そのネットワークまたはパソコンに詳しい方（ネットワーク管理者）に確認してください。

Q&A 接続時のモデムの音を消したい（小さくしたい）

「電話とモデムのオプション」ウィンドウで設定します。

『画面で見るマニュアル』»「500170」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 接続先がビジー中の場合など接続に失敗したときに、リダイヤルできない

接続先がビジー中の場合など、接続に失敗したときに、リダイヤルする回数を設定することができます。

『画面で見るマニュアル』»「500190」で検索して、対処方法をご覧ください。

インターネットがつながらない／つながらなくなった

次の順番で確認してください。
1 つの作業を行うごとに、問題が解決しているか確認することをお勧めします。

check! 1 ケーブルは正しく接続されていますか？

いったんパソコンの電源を切り、ケーブルの接続を確認してください。正しく接続されていなかった場合、ご利用のプロバイダまたは回線事業者から送られてきたマニュアルをご覧になり、ケーブルを接続し直してください。

接続し直した後もインターネットにつながらない場合は、**check! 2** に進んでください。

check! 2 ネットワーク機器の電源は入っていますか？正常に動いていますか？

電源が入っていない

→ネットワーク機器に添付のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。

電源が入っている

→モデムやルータのランプが正常に点灯しているか、設定は正しいか確認してください。

設定を確認した後もインターネットにつながらない場合には、モデムやルータなどのネットワーク機器の電源を一度切り、5 分以上待って電源を入れ直した後、さらに 2 ～ 3 分待ってインターネットに接続してください。インターネットに接続できる場合があります。
それでも、インターネットに接続できない場合は、**check!❸** に進んでください。

check!❸ 他のホームページを表示できますか？

今までインターネットに接続できていた場合は、他のホームページを表示できるか確認してください。

表示できた

→インターネットの接続設定には問題ありません。**check!❻** に進んでください。

表示できなかった

→インターネットに接続できていない状態です。**check!❹** に進んでください。

POINT

・「Internet Explorer」のタイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ホームページを表示できていても、インターネットには接続できていない状態です。
ツールバーの「ツール」→「オフライン作業」に ✓（チェックマーク）が付いているか確認してください。
・チェックマークが付いている場合
「オフライン作業」をクリックし ✓（チェックマーク）をはずします。
・チェックマークが付いていない場合
「オフライン作業」の設定に問題はありません。**check!❻** に進んでください。

check!❹ インターネットの設定に問題ありませんか？

ご利用のプロバイダまたは回線事業者（インターネット接続サービスの提供会社）や接続機器によって、設定手順が異なります。ご利用のプロバイダまたは回線事業者から送られてきたマニュアルをご覧になり、次の項目を確認してください。これらの設定内容が不明な場合は、ご利用のプロバイダまたは回線事業者にお問い合わせください。

- TCP/IP 設定や DNS アドレス
- セキュリティ対策ソフトの設定

それでも、インターネットに接続できない場合は、**check!❺** に進んでください。

check!❺「ネットワークブリッジ」アイコンが作成されていませんか？

ネットワークブリッジが設定されていると、インターネットに接続できない場合があります。次の操作で確認してください。

1 （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

3 ウィンドウ左の領域にある「ネットワーク接続の管理」をクリックします。
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

4 「ネットワーク接続」ウィンドウの中に「ネットワークブリッジ」アイコンがあるか確認します。
・「ネットワークブリッジ」アイコンがある場合
「ネットワークブリッジ」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「削除」をクリックし、「ネットワークブリッジ」アイコンを削除します。
・「ネットワークブリッジ」アイコンがない場合
ネットワークブリッジの設定には問題ありません。**check!❻** に進んでください。

check! ❻ それでも解決しない場合には

次の点を順番に確認してください。

- 時間をおいてから再度試してみる
- パソコンを再起動する

Q&A 真っ白で何も表示されない

インターネットの設定など、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「500240」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A セキュリティで保護されたページを見ることができない

インターネットの設定を変更することで、問題が改善される場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「500300」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A ホームページの文字（日本語）が正しく表示されなくなった

表示の設定を変更することで、問題が改善される場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「500250」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A インターネットからダウンロードしたファイルを開くことができない

そのファイルの種別を扱うことのできるソフトウェアがパソコンにインストールされていない場合は、ファイルを開くことができません。
『画面で見るマニュアル』»「500520」で検索して、対処方法をご覧ください。

Eメール

Eメールを送信できない

「Outlook 2007」の場合
『画面で見るマニュアル』»「500410」で検索して、対処方法をご覧ください。
「Windows メール」の場合
『画面で見るマニュアル』»「503450」で検索して、対処方法をご覧ください。

Eメールを受信できない

「Outlook 2007」の場合
『画面で見るマニュアル』»「500420」で検索して、対処方法をご覧ください。
「Windows メール」の場合
『画面で見るマニュアル』»「500540」で検索して、対処方法をご覧ください。

受信したメールが文字化けしている

表示の設定を変更することで、問題が改善される場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「500460」で検索して、対処方法をご覧ください。

メールで受け取った添付ファイルを開くことができない

そのファイルの種別を扱うことのできるソフトウェアがパソコンにインストールされていない場合は、ファイルを開くことができません。
『画面で見るマニュアル』»「500525」で検索して、対処方法をご覧ください。

重要

Windows Vista は、日本工業規格「JIS X0213:2004」に対応しているため、従来 OS との文字の互換性において、問題となる場合があります。
Windows Vista で文字を入力する際にはご注意ください。詳しくは、「文字コードの取り扱いに関するご注意」(→P.167) をご覧ください。

ソフトウェア／ドライバ

Q&A ソフトウェアが動かなくなった

マウスやキーボードを操作しても、ソフトウェアが反応しない場合は、操作していたソフトウェアを強制終了します。
対処方法については、「Q 画面が動かなくなった」（••▶P.56）をご確認ください。

Q&A ソフトウェアがうまく動かない

起動しているソフトウェアを減らすことで、問題が改善される場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「502260」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A ソフトウェアのインストールや削除ができない

「コンピュータの管理者」に設定されているユーザー名でログオンし、作業を行ってください。
『画面で見るマニュアル』»「502320」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A ソフトウェアを削除したら起動のたびにエラーが表示される

「スタートアップ」フォルダに、そのソフトウェアのショートカットアイコンが登録されたままになっていると、パソコンの動作がおかしくなる場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「502370」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A ドライバをインストールできない

お使いの周辺機器に添付されているドライバをインストールしてください。
『画面で見るマニュアル』»「503160」で検索して、対処方法をご覧ください。

プリンタ／印刷

Q&A 印刷できない

プリンタが正しく接続（設定）されていないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「503180」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A おかしな文字で印刷される

プリンタ側に別のデータが残っているなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「503190」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A カラー印刷はできるのに黒文字印刷ができない

黒インクがなくなっていたり、セット方法が間違っていたりなどの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「503200」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 印刷しようとすると、他のソフトウェア(FAXなど)が起動する

「通常使うプリンタ」に他のソフトウェア（FAX など）が設定されていることが原因です。
『画面で見るマニュアル』»「503210」で検索して、対処方法をご覧ください。

Windowsの操作

ファイルを検索する

検索機能を使って、ファイル名や更新日時などから目的のファイルを探すことができます。
『画面で見るマニュアル』»「920220」で検索して、対処方法をご覧ください。

ファイルの拡張子を表示させる方法

「フォルダオプション」ウィンドウで、拡張子が表示されるように設定します。
『画面で見るマニュアル』»「920250」で検索して、対処方法をご覧ください。

ハードディスクの空き容量を確認する

「コンピュータ」ウィンドウで確認できます。
『画面で見るマニュアル』»「920340」で検索して、対処方法をご覧ください。

サイドバーを閉じる

画面の左右に表示しておけるサイドバーを閉じることができます。
『画面で見るマニュアル』»「921220」で検索して、対処方法をご覧ください。

デスクトップに「コンピュータ」や「Internet Explorer」などのアイコンを表示する

デスクトップアイコンを表示／非表示する方法があります。
『画面で見るマニュアル』»「921160」で検索して、対処方法をご覧ください。

「最近使った項目」に表示されるファイルの一覧を削除する

表示ファイルの一覧は「最近使った項目」を右クリックすると削除できます。
『画面で見るマニュアル』»「920030」で検索して、対処方法をご覧ください。

その他、Windows の基礎操作や豆知識については、『画面で見るマニュアル』→「1．パソコンの基本」をご覧ください。

文字入力

Q&A キーを押しても入力できない

キーボードが操作できない場合は、「Q　マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない」（••▶P.61）をご確認ください。
文字が入力できない場合は、キーボードが正しく接続（設定）されていないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「502560」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 日本語が正しく入力できない

文字入力の設定が正しくないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「502650」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 英字が正しく入力できない

文字入力の設定が正しくないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「502660」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A テンキーの数字が入力できない

【Num Lock】キー（または【Num Lk】キー）を押して、テンキーを使える状態にします。

Q&A キーに刻印されている記号が入力できない

文字入力の設定が正しくないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「502670」で検索して、対処方法をご覧ください。

文字入力用の言語バーが表示されない

言語バーの表示設定を変更して、言語バーを表示させます。
『画面で見るマニュアル』»「502920」で検索して、対処方法をご覧ください。

重要

Windows Vista は、日本工業規格「JIS X0213:2004」に対応しているため、従来 OS との文字の互換性において、問題となる場合があります。
Windows Vista で文字を入力する際にはご注意ください。詳しくは、「文字コードの取り扱いに関するご注意」(••▶P.167) をご覧ください。

周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった

次の点を確認してください。

check! ❶ 正しく接続されていますか？

いったんパソコンと周辺機器の電源を切った後、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

check! ❷ 正しく設定されていますか？

周辺機器の設定（ドライバのインストールなど）が正しくされているか確認してください。
詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

check! ❸ 周辺機器がお使いのパソコン、OS に対応していますか？

周辺機器に添付のマニュアル、および次のマニュアルをご覧ください。

参照
『画面で見るマニュアル』
→「6. 周辺機器の接続」

ACPI に対応した周辺機器をお使いください

このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の 1 つ）によって動作していますので、周辺機器も ACPI に対応したものをお使いください。スリープ状態での省電力機能のレベルのことを S1、S3 などと表します。
ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは周辺機器の製造元にお問い合わせください。
DESKPOWER は、低レベルのスリープ（ACPI S1）には対応していません。お使いの周辺機器が S1 にしか対応していない場合は、パソコンをスリープ／休止状態にしないでください。

参照
▼スリープ／休止状態について
『画面で見るマニュアル』»「000410」で検索
→「省電力機能を使う」

正常に起動したときの設定に戻す

周辺機器を取り付けた後で、Windows が起動できなくなった場合、前回正常起動時の構成を使用して、Windows を起動することができます。次の手順に従って操作してください。

1. パソコンの電源を切り、追加した周辺機器を取り外します。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSU のロゴ画面が表示されたら 【F8】 を押します。
   FUJITSUロゴ画面が表示されない場合は、(スタート)→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。
4. 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【F8】 を押します。
5. 【↑】【↓】で、「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、【Enter】 を押します。

これで、前回正常起動時の構成を使用して Windows が起動します。

状態表示LED/LCDがおかしい（BIBLOの場合）

状態によって対処法が異なります。

check! ❶ が赤く点灯／点滅している

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていないなどの原因が考えられます。
AC アダプタを接続し、充電し直してください。

check! ❷ や がオレンジ色に点滅している

バッテリ本体の保護機能が働いて、充電が休止しているなどの原因が考えられます。しばらくそのままでお待ちください。自動的に充電が再開されます。

参照

▼ バッテリや充電について
『画面で見るマニュアル』»「000590」で検索
→「バッテリで使う」
▼ 状態表示 LED/LCD について
『画面で見るマニュアル』»「000230」で検索
→「各部の名称と働き：状態表示 LED」または「各部の名称と働き：状態表示 LCD」

バッテリが充電されない（BIBLOの場合）

次のような原因が考えられます。順番に確認してください。

原因	対処
バッテリが外れている	内蔵バッテリパックを取り付けてください。 参照 『FMV 取扱ガイド』 →「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」
AC アダプタが外れている	コンセントおよびパソコン本体に AC アダプタを正しく接続し直してください。 参照 『FMV 取扱ガイド』 →「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「AC アダプタを接続する」
パソコン本体が熱くなり、保護機能が働いている（状態表示 LED/LCD の「バッテリ充電ランプ」[注] が点滅）	保護機能が働いて、充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。
パソコン本体が冷たくなり、保護機能が働いている（状態表示 LED/LCD の「バッテリ充電ランプ」[注] が点滅）	パソコンを暖かいところに置いて、ACアダプタを接続し直してください。暖かいところに移す場合は、結露が発生しないようご注意ください。 バッテリの温度が 5 ℃以下になると、保護機能が働いて充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。

注：機種により「バッテリ充電表示」／「内蔵バッテリパック充電ランプ（増設用内蔵バッテリユニット充電ランプ）」となります。

バッテリが 90%以上残っているとき

バッテリが約 90%以上残っているときは、充電を開始しない場合があります。

参照

▼バッテリについて
『画面で見るマニュアル』»「000590」で検索
→「バッテリで使う」

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

ドライバをインストールできない

お使いの周辺機器に添付されているドライバをインストールしてください。
『画面で見るマニュアル』»「503160」で検索して、対処方法をご覧ください。

ファイルを削除してもハードディスクの空き容量が増えない

ファイルを削除しても（ごみ箱）に移動されるだけなので、ハードディスクの中にはデータが残っています。
『画面で見るマニュアル』»「501720」で検索して、対処方法をご覧ください。

フロッピーディスクの読み取り、書き込みができない（フロッピーディスクドライブ搭載の場合）

フロッピーディスクが正しくセットされていないなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「501170」で検索して、対処方法をご覧ください。

画面に表示されるメッセージ

「自動再生」ウィンドウが表示された

ディスクなどをパソコンにセットしたときに表示される場合があります。

お使いの状況に応じた動作をクリックします。

どの動作かわからない場合は、✕をクリックしてください。
「***** に対しては常に次の動作を行う。」と表示されている場合は、□をクリックして☑にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

（画面は機種や状況により異なります）

参照

▼ DVD-VIDEO や音楽 CD が自動再生するよう設定するには
『画面で見るマニュアル』»「000075」で検索
→「DVD-VIDEO や音楽 CD の自動再生について」

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された

「ユーザーアカウント制御（UAC)」機能により、Windows の動作やシステムに影響を与える操作が行われると、このメッセージが表示されることがあります。

【管理者アカウント (パスワード設定なし) でログインした場合】

メッセージの内容をよく確認し、そのまま操作を続ける場合には、「続行」をクリックします。

【管理者アカウント (パスワード設定あり)、または管理者アカウント以外でログインした場合】

メッセージの内容をよく確認し、表示されている「管理者アカウント」のパスワードを入力してから「OK」をクリックします。

参照

▼ユーザーアカウント制御（UAC）機能

『画面で見るマニュアル』»「211270」で検索

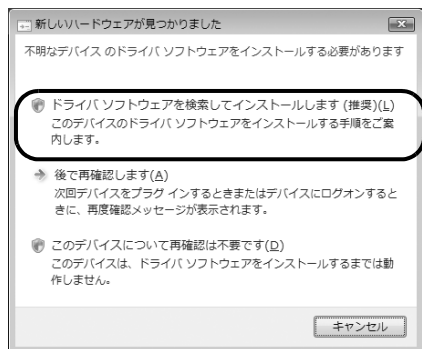
→「ユーザーアカウント制御機能の概要」

3

Q&A集

「不明なデバイスのドライバソフトウェアをインストールする必要があります」と表示された

周辺機器を接続したときなどに、このメッセージが表示される場合があります。

そのまま操作を続けるには、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックします。

- 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら
  「続行」をクリックします。「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
- 「デバイス ドライバ ソフトウェアをインストールしています」と表示されたら
  表示されたメッセージの ✕ 以外のところをクリックし、表示に従って操作してください。

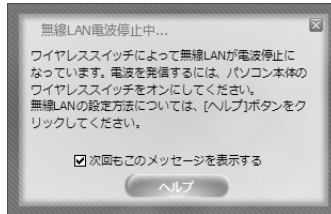
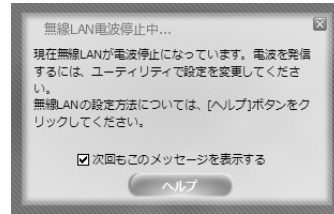
「Windowsは予期しないシャットダウンから回復しました」と表示された

Windows の操作中にエラーが発生すると、このメッセージが表示される場合があります。

「送信」または「後で確認」をクリックすると、マイクロソフト社のサーバーに接続され、エラーの詳細レポートが送信されます（送信には、インターネット接続環境が必要です)。
このレポートはインターネットを通じて匿名の機密情報として送信され、マイクロソフト社の製品改善に使用されます。エラー報告をしない場合は、「キャンセル」をクリックします。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

「無線LAN電波停止中・・・」と表示された

無線 LAN の電波を停止していると、起動するたびに表示されます。

または

■無線 LAN をお使いの方

『画面で見るマニュアル』をご覧になり、無線 LAN の電波を発信してください。

参照

▼ 無線 LAN の電波の発信方法

『画面で見るマニュアル』 » 「001000」で検索

→「無線 LAN を使う」

■無線 LAN をお使いにならない方

起動時にこのメッセージを表示させたくない場合は、「次回もこのメッセージを表示する」の ☑ をクリックして、□ にしてください。このメッセージは、ユーティリティの設定を変更することで、再度表示することができます。

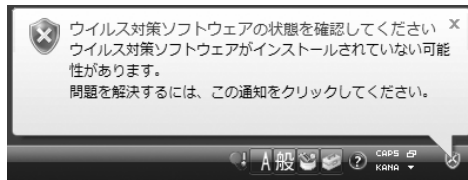
「所在地情報」ウィンドウが表示された

お使いのパソコンに所在地情報の設定がされていない場合にこのウィンドウが表示されます。お使いの通信回線にあわせて、設定を行ってください。

参照

▼設定項目と内容について
『画面で見るマニュアル』»「202130」で検索
→「所在地情報を設定する」

「ウイルス対策ソフトウェアの状態を確認してください」と表示された

セキュリティ対策の状態が確認できない場合やセキュリティの設定に問題がある場合、Windows のセキュリティ機能が働いて、このメッセージが表示されます。

表示されたメッセージの ✕ 以外のところをクリックし、表示された画面の設定を行ってください。

check! ❶ ウイルス対策ソフトをインストールしましたか？初期設定を行いましたか？

セキュリティ対策ソフトウェアのインストールを行っていない場合、セットアップ後やリカバリ後にセキュリティ対策ソフトの設定を行っていない場合に表示されます。
次のマニュアルご覧になり、セキュリティ対策ソフトの設定を行ってください。

参照
『スタートガイド2　セットアップ編』
→「セキュリティ対策をする (セキュリティ対策ソフトの初期設定)」

このパソコンに添付の「Norton Internet Security」以外のセキュリティ対策ソフトをお使いの場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルやヘルプをご覧ください

check! ❷ セキュリティ対策ソフトは最新の状態になっていますか？

お使いのセキュリティ対策ソフトが最新の状態になっていない場合に表示されます。
お使いのセキュリティ対策ソフトに添付のマニュアルやヘルプをご覧になり、ソフトウェアを最新の状態にしてください。

check! ❸ セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能は有効になっていますか？

お使いのセキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能を無効に設定した場合に表示されます。
ソフトウェアに添付のマニュアルやヘルプをご覧になり、ファイアウォール機能が有効になるよう設定してください。

POINT

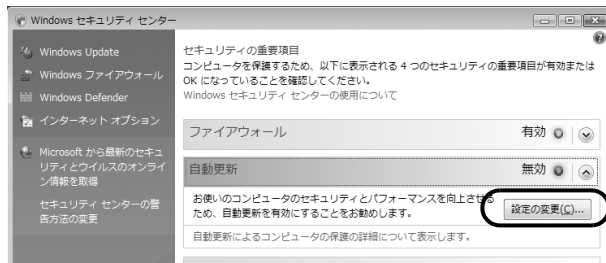
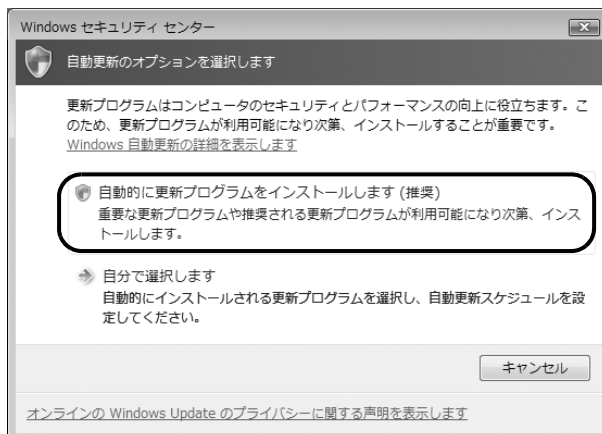
Windows標準の「Windowsファイアウォール」をお使いになる場合は、次の手順に従って「Windowsファイアウォール」の設定を「有効」にしてください。なお、「Norton Internet Security」をお使いの場合は、「Windowsファイアウォール」を「有効」にする必要はありません。

1. 表示されたメッセージの ✕ 以外のところをクリックします。
2. 「Windows セキュリティセンター」ウィンドウの「ファイアウォール」をクリックし、「今すぐ有効にする」をクリックします。
   「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。
3. 「続行」をクリックします。
   「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。

check! ❹ 「Windows Update」の自動更新は有効になっていますか？

「Windows Update」の自動的に更新する設定が無効になっている場合に表示されます。次の手順に従って設定を変更してください。

1 表示されたメッセージの ☒ 以外のところをクリックします。
「Windows セキュリティセンター」ウィンドウが表示されます。

2 「自動更新」の「設定の変更」をクリックします。

3 「自動的に更新プログラムをインストールします（推奨）」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

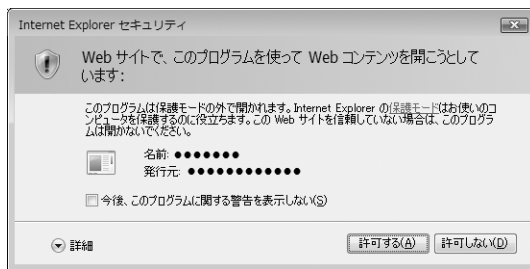
4 「続行」をクリックします。
「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
「自動更新」が有効に設定されます。

表示されたメッセージが消えてしまった場合は、次の手順で「Windowsセキュリティセンター」ウィンドウを表示することができます。

1. （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「コントロールパネル」の「セキュリティ状態の確認」をクリックします。
「Windows セキュリティセンター」ウィンドウが表示されます。

「Norton Internet Security」の「WEBサイトで、このプログラムを使って WEBコンテンツを開こうとしています」などのウィンドウが表示された

「Norton Internet Security」をお使いの場合は、ネットワークに接続したり、ソフトウェアを起動したりしたときに、「Norton Internet Security」の「WEBサイトで、このプログラムを使って WEBコンテンツを開こうとしています」などのウィンドウが表示される場合があります。

「Norton Internet Security」は、不正アクセスや重要なデータの流出を防ぐために、お使いのパソコンを監視しています。そのため、ネットワークを利用するソフトウェアやサービスによっては、「Norton Internet Security」に不審な動作として認識され、このウィンドウが表示される場合があります。

次の操作を進めるには、そのソフトウェアを使用しても安全上問題がないかどうかよくご確認のうえ、設定を行ってください。
コンピュータ上の何というプログラムがネットワークに接続しようとしているのか知りたい場合は、「詳細」をクリックしてください。

check!❶ ネットワークに接続しても問題ないとお客様自身が判断した場合

「許可する」をクリックしてください。以後、常にそのソフトウェアでネットワークを利用することができます。

check!❷ ネットワークに接続しないようにする場合

「許可しない」をクリックします。以後、常にそのソフトウェアでネットワークを利用する機能は使えなくなります。

設定終了後は、そのソフトウェアを利用しようとしてもウィンドウは表示されなくなります。
「Norton Internet Security」については、ヘルプをご覧になるか、株式会社シマンテックにお問い合わせください。

参照
▼お問い合わせ窓口について
『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「サポート窓口に相談する」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」→「各ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」

必ず LiveUpdate を行ってください

LiveUpdate を行うと、ご購入時にインストールされているソフトウェアがネットワーク機能を使用する場合に、警告ウィンドウを表示しないように、自動で設定します。
ただし、お客様が警告ウィンドウで許可を設定した場合は、LiveUpdate を行っても自動で設定はされません。お客様ご自身で設定を変更してください。

参照

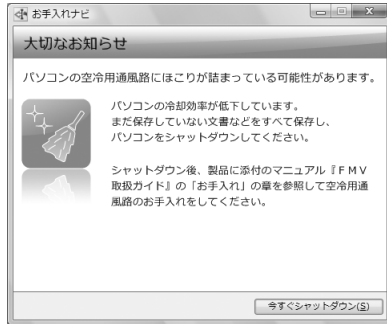
▼ 設定した内容の確認や変更をする方法
『画面で見るマニュアル』»「211170」で検索
→「「Norton Internet Security」のファイアウォールを設定する」

「updatenv.exe」、「MyMediaServer.exe」、「first.exe」について

「updatenv.exe」は、「アップデートナビ」が使用しているプログラムです。
「MyMediaServer.exe」は、「MyMedia」が使用しているプログラムです（「MyMedia」がインストールされている場合）。
「first.exe」は、『画面で見るマニュアル』の「なるほどパソコン入門」で使用しているプログラムです。
セキュリティ上の問題はありませんので、「許可する」を選択し、「OK」をクリックして先に進んでください。

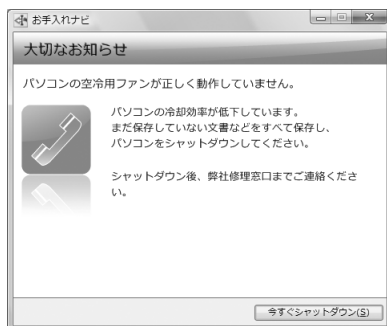
「お手入れナビ」ウィンドウが表示された（NF75シリーズ、MG70シリーズの場合）

ほこりが詰まってパソコン本体内部の温度が高くなりすぎたり、内部のファンが故障したりした場合に、このメッセージが表示される場合があります。

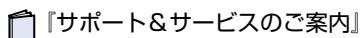
■「パソコンの空冷用通風路にほこりが詰まっている可能性があります。」というメッセージが表示された場合

パソコンの空冷用通風路にほこりが詰まっている場合に表示されます。
「今すぐシャットダウン」をクリックして電源を切った後、『FMV取扱ガイド』をご覧になり、パソコンの清掃を行ってください。

参照

『FMV 取扱ガイド』
→「お手入れ」→「FMV のお手入れ」

■「パソコンの空冷用ファンが正しく動作していません。」というメッセージが表示された場合

パソコン本体内部の温度が高くなっているにもかかわらず、ファンの回転数が低下している場合に表示されます。
「今すぐシャットダウン」をクリックして電源を切った後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にお問い合わせください。

参照

▼「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」について
『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

Q&A 「インターネットへ情報を送信するときに、その情報をほかの人から読み取られる可能性があります」と表示された

ホームページから情報を送信するときに表示されるメッセージです。送信した情報がインターネット上の第三者に読み取られる可能性があることを警告しています。
『画面で見るマニュアル』»「500050」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。このページを表示するには、[接続]をクリックしてください」と表示された

オフラインモードを解除して先に進むことができます。
『画面で見るマニュアル』»「500070」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」と表示された

「Internet Explorer」でファイルをダウンロードして、パソコンに保存したり、ファイルを実行したりするときに、「セキュリティの警告」ウィンドウが表示されることがあります。
『画面で見るマニュアル』»「503560」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 「ページを表示できません／ページが見つかりません」と表示された

アドレス (URL) の間違いなど、いくつかの原因が考えられます。
『画面で見るマニュアル』»「500040」で検索して、対処方法をご覧ください。

Q&A 情報バーが表示された

「Internet Explorer」で、リンクをクリックして別のページを表示するときなどに、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれるメッセージが表示され、操作が中断してしまう場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「500100」で検索して、対処方法をご覧ください。

「セキュリティ設定により、Webサイトでのコンピュータにインストールされた ActiveX コントロールの使用は許可されません」と表示された

「Internet Explorer」で、リンクをクリックして別のページを表示するときなどに、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれるメッセージが表示され、操作が中断してしまう場合があります。

『画面で見るマニュアル』»「501450」で検索して、対処方法をご覧ください。

「セキュリティ保護のため、このサイトによる、このコンピュータへのファイルのダウンロードがInternet Explorerによりブロックされました」と表示された

「Internet Explorer」の「ActiveX コントロールのダウンロードブロック」機能により、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれるメッセージが表示され、ホームページ上のファイルのダウンロードが制限されてしまう場合があります。

『画面で見るマニュアル』»「501460」で検索して、対処方法をご覧ください。

「ポップアップはブロックされました」と表示された

「Internet Explorer」の「ポップアップブロック」機能により、ホームページの上部に「情報バー」と呼ばれるメッセージが表示され、広告などのポップアップウィンドウの表示が制限されてしまう場合があります。

『画面で見るマニュアル』»「501470」で検索して、対処方法をご覧ください。

お問い合わせの前に

パソコンを診断する

Windowsが起動しなくなったときは、このパソコンの診断プログラムでパソコンを診断してください。
診断時間は通常 5 ～ 10 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えた後、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になりお問い合わせください。

重要

診断を行う前に周辺機器を外してください。
USB メモリや外付けハードディスクなど、ハードディスクやリムーバブルディスクと認識される周辺機器は、診断を行う前に外してください。

診断を開始する

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 お使いの機種に合わせて、次の操作を行います。
- DESKPOWER LX シリーズの場合
  電源が切れた状態で、パソコン前面のフラップを開けて診断ボタンを押します。
  起動メニューが表示されたら、手順 4 に進んでください。
  起動メニューが表示されないときは、キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備して、手順 3 に進んでください。
- BIBLO NF75/70/50/40 シリーズ、MG70 シリーズの場合
  電源が切れた状態で Support ボタンを押します。
  この後、手順 4 に進んでください。
- 上記以外の機種の場合
  キーボードの【F12】の位置を確認します。
  パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。
  この後、手順 3 に進んでください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されている間に、【F12】を押します。
【F12】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
FUJITSU ロゴ画面が表示されない場合は、（スタート）→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

4 起動メニューが表示されたら、【↓】を押して、「診断プログラム」または「Diagnostic program」を選択し、【Enter】を押します。

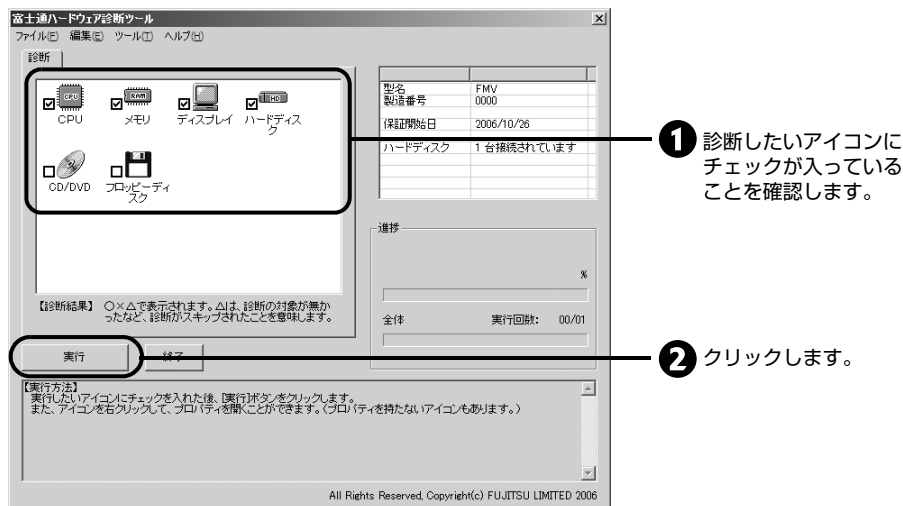
5 「診断プログラムを実行しますか？」と表示された場合は、【Y】を押しハードウェア診断を始めます。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウが表示された場合は、手順 7 に進んでください。
ハードウェア診断が終了したら自動的にパソコンが再起動し、診断結果が表示されます。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

6 次の操作を行ないます。

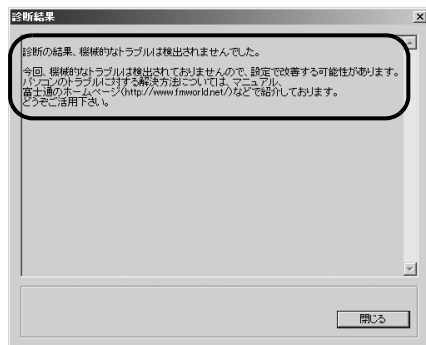
・トラブルが検出されなかった場合
【Enter】を押してください。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウが表示されます。手順7に進んでください。

・トラブルが検出された場合
画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせの際にサポート担当者にお伝えください。その後、キーボードの【Y】を押してパソコンの電源を切ってください。

7 次の画面の操作を行います。

ハードウェア診断が始まります。

「[ハードウェア名]に[媒体]をセットしてください」などと表示された場合

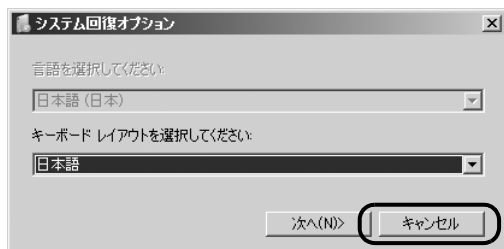
表示されたハードウェアに媒体をセットしてから、「診断開始」をクリックしてください。診断しない場合は、「スキップ」をクリックしてください。

8 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

表示された内容に従って操作を行ってください。エラーコードが表示された場合には、メモなどに控え、お問い合わせの際にサポート担当者にお伝えください。

9 「診断結果」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

10 「終了」をクリックします。
「終了」ウィンドウが表示されます。

11 「はい」をクリックします。

12 「システム回復オプション」ウィンドウで「キャンセル」をクリックします。

13 「はい」をクリックします。
パソコンが再起動します。

『サポート&サービスのご案内』をご覧ください

マニュアルや診断プログラムをご利用いただいても問題が解決できない場合は、『サポート&サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせ先をご確認のうえお問い合わせください。

ソフトウェアに関するお問い合わせ

このパソコンに添付されているソフトウェアの内容については、『サポート&サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。後から購入した市販のソフトウェアについては、各ソフトウェアの開発元にお問い合わせください。電話番号、FAX 番号などはお間違えのないよう、お確かめのうえおかけくださるようお願いいたします。
なお、お使いの機種やモデルにより、添付されているソフトウェアは異なります。

富士通製品に関するお問い合わせ

次のような場合、『サポート&サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。

- **パソコンを誤って壊してしまったときなどの、故障、修理に関するお問い合わせ。**
- **添付のマニュアルや『画面で見るマニュアル』で調べても、どうしてもパソコンの使い方がわからないとき。**
- **「Q&A 集」(··▶ P.41)で調べて対処したり、「パソコンを復元する(リカバリ)」(··▶ P.101)を実行したりしても、パソコンの調子がおかしいとき。**

重要

保証期間について

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。ただし、保証書に保証開始日の記入がないと、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

参照

『サポート&サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

お使いのパソコンの修理を依頼するときは

- データをバックアップしてください。
パソコンの修理を依頼した場合、パソコンの内容が修理前と異なり、作成したデータが何も入っていない状態や、ご購入時の状態になってしまう場合があります。大切なデータは必ずCD/DVDなど別の媒体にバックアップをしておいてください。
- 「リカバリ&ユーティリティディスク」をご用意ください。
パソコンの修理を依頼するとき、添付の「リカバリ&ユーティリティディスク」が必要になります。修理を依頼するときは、必ず同梱してください。

3

Q&A集

第４章

パソコンを復元する（リカバリ）

ここでは、パソコンを復元する方法について説明します。
いきなり「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行せず「リカバリとは」を必ず読んでから作業を始めてください。

1 リカバリとは

原因が特定できない不具合が起きたときなどに、リカバリをすると解決されることがあります。
しかし、リカバリをするとパソコン内のデータや設定がすべて削除されてしまいますので、本当にリカバリが必要なのかをもう一度確かめてください。リカバリをしなくても、問題を解決できる場合があります。
リカバリをするときは、以降の記載をお読みになり、あらかじめリカバリについて理解しておきましょう。

こんなときにリカバリをする

パソコンが次のような状態になったときに、リカバリを行います。

- 電源を入れても Windows が起動しない
- C ドライブをフォーマットしてしまった
- ウイルスに感染してしまったが、駆除できない
- 原因は分からないけれどパソコンが動かない
- システムを入れ直したい

リカバリをするとどうなるのか

リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて削除されます。
重要と思われるデータは、お客様の責任において、D ドライブや CD/DVD など別の媒体にバックアップをしてください。なお、バックアップできない設定情報やファイルがあった場所などは、リカバリ後のことを考えて、メモなどに控えておくとよいでしょう。
バックアップをしないでリカバリをし、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできません。
バックアップ方法については、「「FM かんたんバックアップ」でバックアップ」（••▶P.31）をご覧ください。

リカバリをする必要があるかもう一度確認

次のようなときはリカバリをしないで問題が解決できる場合がありますので、もう一度確かめてください。

■BIOS をご購入時の状態に戻す

BIOS をご購入時の状態に戻すと、問題が解決する場合があります。
ご購入時の状態に戻す方法については、「BIOS をご購入時の状態に戻す」（▶ P.165）をご覧ください。

■パソコンに起こったトラブルを解決したい

どうしてもリカバリが必要か、もう一度確認してください。
「Q&A 集」（▶ P.41）

■削除したソフトウェアをインストールし直したい

ソフトウェアの再インストールのためにリカバリをする必要はありません。

参照

▼ 添付のソフトウェアのインストール方法

『画面で見るマニュアル』 »「200230」で検索

→「FMV かんたんインストール」

■ドライバを更新したい

必要なドライバがわかっている場合、特定のドライバを更新するためにリカバリをする必要はありません。
ドライバの更新については、「ドライバを更新する」（▶ P.162）をご覧ください。

■廃棄・譲渡の前に、個人情報を消したい

ハードディスクの情報を消すことが目的の方は、リカバリではなく「ハードディスクデータ消去」を行ってください。
「ハードディスクデータ消去」については、「廃棄に関するご注意」（▶ P.145）をご覧ください。

リカバリの種類

リカバリには目的によっていくつかの種類があります。それぞれのリカバリの概要を説明します。

「マイリカバリ」を使うリカバリ

■特徴

ディスクイメージを作成したときの状態に戻せます。
メールやインターネットの設定、ソフトウェアなどもそのままなので、パソコンがすぐに使えます。

■ハードディスクの状態

C ドライブのデータがすべて削除され、パソコンが、「マイリカバリ」でディスクイメージの保存をした時点の状態に戻ります。D ドライブのデータは残ります。

■操作方法

「「マイリカバリ」で いざというときも安心」（••▶ P.13）をご覧ください。

ご購入時の状態に戻すリカバリ

■特徴

ご購入時の状態に戻します。今までの設定などをやり直す必要があります。

■ハードディスクの状態

C ドライブのデータがすべて削除され、パソコンがご購入時の状態に戻ります。D ドライブのデータは残ります。

■操作方法

「ご購入時の状態に戻すリカバリ」（••▶ P.105）をご覧ください。

領域を変更するリカバリ

■特徴

ハードディスク内のデータをすべて削除して、C ドライブと D ドライブの割合を変更します。

■ハードディスクの状態

C ドライブ、D ドライブのデータがすべて削除され、ハードディスクの領域が変更されます。

■操作方法

「C ドライブと D ドライブの割合を変更する（領域を変更するリカバリ）」（••▶ P.155）をご覧ください。

2 ご購入時の状態に戻すリカバリ

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す説明をします。

重 要

トラブル解決が目的でリカバリをする方

リカバリをしても、問題が解決されない場合があります。その場合は、状況に応じたサポートやサービスをご利用ください。

参照

▼ 状況に応じたサポートやサービスをご利用いただくには
『サポート＆サービスのご案内』

C ドライブのみを購入時に戻します

この章で説明する手順では、C ドライブだけをご購入時の状態に戻します。D ドライブの内容は残ります。

POINT

リカバリやバックアップの操作代行サービス（有償）をご用意しています

富士通パソコン出張サービス「PC 家庭教師」をご利用ください。

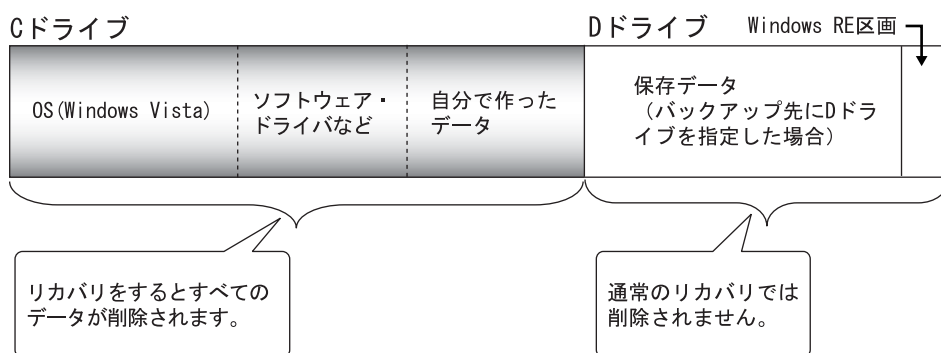
参照

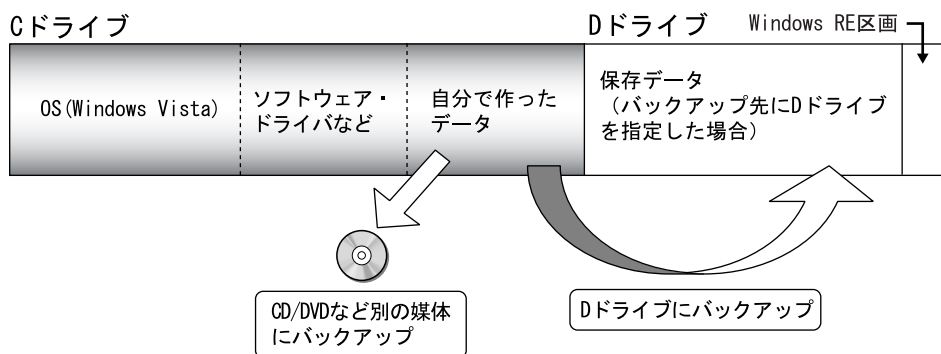
『サポート＆サービスのご案内』
→「操作指導サービス」→「富士通パソコン出張サービス「PC 家庭教師」（有料）［富士通パーソナルズ］」

ご購入時の状態に戻すリカバリの考え方

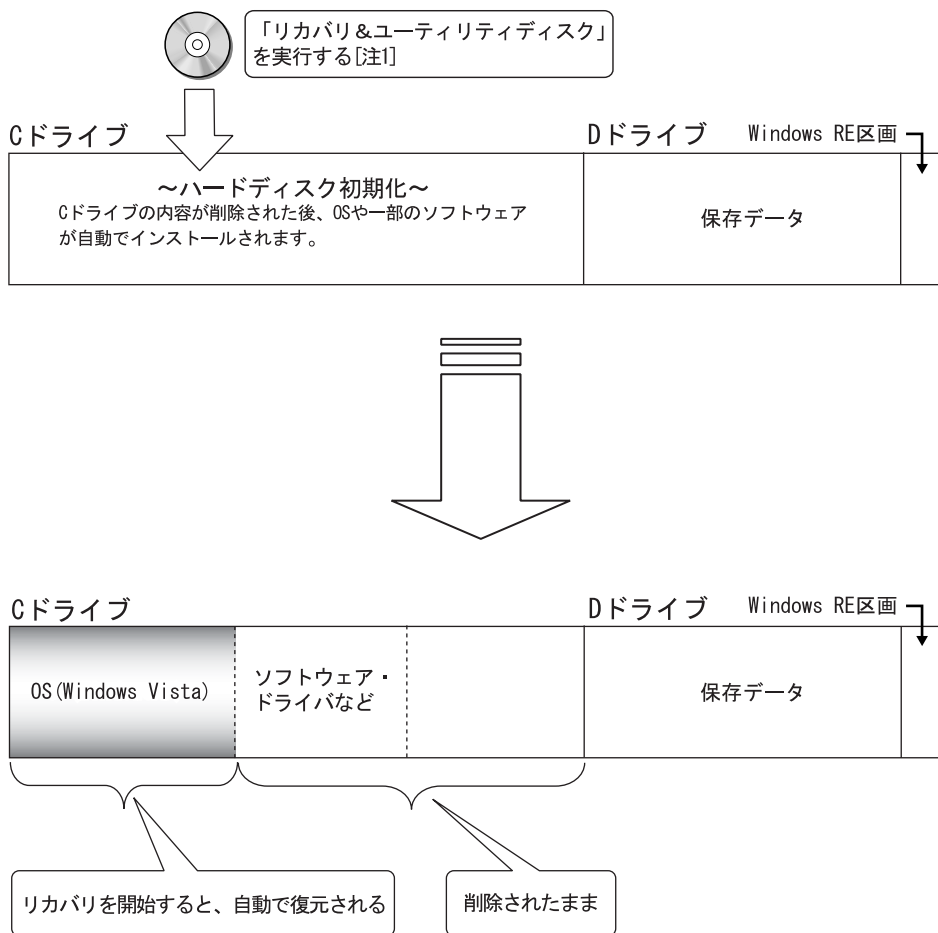
リカバリをして、パソコンをご購入時の状態に戻すまでにどんな作業が必要か、簡単に説明します。
次のイメージ図をご覧になり、流れを理解しましょう。

ハードディスクの領域

このパソコンのハードディスクは、C ドライブと D ドライブの 2 つの領域があります。

①リカバリ前にすること

C ドライブのデータを CD/DVD など別の媒体や D ドライブにバックアップします。

②リカバリ実行（ハードディスクの初期化～ご購入時の状態に戻るまで）

■「リカバリ＆ユーティリティディスク」の実行

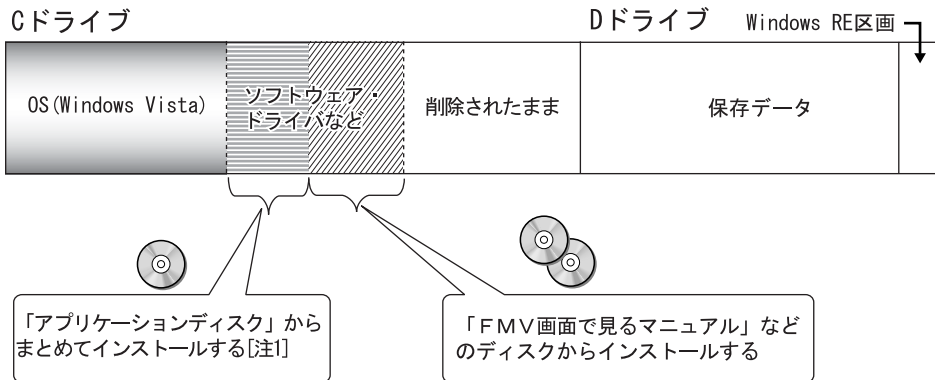
ハードディスクを初期状態にし（データは削除されます）、Windows をインストールし直します。ドライバやいくつかのソフトウェアは、このときいっしょに再インストールされます。

すべてのソフトウェアを再インストールする必要のない場合は、「リカバリ＆ユーティリティディスク」からのインストールだけでリカバリを終了してもかまいません。
ただしこの場合も、「必ず実行してください」を実行するなど、パソコンを動かすのに重要な設定を行う必要があります。

注1：「リカバリ＆ユーティリティディスク」の実行時には、「リカバリ＆ユーティリティディスク」だけではなく、「アプリケーションディスク 1」、「アプリケーションディスク 2」も必要な機種があります。

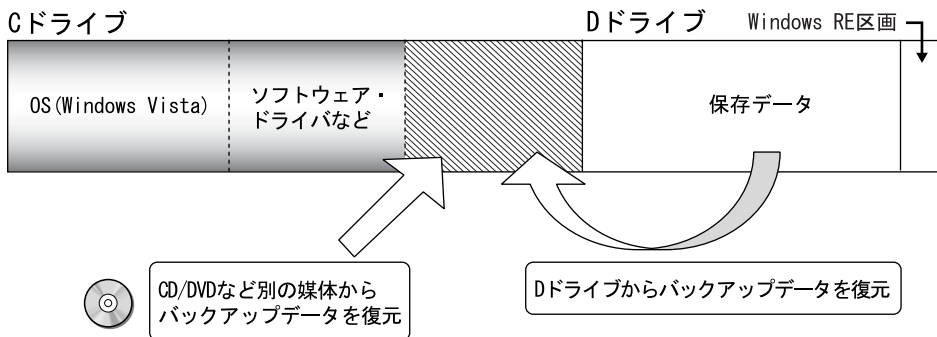
4

パソコンを復元する（リカバリ）

■残りのソフトウェアのインストール

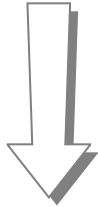
「リカバリ＆ユーティリティディスク」では復元されないソフトウェアを添付のディスクからインストールします。

注１：「アプリケーションディスク」からインストールするソフトウェアがない機種もあります。

③以前使っていた状態に戻す（ご購入時の状態に戻った後）

バックアップ先から、データを元の場所に戻します。

リカバリの流れ

リカバリの実際の手順は、次の作業を連続して行います。
機種により細かい手順は異なりますが、大枠の流れは次のとおりです。

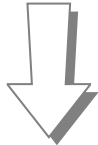
準備

ファイルのバックアップ

STEP 1　バックアップをする（ ••▶ P.110）

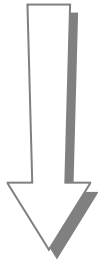
STEP 2　リカバリをする前に気をつけておくこと（ ••▶ P.111）

STEP 3　ディスクを用意する（ ••▶ P.113）

リカバリの実行

リカバリ ～ Windows のセットアップ

STEP 4　「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する（ ••▶ P.114）

STEP 5　Windowsのセットアップをする（ ••▶ P.118）

ソフトウェアのインストール

STEP 6　添付のディスクを使う①（ ••▶ P.120）

STEP 7　添付のディスクを使う②（ ••▶ P.123）

STEP 8　このパソコンに最適な設定を行う（ ••▶ P.126）

STEP 9　添付のディスクを使う③（ ••▶ P.127）

※ STEP 6、STEP 7、STEP 9 は、お使いの機種によってはすべて行う必要はありませんので、本文の説明に従ってください。

パソコンの設定を以前の環境に近づける

以前の環境に近づける（ ••▶ P.128）の必要に応じた設定を行う

リカバリの準備

リカバリをする前に、ここに書かれているSTEP1～3をよくお読みになり、リカバリの準備をしてください。

STEP 1 バックアップをする

リカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて削除されます。
重要と思われるデータは、お客様の責任において、DドライブやCD/DVDなど別の媒体にバックアップをしてください。なお、バックアップできない設定情報やファイルがあった場所などは、リカバリ後のことを考えて、メモなどに控えておくとよいでしょう。
バックアップをしないでリカバリをし、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできません。
バックアップ方法については、「「FM かんたんバックアップ」でバックアップ」（••▶ P.31）をご覧ください。

重 要

Windows が起動できないときは

Windows が起動できないときに、データをバックアップするには、「かんたんバックアップレスキュー」を使います。「かんたんバックアップレスキュー」は、「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットすると表示されるメニューから行うバックアップ方法です。
操作方法については、「Windows が起動しないときにバックアップする」（••▶ P.152）をご覧ください。

ウイルスに感染したときは

ウイルスによっては、作成したファイルや Windows の設定が変更されてしまう場合があります。セキュリティ対策ソフトを使い、ウイルスを駆除してから、バックアップしてください。

メモなどに控えておきたいもの

データでバックアップできない次の内容などはメモしておくとよいでしょう。

・ネットワーク環境
・メールの設定
・ファイルの保存場所

バックアップしたファイルはパソコンをご購入時の状態に戻した後、同じ保存場所に戻すようにします。そのために元のファイルの保存場所を、メモなどして忘れないようにしてください。

STEP 2 リカバリをする前に気をつけておくこと

「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行してご購入時の状態に戻す前に、次の項目を確認してください。

■リカバリの動作環境は満たしていますか？

リカバリをしてご購入時の状態に戻すには、ハードディスクドライブ（Cドライブ）が次の条件を満たしている必要があります。

- ファイルシステムが NTFS に設定されている
- 容量が以下の数値になっている
  - 27GB・・・ハードディスクドライブが 60GB の機種
  - 36GB・・・ハードディスクドライブが 80GB の機種
  - 50GB・・・ハードディスクドライブが 100GB 以上の機種

なお、ご購入時からシステムの変更や容量の変更をしていない方は、この設定になっています。
ハードディスクドライブについては、『FMV 取扱ガイド』→「仕様一覧」をご覧ください。

ファイルシステムを FAT32 に変更している方は

ファイルシステムを FAT32 に変更されている方でも、ハードディスクの領域を変更すれば、リカバリを実行できます。ただし、ファイルシステムは NTFS に変更されます。
領域を変更するには、「C ドライブと D ドライブの割合を変更する（領域を変更するリカバリ）」（▶ P.155）をご覧ください。

■AC アダプタを使用していますか？［BIBLO］

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「AC アダプタを接続する」

■添付のディスプレイ、キーボード、マウス以外は取り外してください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、ご購入時に添付されているディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器は取り外してください。また、セットした PC カードなどもすべて取り外してください。アンテナケーブルや LAN ケーブル、モデムに接続した電話線などもすべて抜いてください。
マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。
【BIBLO をお使いの方で USB マウス（光学式）が添付されている場合】
マウスも取り外してください。

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。パソコンの各コネクタに接続されていたり、パソコン本体の内部に取り付けられていたりします。

■メモリーカードやフロッピーディスクは取り出してください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、メモリーカードやフロッピーディスク（フロッピーディスクドライブ搭載の機種をお使いの方のみ）をセットしたままにせず、取り出してください。マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

ソフトウェアのインストールなどでファイルをコピーしている間は、他の操作をしないでください。次の画面が表示されるのに時間がかかる場合があります。むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、インストールが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

「リカバリ＆ユーティリティディスク」実行からソフトウェアのインストール終了まで、早く終了する機種でも 3 時間はかかります。
半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

作業中に起こる可能性のあるトラブル

「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行するときやソフトウェアをインストールするときに、次のようなトラブルが起こる可能性があります。

■画面が真っ暗になった

省電力機能が働いた可能性があります。
【DESKPOWER の場合】
　マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを 1 回押してください。または、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。
【TEO、BIBLO の場合】
　フラットポイントの操作面やスティックポイントに触れるか、キーボードの【Shift】などを押してください。
それでも復帰しない場合は、電源（パソコン電源）ボタンを押してください。

■電源が切れない

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

STEP 3 ディスクを用意する

ご購入時の状態に戻す作業には、このパソコンに添付のディスクを使います。

■機種名（品名）・モデルを確認する

お使いのパソコンによって、作業などが異なります。まず、機種名（品名）・モデルなどを確認してください。

参照

『スタートガイド１　設置編』

■ディスクを準備する

このパソコンに添付のディスクから、次のディスクを用意してください。

- リカバリ＆ユーティリティディスク
- アプリケーションディスク 1[注 1]
- アプリケーションディスク 2[注 1]
- ＦＭＶ 画面で見るマニュアル
- Office 2007 のパッケージ [注 2]
- Office PowerPoint 2007 のパッケージ [注 3]
- プロアトラス SV2 for FUJITSU[注 4][注 5]

注１： 次の機種は、リカバリを実行するとソフトウェアがインストールされるので、ディスクは必要ありません。
・DESKPOWER CE40 シリーズ、EK シリーズ
・TEO
・BIBLO NF シリーズ、MG シリーズ、LOOX
・カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方

注２： TEO50W/D、TEO30W、カスタムメイドモデルで「スタンダードセット（Office なし）」を選択した方を除く。

注３： カスタムメイドモデルで、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 セットを選択した方のみ添付されています。

注４： BIBLO LOOX、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く。

注５： TEO は、リカバリを実行すると「プロアトラス SV2 for FUJITSU」がインストールされるので、ディスクは必要ありません。

ディスクの確認が終わったら、次の「リカバリを実行する」（P.114）をご覧ください。

「リカバリ＆ユーティリティディスク」、「アプリケーションディスク」を紛失または破損したときは

「リカバリ＆ユーティリティディスク」は、Web または電話で申し込んで購入してください。
「アプリケーションディスク」は、Web からの購入はできません。電話で申し込んで購入してください。

■ Web からの申し込み

次の「リカバリ CD/ ディスク有償サービス」ページから申し込んでください。
http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/

■ 電話での申し込み

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に申し込んでください。
0120-950-222（通話料無料）
音声ガイダンスに従って、７番の「ユーザー登録に関するお問い合わせ窓口」を選択してください。

リカバリを実行する

リカバリの準備が終わったら、リカバリを実行します。STEP をよくお読みになり、手順に従って進んでください。ハードディスクの C ドライブの内容を、ご購入時の状態に戻します。

STEP 4 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する

準備ができたら「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行します。ハードディスクの C ドライブの内容がいったんすべて消去され、「リカバリ＆ユーティリティディスク」から Windows がインストールされてご購入時の状態に戻ります。また、このときいくつかのソフトウェアもインストールされます。

ハードディスクを初期状態に戻す

重要

ディスクは途中で取り出さないでください

「リカバリ＆ユーティリティディスク」実行中は、リカバリの完了メッセージが表示されるまで、セットされているディスクを取り出さないでください。リカバリが中断されることがあります。

リカバリが中断されてしまったら

リカバリが中断されてしまった場合は、以下の点を確認した後、次の手順 1（▶P.115）からやり直してください。

- 周辺機器を取り外したか確認してください。
  パソコンの電源を切り、ご購入時に添付されているディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器はすべて取り外してください。BIBLO をお使いの方で USB マウス（光学式）が添付されている場合は、マウスも取り外してください。
- 手順を確認してください。
  手順を間違えている可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

外付けハードディスクは必ず取り外してください

パソコン本体の USB コネクタ、または IEEE1394（DV）端子に、外付けハードディスクなどを接続している場合は、リカバリを行う前に必ず取り外してください。
外付けハードディスクが接続されていると、リカバリが行えません。

BIBLO LOOX P シリーズをお使いの方

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニットまたはスーパーマルチドライブユニットを用意してください。
ご購入時に CD/DVD ドライブを選択していない方は、外付けの CD/DVD ドライブを用意してください。
CD/DVD ドライブについては、『ＦＭＶ 取扱ガイド』→「パソコン本体の取り扱い」→「CD/DVD を使う」をご覧ください。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 お使いの機種に合わせて、次の操作を行います。

■DESKPOWER LX シリーズの場合
電源が切れた状態で、パソコン前面のフラップを開けて診断ボタンを押します。起動メニューが表示されたら、手順 4 に進んでください。
起動メニューが表示されないときは、キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備して、手順 3 に進んでください。

■BIBLO NF75/70/50/40 シリーズ、MG70 シリーズの場合
電源が切れた状態で Support ボタンを押します。この後、手順 4 に進んでください。

■上記以外の機種の場合
キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。この後、手順 3 に進んでください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が変わるまで何度も押してください。

（画面は機種や状況により異なります）

重要

FUJITSU ロゴ画面が表示されないときは

（スタート）→ [▶] の [▶] →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

4 起動メニューが表示されたら、「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。

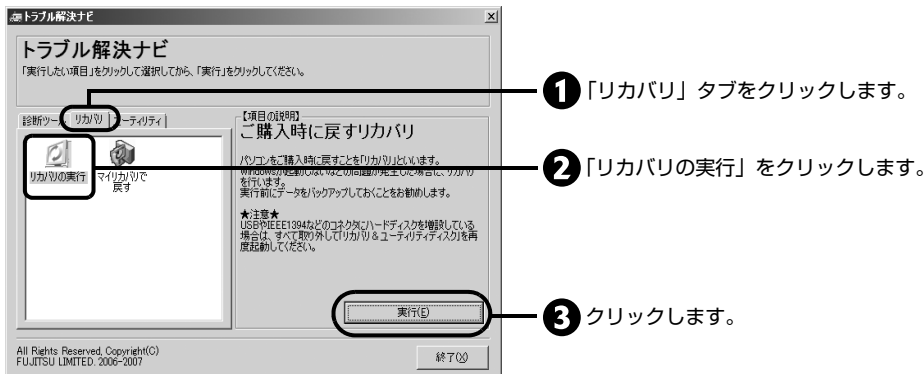
認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 表示されたメニューで【↓】を押してCD/DVD ドライブに該当する項目を選択し、【Enter】を押します。

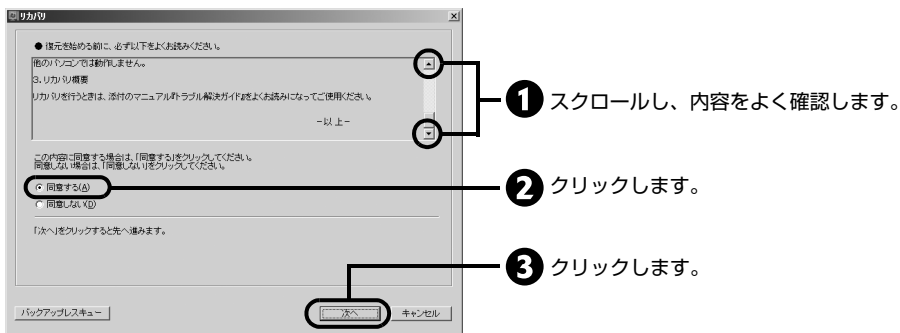
6 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 「トラブル解決ナビ」が表示されたら、次の画面の操作を行います。

重要

「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示されてしまったら

まれに、「トラブル解決ナビ」が表示されず、「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示されることがあります。
このときは、必ず「キャンセル」をクリックし、手順 1（••▶ P.115）からやり直してください。

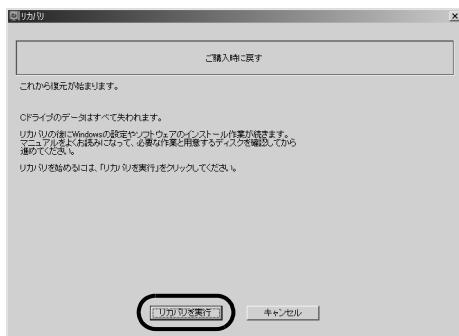
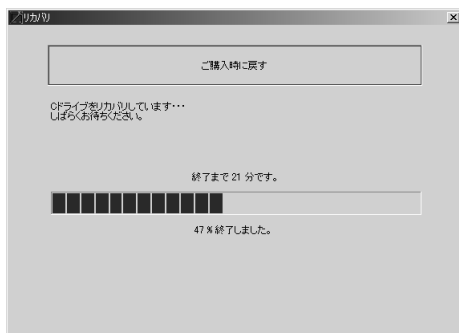
8 内容をよくお読みになり、次の画面の操作を行います。

POINT

マウス、フラットポイント、またはスクロールボタンのスクロール機能は使用できません

手順 8 の画面では、マウス、フラットポイント、またはスクロールボタンのスクロール機能は使用できません。▲ ▼をクリックして、文章を上下させてください。

9 リカバリについて説明する画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

リカバリを開始して良いかどうか確認する画面が表示されます。

10 「リカバリを実行」をクリックし、リカバリを開始します。

リカバリの進捗状況を示す画面が表示され、リカバリが始まります。

11 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると「リカバリが完了しました。」と表示されます。

12 「OK」をクリックします。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

「STEP 5 Windows のセットアップをする」（••▶P.118）へ進んでください。

STEP 5 Windowsのセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。ここでは手順のみを説明します。

1 「Windows のセットアップ」の画面で、「国または地域」が「日本」、「時刻と通貨の形式」が「日本語（日本）」、「キーボードレイアウト」が「Microsoft IME」になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

2 ライセンス条項の内容をご覧になり、同意いただけるときは「ライセンス条項に同意します」を 2ヶ所クリックして☑にし、「次へ」をクリックします。

3 「ユーザー名と画像の選択」の画面が表示されたら、ユーザー名を入力し、ユーザーアカウントで使用する画像を選択して、「次へ」をクリックします。

「ユーザー名を入力してください」にユーザー名を入力します。
ここではパスワードを入力しません。パスワードは後から設定できます。詳しくは、セットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「パスワード」で検索し、「コンピュータをパスワードで保護する」をご覧ください。

4 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」の画面で、デスクトップの背景を選択して、「次へ」をクリックします。

ここでは「富士通オリジナル背景」から選択します。
表示されているコンピュータ名は変更しません。コンピュータ名は後から変更できます。詳しくは、セットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示し、「コンピュータ名」で検索して、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

5 「Windows を自動的に保護するよう設定してください」の画面で、「推奨設定を使用します」をクリックします。

6 「ありがとうございます」の画面が表示されたら、「開始」をクリックします。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 「初期設定の準備を行っています。数分かかりますのでしばらくおまちください」の画面が約 60 秒間表示されます。

8 「必ず実行してください」ウィンドウが表示されたら、「実行する」をクリックします。

9 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「続行」をクリックします。

■DESKPOWER LX シリーズ、CE70/50 シリーズ、BIBILO NX シリーズの場合
「STEP6 添付のディスクを使う①」（••▶ P.120）へ進んでください。

■DESKPOWER CE40 シリーズ、EK シリーズ、TEO、BIBLO NF シリーズ、MG シリーズ、LOOX の場合
STEP6 の操作はありません。
「STEP7 添付のディスクを使う②」（••▶ P.123）に進んでください。

■富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルで、ご購入時に「スタンダードセット（Office なし）」を選択した場合
STEP6、STEP7 の操作はありません。
「STEP8 このパソコンに最適な設定を行う」（••▶ P.126）に進んでください。

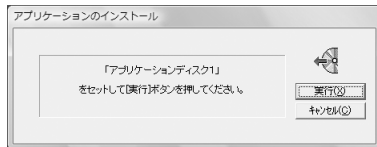
STEP 6 添付のディスクを使う①

「アプリケーションディスク」を使って、まだインストールされていない複数のソフトウェアをインストールします。
ソフトウェアのインストール中は、メッセージが表示されるまで、「アプリケーションディスク」を入れ替えないでください。トラブルの原因になる場合があります。

POINT

「自動再生」というウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「自動再生」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 「自動再生」ウィンドウが表示された」（P.84）もあわせてご覧ください。

1 次の画面が表示されたら、現在セットされているディスクを取り出し、「アプリケーションディスク 1」をセットします。

POINT

ソフトウェアをインストールしなくてもお使いになれます

ここから先は、主にソフトウェアをインストールする手順になります。
ご購入時と同じ状態にせず、ソフトウェアをインストールしなくても、パソコンはお使いになれます。
ソフトウェアをインストールせずにパソコンをお使いになりたい場合は、「アプリケーションのインストール」ウィンドウで「キャンセル」をクリックしてください。

2 「実行」をクリックします。

この後青い画面になり、しばらくすると「FMかんたんインストール」ウィンドウが表示されます。

3 「標準」をクリックします。

「標準」をクリックすると、ご購入時にインストールされていたソフトウェアが一括で選択されます。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4 「開始」をクリックします。

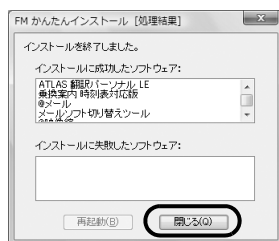
5 「インストールを開始します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。そのまましばらくお待ちください。
手順 6 の「FM かんたんインストール［処理結果］」ウィンドウが表示されるまで、画面上で操作したり、クリックしたりしないでください。

「JRAIL」というウィンドウが表示されたときは

正常に動作していますので、何も操作はせず、そのままお待ちください（「キャンセル」は押さないでください）。自動でインストールが終了し、元の画面に戻ります。

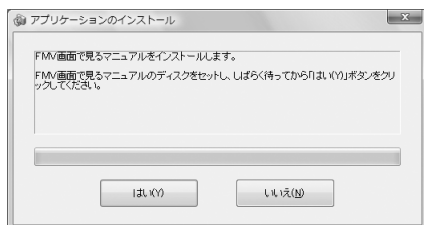
インストールが終了すると、「FM かんたんインストール ［処理結果］」ウィンドウが表示されます。

6 結果を確認し、「閉じる」をクリックします。

7 「FM かんたんインストール」ウィンドウで「終了」をクリックします。

8 「「アプリケーションディスク 2」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、ディスクを入れ替えます。

9 「実行」をクリックします。

10 手順３～７に従って操作します。

「FM かんたんインストール」が終了し、ソフトウェアのインストールを手助けするウィザードが表示されます。

（機種により表示されるソフトウェアの種類は異なります）

11 セットしてあるディスクを取り出します。

「SETP 7 添付のディスクを使う②」（••▶ P.123）に進んでください。

STEP 7 添付のディスクを使う②

ここからは、インストールを手助けするウィザードに従って、ソフトウェアをインストールします。ウィザードには、次にインストールするソフトウェア名と用意するディスク名が表示されます。ソフトウェア名とディスク名を確認しながらインストールしてください。
ウィサードが表示されない場合は、「補足情報」（••▶ P.133）に進んでください。

ここでインストールするソフトウェアと使用するディスク

お使いの機種により、ご購入時にインストールされていたソフトウェアは異なります。
必要なソフトウェアを次の表でご確認ください。

ソフトウェア名	インストールが必要な機種	使用するディスク
画面で見るマニュアル	全機種	FMV 画面で見るマニュアル
Office 2007、Office ナビ	全機種 [注 1]	Office 2007 のパッケージ
PowerPoint 2007	[注 2]	Office PowerPoint 2007 の パッケージ
プロアトラス SV2 for FUJITSU	全機種 [注 3][注 4]	プロアトラス SV2 for FUJITSU

注 1： TE050W/D、TE030W、カスタムメイドモデルで「スタンダードセット（Officeなし）」を選択した方を除く。
注 2： カスタムメイドモデルで、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007セットを選択した方のみ。
注 3： BIBLO LOOX、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方を除く。
注 4： TEOは、リカバリを実行すると「プロアトラスSV2 for FUJITSU」がインストールされるので、ディスクは必要ありません。

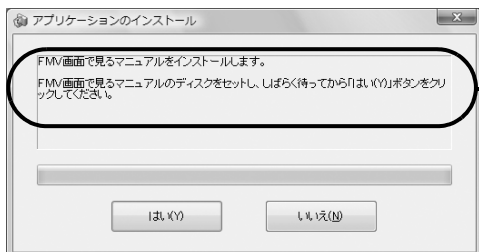
「自動再生」というウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「自動再生」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 「自動再生」ウィンドウが表示された」（••▶ P.84）もあわせてご覧ください。

『画面で見るマニュアル』をインストールする

1 ウィザードが表示されていることを確認します。

ウィザードが表示されない場合は、「補足情報」（••▶ P.133）をご覧になり、ソフトウェアをインストールしてください。

2 ウィザードに表示されているディスクをセットします。

ここを確認し、インストールするソフトウェアとセットするディスクを判断します。
この場合は、「FMV画面で見るマニュアル」をセットします。

3 「はい」をクリックします。

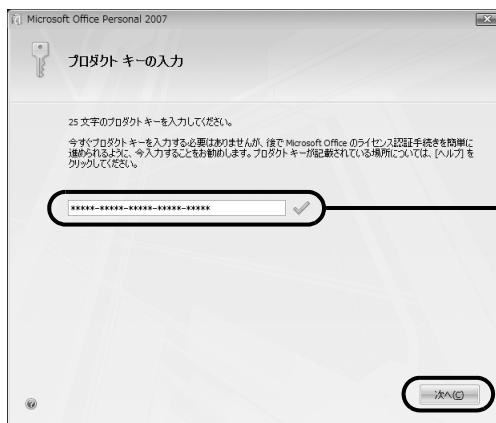
ソフトウェアのインストールが始まります。

『画面で見るマニュアル』のインストールが終了したら、画面の指示に従って「Office 2007」をインストールします。

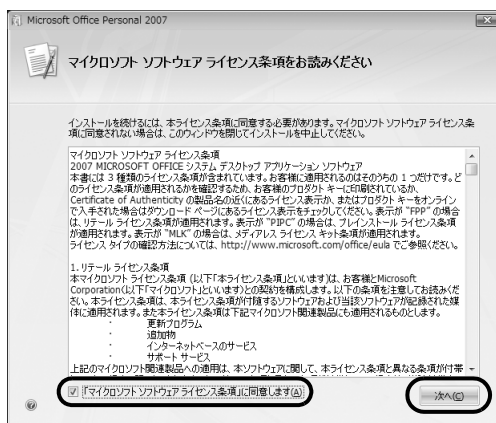
「Office 2007」をインストールする

1 「Microsoft Office・・・をインストールします」と表示されたら、「Office 2007 の CD-ROM」をセットし、「はい」をクリックします。

プロダクトキーを入力する画面が表示されます。

2 「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」という画面が表示されます。

3 内容をお読みになり、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」をクリックして☑にして、「次へ」をクリックします。

「インストールの種類を選択してください」という画面が表示されます。

4 「今すぐインストール」をクリックします。

インストールが始まります。しばらくお待ちください。

5 インストール終了のメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

重要

カスタムメイドモデルで、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 セットを選択した方は

「Office 2007」のインストールに続いて、「PowerPoint 2007 の CD-ROM」を使って「PowerPoint 2007」のインストールを行います。
表示されるメッセージに従って、インストールを行ってください。
インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの英数字を入力してください。

6 ウィザードの指示に従って、「Office ナビ」をインストールします。

「プロアトラス」をインストールする

1 「プロアトラス・・・をインストールします」と表示されたら、「プロアトラスの CD-ROM」をセットし、「はい」をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。

2 「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示されます。

「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示されたら、現在セットされているディスクを取り出してください。

3 「はい」をクリックします。

デスクトップのショートカットアイコンが削除され、「パソコンの設定」ウィンドウが表示されます。

4 「OK」をクリックします。

「STEP8 このパソコンに最適な設定を行う」（▶ P.126）に進んでください。

STEP 8 このパソコンに最適な設定を行う

パソコンに最適な設定を行います。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

1 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います。」ウィンドウが表示されます。

2 「OK」をクリックします。

画面がいったん暗くなり、Windows が再起動します。

BIBLO をお使いの方

指紋認証をお使いになる場合は、あらかじめ準備が必要です。終了後、再びこのマニュアルの手順に戻ります。
詳しくは、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「指紋認証を使う」をご覧ください。

■富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルで、ご購入時に「スタンダードセット（Office なし）」を選択した場合
「STEP9 添付のディスクを使う③」（P.127）に進んでください。

■上記以外の機種の場合
これで、作業は終了です。「以前の環境に近づける」（P.128）を参考に、リカバリをする前の環境に近づけてください。

STEP 9 添付のディスクを使う③

富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルで、ご購入時に「スタンダードセット（Office なし）」を選択した方のみ

1. **「アプリケーションディスク 2」をセットします。**

2. **「自動再生」ウィンドウが表示されたら、「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。**
   「アプリケーションディスク 2」の内容が表示されます。

3. **表示されるファイルの中から「info」ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択してクリックします。**

4. **「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「続行」をクリックします。**
   ファイルが実行され、自動で必要な設定が行われます。

5. **「アプリケーションディスク 2」を取り出します。**

6. **「『画面で見るマニュアル』をインストールする」の手順1～6（P.133）を行います。**

これで、作業は終了です。「以前の環境に近づける」（P.128）を参考に、リカバリをする前の環境に近づけてください。

以前の環境に近づける

「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行し、添付のディスクから必要なソフトウェアをインストールしたら、以前に使っていた環境に近づけましょう。

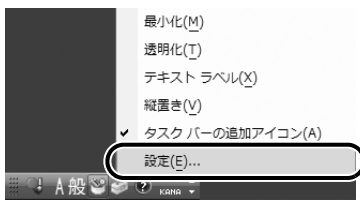
ユーザー登録を再度行う必要はありません

リカバリの前に、お使いのパソコンのユーザー登録がお済みの方は、リカバリ後に再度ユーザー登録を行う必要はありません。

「Microsoft IME」の設定（該当機種のみ）

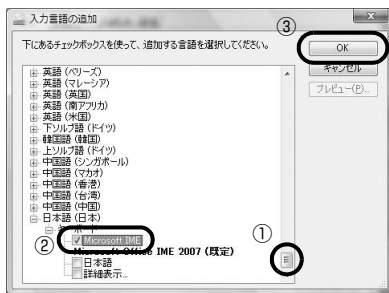
次の機種をお使いの方は、手順に従って「Microsoft IME」の設定を行ってください。
その他の機種をお使いの方は、この設定は必要ありません。

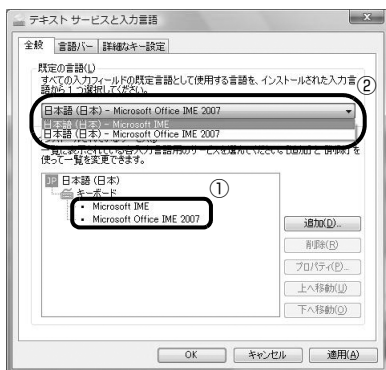
- BIBLO NF75W/V
- BIBLO NF75WN で富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルでご購入時にデジタイザと Office Personal 2007 を選択した方
- BIBLO LOOX P70WN、LOOX P50WN で富士通 WEB MART のカスタムメイドモデルでご購入時に Office Personal 2007 を選択した方

1 「Microsoft IME」の言語バーで、（ツール）を右クリックし、「設定」をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ウィンドウが表示されます。

2 「全般」タブで、「追加」をクリックします。

「入力言語の追加」ウィンドウが表示されます。

3 ①スクロールバーを一番下までスクロールし、②「Microsoft IME」の☐をクリックして☑にして、③「OK」をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ウィンドウに戻ります。

4 ①「インストールされているサービス」に「Microsoft IME」が追加されていることを確認し、②「既定の言語」で「日本語（日本）- Microsoft IME」を選択します。

5 「OK」をクリックします。

周辺機器を接続する

リカバリをする前に取り外した周辺機器やアンテナケーブルを接続し、それぞれのセットアップや設定を行います。

参照

▼ プリンタなどの周辺機器の接続

『画面で見るマニュアル』

→「6. 周辺機器の接続」

ユーザーアカウントをリカバリ前の設定に戻す

1 台のパソコンを複数のユーザーでお使いだった方は、「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」でリカバリ前の設定に戻します。

参照
▼ ユーザーアカウントの登録のしかた
『画面で見るマニュアル』 »「202140」で検索
→「ユーザーの切り替えを使うとこんなに便利」

ソフトウェアをインストールする

添付の「アプリケーションディスク」のソフトウェアや市販のソフトウェアなど、ご購入後にインストールしたソフトウェアは、改めてインストールする必要があります。

参照
▼ 「アプリケーションディスク」からのインストールの方法
『画面で見るマニュアル』 »「200230」で検索
→「FM かんたんインストール」

その他のソフトウェアのインストール方法は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

ソフトウェアをインストールした後は

ソフトウェアをインストールした後は、すぐにソフトウェアを使わず、Windows を再起動してからお使いになることをお勧めします。

バックアップしたファイルを復元する

D ドライブや CD/DVD など別の媒体にバックアップしたファイルを、バックアップしたときと同じ場所に戻します。1 台のパソコンを複数のユーザーで使用し、それぞれのユーザー名でログオンしてバックアップした方は、同じユーザー名で復元します。
バックアップしたファイルを復元する方法や注意事項などについては、次をご覧ください。

- 「FM かんたんバックアップ」で復元する（••▶ P.38）
  「FM かんたんバックアップ」をお使いになる前に（••▶ P.33）もあわせてご覧ください。

なお、ソフトウェアのバックアップ機能など、上記以外の方法でバックアップしたファイルや設定を復元する場合は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルやヘルプをご覧ください。

セキュリティ問題などの修正プログラムを実行する

コンピュータウイルスの感染を防ぐため、「リカバリ＆ユーティリティディスク」に修正プログラムが用意されている場合があります。インターネットに接続する前に、修正プログラムがあるか確認し、ある場合は修正プログラムを実行してください。
修正プログラムは、次の手順で確認・実行できます。

1. Windowsが起動した状態で「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットし、マイコンピュータなどで中のファイルを表示します。
   リカバリ後の状態では、CD/DVD ドライブは、E ドライブです。
2. (OTHER) フォルダがあるかどうかを確認します。ある場合は、(OTHER) フォルダをクリックし、中にある (OS) フォルダを開きます。
   修正プログラムのフォルダが表示されます。
   (OTHER) がない場合は、修正プログラムがないので、ここでの手順を実行する必要はありません。
3. フォルダを開いて中のファイルを実行し、インストールしてください。
   修正プログラムのフォルダは複数ある場合があります。順番に、すべてのファイルを実行してください。

インターネット接続の設定をする

リカバリをする前にインターネットに接続していた方は、オンラインサインアップ（入会申し込み）を行う必要はありません。接続の設定を行うだけで再びインターネットをご利用になれます。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「インターネットを始めるための準備をする」

POINT

「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は

インターネットへの接続がダイヤルアップ接続の方で、「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った方は、ダイヤルアップ接続の設定を行う必要はありません。
「FM かんたんバックアップ」については、「「FM かんたんバックアップ」でバックアップ」（••▶ P.31）をご覧ください。

ライセンス認証を行う

「Office 2007」や「PowerPoint 2007」がパソコンにインストールされている方のみ行ってください。
「Office 2007」や「PowerPoint 2007」をお使いになる前に、ライセンス認証が必要です。
認証手順については、「Office 2007」や「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱の『スタート ガイド』をご覧ください。

Windows を最新の状態にする（Windows Update）

「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行すると、それまで「Windows Update」で最新の状態に更新・修正していたプログラムは、ご購入時の状態に戻ってしまいます。あらためて、「Windows Update」を実行して Windows を最新の状態にしてください。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「Windows を最新の状態にする」

『スタートガイド２　セットアップ編』の手順にある「パソコン準備ばっちりガイド」を起動するには、デスクトップにある (パソコン準備ばっちりガイド) をクリックしてください。

セキュリティ対策をする

リカバリをする前と同じように、セキュリティ対策を行ってください。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」

『スタートガイド2　セットアップ編』の手順にある「パソコン準備ばっちりガイド」を起動するには、デスクトップにある（パソコン準備ばっちりガイド）をクリックしてください。

その他

■パソコンの設定を変える

画面の背景（壁紙）、スクリーンセーバー、画面の解像度や発色数など、お客様が以前使っていたパソコンの設定に戻します。

参照

『画面で見るマニュアル』
→「5. パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」

■ソフトウェアの設定を変える

「DigitalTVbox」のチャンネル設定など、自分で行ったソフトウェアの設定を元に戻します。

ドライバを更新する

ドライバの更新については、「ドライバを更新する」（▶ P.162）をご覧ください。

■音声の出力先を設定する（TEO のみ）

Windows の起動時に音が出なかった場合は、音声の出力先を変更してください。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「機種ごとの設定をする」→「音声の出力先を設定する（TEO のみ）」

3 補足情報

リカバリで行うソフトウェアのインストールのときに、何らかの理由でソフトウェアのインストールを手助けするウィザードが表示されなくなることがあります。
ウィザードが表示されなくなった場合は、ここで説明しているとおりに操作してください。
なお、ここでの手順は「STEP 6 添付のディスクを使う①」（→ P.120）の手順の続きになっています。

『画面で見るマニュアル』をインストールする

『画面で見るマニュアル』をインストールします。「FMV 画面で見るマニュアル」を用意してください。

1 「FMV 画面で見るマニュアル」をセットします。

「自動再生」ウィンドウが表示されます。

2 「自動再生」ウィンドウが表示されたら、「autorun.exe の実行」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

3 「続行」をクリックします。

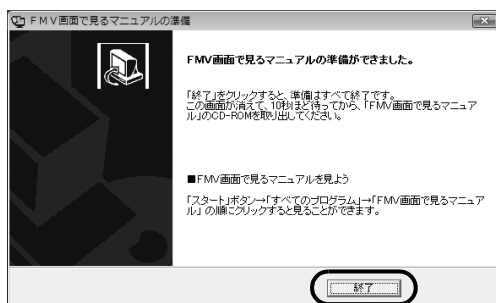
「FMV 画面で見るマニュアルの準備」ウィンドウが表示されます。

「FMV 画面で見るマニュアルは、すでにインストールされています。起動してお使いください。」と表示されたときは

このメッセージが表示されたときは、『画面で見るマニュアル』をインストールする必要はありません。手順 6 に進んでください。

4 「FMV 画面で見るマニュアルの準備」というウィンドウで「開始」をクリックします。

『画面で見るマニュアル』のインストールが始まります。手順 5 のウィンドウが表示されるまで、しばらくお待ちください。

5 「FMV 画面で見るマニュアルの準備ができました。」というウィンドウで「終了」をクリックします。

「FMV 画面で見るマニュアルの準備」ウィンドウが閉じます。

6 「FMV 画面で見るマニュアル」を取り出します。

「Office 2007」をインストールする

TE050W/D、TE030W、カスタムメイドモデルで「スタンダードセット（Office なし）」を選択した方は添付されていません。

「Office 2007」をインストールする

「Office 2007 の CD-ROM」を用意してください。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

■「Office 2007」のインストール

「Office 2007」のパッケージに同梱されている『スタートガイド』をご覧になり、「Office 2007」をインストールしてください。

重要

プロダクトキーについて

インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。
「Office 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの英数字を入力してください。

ライセンス認証が必要です

パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に「Office 2007」のソフトウェアをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。
詳しくは、「ライセンス認証を行う」（••▶ P.131）をご覧ください。

■「PowerPoint 2007」のインストール（カスタムメイドモデルで、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 セットを選択した方）

「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されている『スタートガイド』をご覧になり、「PowerPoint 2007」をインストールしてください。

重要

プロダクトキーについて

インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。
「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの英数字を入力してください。

ライセンス認証が必要です

パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に「PowerPoint 2007」のソフトウェアをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。
詳しくは、「ライセンス認証を行う」（••▶ P.131）をご覧ください。

「Office ナビ」をインストールする

重要

「Office 2007」がパソコンにインストールされている必要があります

「Officeナビ」をインストールするには、「Office 2007」がすでにインストールされている必要があります。

1 **（スタート）をクリックし、「スタート」メニューを表示します。**

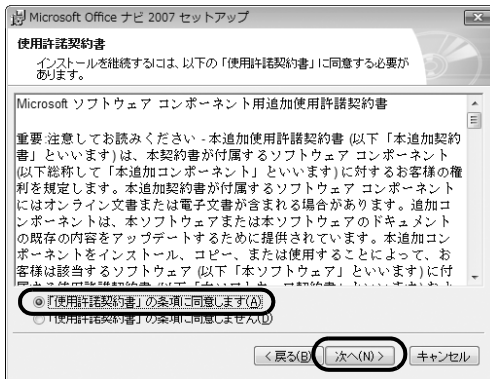
2 **「検索ボックス」に半角文字で次のように入力し、【Enter】を押します。**

```
C:¥pifmae¥owelcome¥owelcome.msi
```

「Microsoft Office ナビ 2007 セットアップ」画面が表示されます。

3 「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約書」が表示されます。

4 「使用許諾契約書」の内容をご覧になり、同意いただけるときは「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして ◉ にし、「次へ」をクリックします。

5 「セットアップ先のフォルダ」と表示されたら、「次へ」をクリックします。

6 「インストールの開始」と表示されたら、「次へ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

7 「続行」をクリックします。

インストールが始まります。しばらくお待ちください。

8 インストール終了のメッセージが表示されたら、「完了」をクリックします。

「プロアトラス SV2 for FUJITSU」をインストールする

「プロアトラス SV2 for FUJITSU」を用意してください。
カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は添付されていません。

POINT

TEO をお使いの方は

TEO は、リカバリを実行すると「プロアトラス SV2 for FUJITSU」がインストールされるので、この操作は不要です。

BIBLO LOOX T シリーズをお使いの方は

BIBLO LOOX T シリーズでは、「プロアトラス SV2 for FUJITSU」はご購入時にインストールされていません。
ご購入時と同じ状態にする場合はこの操作は不要ですが、次の手順を参考にインストールが可能です。

1 「プロアトラスSV2 for FUJITSU」をセットします。

2 「自動再生」ウィンドウが表示されたら、「autorun.exe の実行」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

3 「続行」をクリックします。

「プロアトラス SV2 for FUJITSU セットアップ」画面が表示されます。

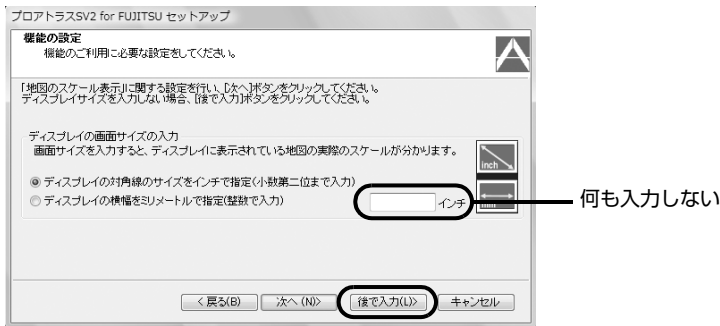
4 「プロアトラスSV2 for FUJITSU セットアップへようこそ」というウィンドウで「次へ」をクリックします。

5 「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックします。

6 「インストール方法の選択」というウィンドウで「標準インストール」をクリックします。

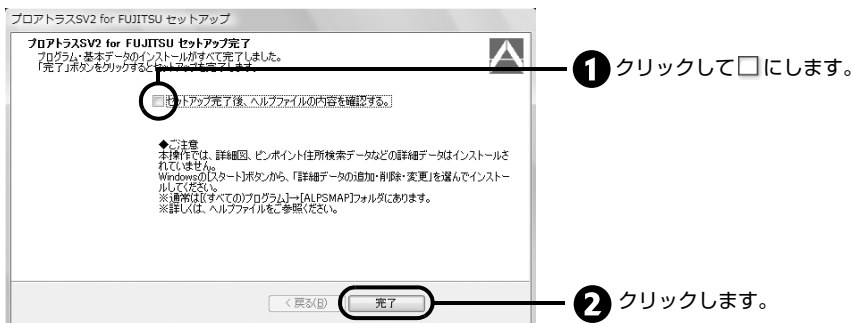
4

パソコンを復元する(リカバリ)

7 「機能の設定」というウィンドウで、そのまま何も入力しないで「後で入力」をクリックします。

8 「インストールの開始」というウィンドウで「インストール」をクリックします。

インストールが始まります。しばらくお待ちください。

9 「プロアトラス SV2 for FUJITSU ユーザー登録と詳細データのインストールのご案内」というウィンドウで「次へ」をクリックします。

10 次の画面の操作を行います。

11 「プロアトラス SV2 for FUJITSU」を取り出します。

パソコンをご購入時と同じ設定にする

パソコンをご購入時と同じ状態にするために、デスクトップのショートカットアイコンを削除します。

デスクトップのショートカットアイコンを削除する

ソフトウェアのインストール後に表示された次のショートカットアイコンを、（ごみ箱）にドラッグして削除してください。

- （プロアトラス SV2）

この後は、「以前の環境に近づける」（P.128）をご覧になり、パソコンを以前に使っていた環境に近づけてください。

第５章

廃棄・リサイクル

廃棄・リサイクル

1 回収・再資源化専用窓口　富士通パソコンリサイクル受付センターのご案内

個人でご購入のお客様が本製品を廃棄する場合は、回収・再資源化専用窓口　富士通パソコンリサイクル受付センターにご連絡ください。

回収・再資源化専用窓口　富士通パソコンリサイクル受付センター	
お申し込み URL	http://azby.fmworld.net/recycle/
お問い合わせ先	03-5715-3140［受付時間 9:00 ～ 17:00（土・日・祝日および弊社指定休日を除く）］

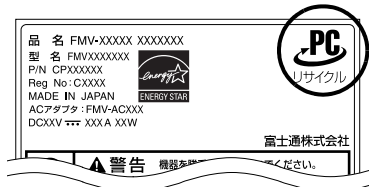
※ 引越しなどでパソコンのリサイクルをお急ぎの場合は、お手続きの早いクレジットカードでのお支払いでお申し込みいただくことをお勧めします。
詳しくは、上記ホームページより「引越し等でパソコンリサイクルをお急ぎのお客様へ」をクリックしてください。

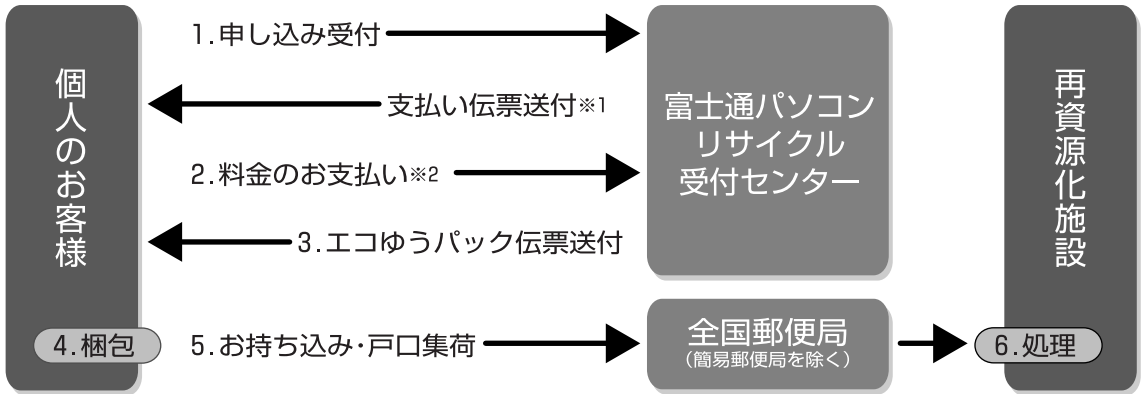
重要

法人、企業のお客様へ

「富士通パソコンリサイクル受付センター」は、個人のお客様専用受付窓口のため、法人、企業のお客様はご利用いただけません。
法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーの皆様が協力しあって、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです。PC リサイクルマークがついた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。
PC リサイクルマークのついていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、ホームページをご確認ください。

（装置銘板は機種により異なります）

ご利用の流れ

1 ホームページからお申し込みください。
2 PC リサイクルマークのついていないパソコンは、事前に料金をお支払いただきます。
3 パソコンに貼るエコゆうパック伝票をお届けします。
（伝票には有効期限がありますのでご注意ください。）
4 パソコン・ディスプレイをお客様自身で梱包していただきます。
5 梱包したパソコンにエコゆうパック伝票を貼り、郵便局（簡易郵便局を除く）にお持込みいただくか、郵便局にご連絡いただきご自宅での引き取りを行います。
6 お引き渡しいただいたパソコンは、当社指定の配送業者が当社指定の再資源化処理業者まで配送し、再資源化処理業者にて、法律に沿った適正な再資源化処理を行います。

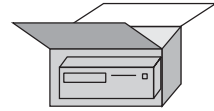
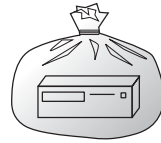
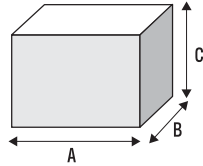
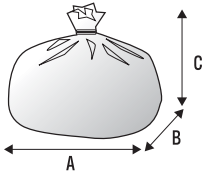
サービスをご利用になる上で

- 他社製パソコンは弊社では回収・再資源化できません。各製造メーカーにお申し込みください。
- ガラス面が破損した CRT ディスプレイなど、運送上危険なものは回収できません。
- デスクトップパソコンの場合、パソコン本体とディスプレイそれぞれの申込手続と梱包が必要です。
- ご購入時の標準添付品のうち、マウス、キーボード、ケーブル類、スピーカーなどは本体と一緒に梱包していただければ同時に回収いたします（マニュアル、フロッピーディスク／ CD-ROM 媒体などは回収できません）。
- エコゆうパック伝票に同封されている「使用済家庭用パーソナルコンピュータ回収委託規約」を必ずお読みいただき、同意した上でお引き渡しください。
- エコゆうパックは、コンビニエンスストアではお取扱いできません。
- エコゆうパック伝票には有効期限がありますので、速やかにお引き渡しいただきますようお願いいたします。
- お引き渡しされた後は、再資源化のキャンセル／パソコンの返却はできません。
- お引き渡しになる際には、パソコン内のデータはお客様ご自身の責任で消去してください。データの消去については、「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」（••▶P.145）をご覧ください。

- 廃棄前に、次の媒体がパソコン本体にセットされたままになっていないか確認してください。
  - フロッピーディスク
  - CD/DVD などのディスク
  - メモリーカード

  など

梱包する際に

梱包の条件は次の通りです。

■厚手のポリ袋(薄手のポリ袋は2枚重ね)やビニール袋などの破れにくい袋、もしくは段ボール箱
■使用済みパソコンは、重さ30kgまで
■A ＋ B ＋ C の長さ＝1.7m以内
※1.7m以内になるように梱包願います。

○ キーボード、マウス、電源ケーブルなどの標準添付品

×
梱包した使用済みパソコンが 30Kg を超える、梱包の縦、横、高さの合計が 1.7m を超えるなどの理由により、郵便局で引き取りができない場合があります。その際は、富士通パソコンリサイクル受付センターまでご連絡ください。エコゆうパック伝票はビニールケースに入れたまま、裏面をはがし、梱包箱（もしくは袋）の上面や側面の目立つ場所に貼り付けてください。

2 廃棄に関するご注意

ここでは、本製品（付属品を含む）を廃棄する場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに入っているハードディスクという記憶装置には、お客様の重要なデータが記録されています。したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」を使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- リカバリを実行して、ご購入時の状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけという状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS からデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているのです。したがって、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
パソコンの廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアやサービス（有料）を利用することをお勧めします。また、廃棄する場合は、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊することをお勧めします。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、ソフトウェアなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。
このパソコンには、パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の一つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除や初期化と違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェアの使用によりデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。

「ハードディスクデータ消去」の使い方

「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、次の点にご注意ください。

- 必要なデータはバックアップしてください。
- データ消去終了まで、数時間かかります。
- 途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- BIBLO の場合、必ず AC アダプタを使用してください。
- 周辺機器は取り外してください。
- 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を用意してください。
- ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます。

準備ができたら、次の手順に従って、「ハードディスクデータ消去」を実行します。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 お使いの機種に合わせて、次の操作を行います。

・DESKPOWER LX シリーズの場合
電源が切れた状態で、パソコン前面のフラップを開けて診断ボタンを押します。
起動メニューが表示されたら、手順 4 に進んでください。
起動メニューが表示されないときは、キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備して、手順 3 に進んでください。

・BIBLO NF75/70/50/40 シリーズ、MG70 シリーズの場合
電源が切れた状態で Support ボタンを押します。
この後、手順 4 に進んでください。

・上記以外の機種の場合
キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。この後、手順 3 に進んでください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が変わるまで何度も押してください。

> **重要**
>
> **FUJITSU ロゴ画面が表示されないときは**
>
> （スタート）→ ［▶］の［▶］→「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

4 「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 表示されたメニューで【↓】を押して CD/DVD ドライブに該当する項目を選択し、【Enter】を押します。

6 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。
「トラブル解決ナビ」が表示されます。

7 「ユーティリティ」タブをクリックして「ハードディスクデータ消去」をクリックし、「実行」をクリックします。

「ハードディスクデータ消去」の画面が表示されます。

8 内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、「同意します」をクリックして ◉ にし、「次へ」をクリックします。

消去するハードディスクを選ぶ画面が表示されます。

9 データを消去したいハードディスクをクリックして ☑ にし、「次へ」をクリックします。

データを消去する方式を選ぶ画面が表示されます。

10「固定データ書き込み」または「DoD 標準（米国国防総省規格）」のどちらかを選んで ◉にし、「次へ」をクリックします。
エラーが発生したときの処理を選ぶ画面が表示されます。

11 内容をよくお読みになり、「ハードディスクのエラーを検出した時点で処理を中断します【推奨】」または「エラーを検出した際、その部分をスキップして処理を継続します」のどちらかをクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。
ハードディスクの情報と、データ消去中の注意事項が表示されます。

12 内容をよくお読みになり、データの消去を実行してもよい場合は、「開始」をクリックします。
確認のウィンドウが表示されます。

13「OK」をクリックします。
データ消去が始まります。消去には、数時間かかります。

14「電源（パソコン電源）ボタンを４秒以上押し続けて電源を切ってください。」と表示されたら、「リカバリ＆ユーティリティディスク」を取り出します。

15 電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けて、パソコンの電源を切ります。

法人、企業のお客様へ

弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ消去サービス」をご用意しております。
消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

ソフト消去	専用ソフトウェアを使って、ハードディスクに対して 2 回上書き（ランダムデータ+0データ）することにより残存するデータを完全に消去します。DoD や NSA など海外の各種消去規格にも対応可能です。
ハード消去	消磁装置を使用してハードディスクを磁気的に破壊します（最大磁力：13000 ガウス）。

消去証明として富士通が消去証明書を発行し、消去済ナンバリングシールを対象ディスクに貼付して、納品物とします。
詳しくは、「データ消去サービス」（http://segroup.fujitsu.com/fs/services/h_elimination/）をご覧ください。
お問い合わせ／お申し込み先　メールアドレス：fbprj@support.fujitsu.com

使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

使用済みバッテリの取り扱いについて

【BIBLO のみ】

- リチウムイオン電池およびニッケル水素電池のバッテリパック、バッテリユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

▼ バッテリの仕様

『FMV 取扱ガイド』

▼ バッテリの取り外し方

『画面で見るマニュアル』 »「000560」で検索

→「内蔵バッテリパックを交換する」

個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページ（http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html）をご覧ください。
弊社は、有限責任中間法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「IT製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Li-ion

第 6 章

付録

付録

1 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使ってできること

「リカバリ＆ユーティリティディスク」では、リカバリを行う以外にも、バックアップやハードディスクの領域の変更、ハードディスクのフォーマットなどいろいろなことができます。
ただし、機種により「リカバリ＆ユーティリティディスク」でできることは異なります。

Windows が起動しないときにバックアップする

Windows が起動できない場合は、「リカバリ＆ユーティリティディスク」の「かんたんバックアップレスキュー」を使って、大切なデータのバックアップを行うことができます。次の手順に従って操作してください。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 お使いの機種に合わせて、次の操作を行います。

■DESKPOWER LX シリーズの場合
電源が切れた状態で、パソコン前面のフラップを開けて診断ボタンを押します。起動メニューが表示されたら、手順 4 に進んでください。
起動メニューが表示されないときは、キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備して、手順 3 に進んでください。

■BIBLO NF75/70/50/40 シリーズ、MG70 シリーズの場合
電源が切れた状態で Support ボタンを押します。この後、手順 4 に進んでください。

■上記以外の機種の場合
キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。この後、手順 3 に進んでください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が変わるまで何度も押してください。

> **重要**
>
> FUJITSU ロゴ画面が表示されないときは
>
> （スタート）→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

4 起動メニューが表示されたら、「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

5 **表示されたメニューで【↓】を押してCD/DVDドライブに該当する項目を選択し、【Enter】を押します。**

6 **そのまましばらくお待ちください。**

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 **「トラブル解決ナビ」で、「ユーティリティ」タブをクリックします。**

重要

「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示された場合

まれに、「トラブル解決ナビ」が表示されず、「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示されてしまうことがあります。
このときは、必ず「キャンセル」をクリックし、手順 1 からやり直してください。

8 **「かんたんバックアップレスキュー」をクリックし、「実行」をクリックします。**

9 **「かんたんバックアップレスキューのワンポイント」ウィンドウの内容を確認し、「閉じる」をクリックします。**

10 **「項目を選択して保存を実行」をクリックします。**

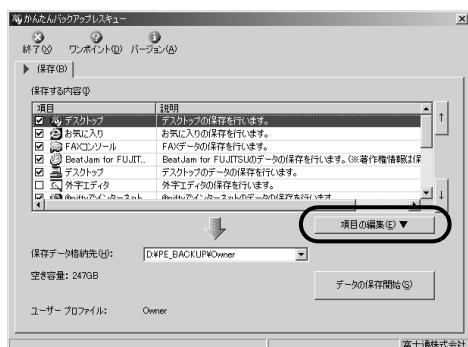
11 **「保存するユーザー プロファイル フォルダを選択してください」ウィンドウで、データを保存したい［ユーザー プロファイル フォルダ］をクリックし、「OK」をクリックします。**

12 「保存する内容」の一覧から、バックアップしたい項目の□をクリックして☑にします。

すでに☑になっている場合は、クリックする必要はありません。

POINT

お客様が作成したファイルやフォルダを保存したい場合

「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウの「項目の編集」をクリックし、「追加」をクリックすると、バックアップするファイルやフォルダを追加することができます。

13 「保存データ格納先」が「D:¥PE_BACKUP¥［手順 11 で選択したユーザー プロファイル フォルダ］」になっているか確認します。

バックアップしたデータは D ドライブに保存されます。

14 「データの保存開始」をクリックします。

15 「かんたんバックアップレスキュー－保存開始」ウィンドウで保存項目を確認し、「開始」をクリックします。

16 「かんたんバックアップレスキュー－保存結果」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。

17 「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウで左上にある「終了」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」に戻ります。

POINT

複数のユーザーアカウントでお使いの場合

必要に応じて、他のユーザーのデータもバックアップしてください。バックアップを行わないとデータが消えてしまいます。他のユーザーのデータをバックアップするには、再度手順 8 から操作し直してください。手順 11 で他のユーザー プロファイル フォルダを選択し、そのまま操作を続けてください。

これでデータのバックアップは終了です。パソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンを復元する（リカバリ）」（••▶ P.101）をご覧ください。
パソコンをご購入時の状態に戻した後、バックアップしたデータをお使いになるには、「FM かんたんバックアップ」というソフトウェアが必要です。詳しくは、「「FM かんたんバックアップ」で復元する」（••▶ P.38）をご覧ください。

ハードディスクの内容を消去する

ハードディスク上からデータを完全に消すことができます。パソコンを廃棄したり、他人に譲渡したりするときなどに、お使いになることをお勧めします。
ハードディスクの内容の消去については、「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」（••▶ P.145）をご覧ください。

C ドライブと D ドライブの割合を変更する（領域を変更するリカバリ）

次の機種は除く：BIBLO NX95W/D、ハードディスク容量を320GB以上に選択されたNX90WN/D

「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使ってC ドライブとD ドライブの割合を変更することができます。
ただし、BIBLO NX95W/D、ハードディスク容量を320GB以上に選択されたNX90WN/Dをお使いの方は、CドライブとDドライブの割合を変更することはできません。

重要

データはすべて削除されます

この操作をすると、ハードディスク内のデータ（Cドライブ、Dドライブ共に）がすべて削除されます。「「FMかんたんバックアップ」でバックアップ」（••▶ P.31）をご覧になり、必要なデータはあらかじめCD/DVD など別の媒体にバックアップをしておいてください。

NTFS に設定されます

FAT32 に設定してある場合も、C ドライブ、D ドライブ共に自動で NTFS に変更されます。

ドライブの容量制限

ドライブの容量制限は次のとおりです。これより小さくすることはできません。
- ハードディスクドライブが 60GB の場合
  C ドライブの最小容量は 27GB、D ドライブの最小容量は 10GB です。
- ハードディスクドライブが 80GB の場合
  C ドライブの最小容量は 36GB、D ドライブの最小容量は 10GB です。
- ハードディスクドライブが 100GB 以上の場合
  C ドライブの最小容量は 50GB、D ドライブの最小容量は 10GB です。

ハードディスクドライブについては、『F M V 取扱ガイド』→「仕様一覧」をご覧ください。

1　パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 お使いの機種に合わせて、次の操作を行います。

■DESKPOWER LX シリーズの場合
電源が切れた状態で、パソコン前面のフラップを開けて診断ボタンを押します。起動メニューが表示されたら、手順 4 に進んでください。
起動メニューが表示されないときは、キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備して、手順 3 に進んでください。

■BIBLO NF75/70/50/40 シリーズ、MG70 シリーズの場合
電源が切れた状態で Support ボタンを押します。この後、手順 4 に進んでください。

■上記以外の機種の場合
キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。この後、手順 3 に進んでください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が変わるまで何度も押してください。

重要

FUJITSU ロゴ画面が表示されないときは

（スタート）→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

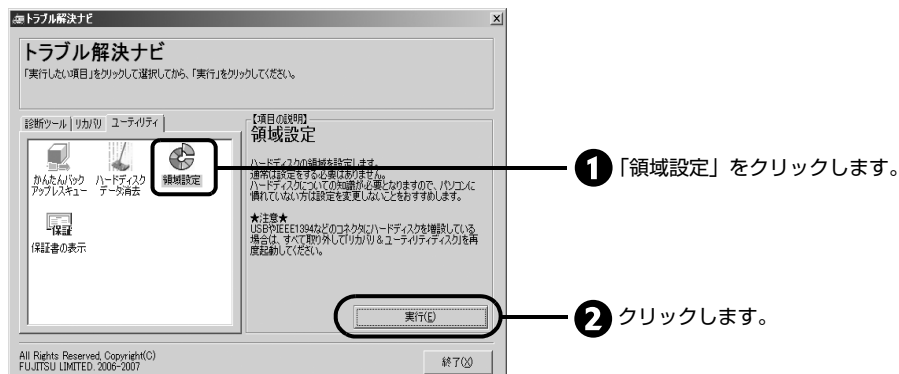
4 起動メニューが表示されたら、「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 表示されたメニューで【↓】を押して CD/DVD ドライブに該当する項目を選択し、【Enter】を押します。

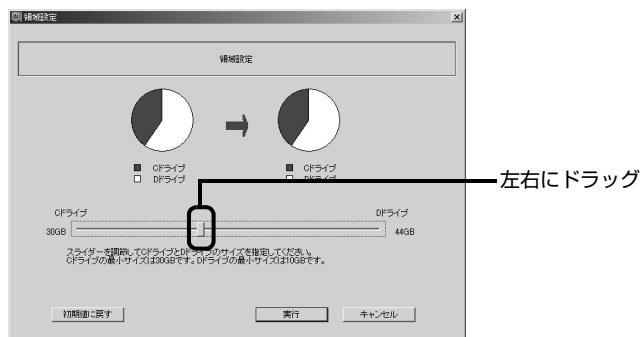
6 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 「ユーティリティ」タブをクリックし、次の画面の操作を行います。

（アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります）

8 「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。

9 スライダーを左右にドラッグして、C ドライブとD ドライブの容量を指定します。

（画面は機種や状況により異なります）

ハードディスクの容量を、ご購入時と同じ状態にしたいときは

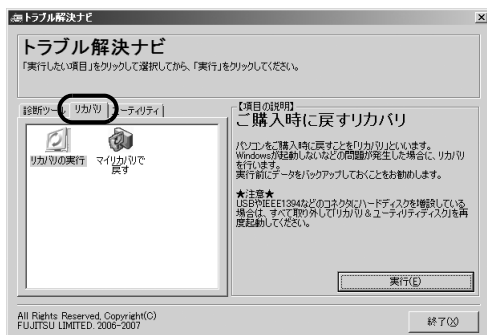
ご購入時と同じ状態にするには、「初期値に戻す」をクリックしてください。C ドライブの容量がご購入時と同じ状態に設定されます。

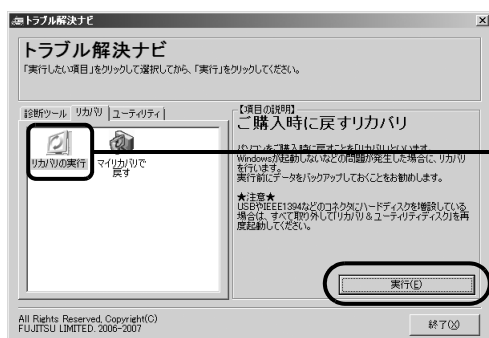
10 容量を決めたら、「実行」をクリックします。

11 「はい」をクリックします。

ハードディスクの領域が設定されます。

12 「完了」をクリックします。

13 「リカバリ」タブをクリックします。

14 この後、リカバリの作業を行います。

この後通常のリカバリを行うことで、領域の変更が完了します。

15 「STEP 4 「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する」の手順 8 (··▶ P.116) に進んでください。

ハードディスクをフォーマットする

対象機種：BIBLO NX95W/D、ハードディスク容量を 320GB 以上に選択された NX90WN/D

「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使って、搭載されている 2 台のハードディスク（C ドライブ、D ドライブ）のうち、片方のハードディスクのみをフォーマットすることができます。

重要

フォーマットするドライブのデータはすべて削除されます

この操作を行うと、フォーマットするドライブにあるデータはすべて削除されます。「「FM かんたんバックアップ」でバックアップ」（··▶ P.31）をご覧になり、必要なデータは、あらかじめ CD/DVD などの別の媒体や他のドライブにバックアップしておいてください。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 キーボードの 【F12】 の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSUのロゴ画面が表示されたら、すぐに 【F12】 を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が変わるまで何度も押してください。

重要

FUJITSU ロゴ画面が表示されないときは

（スタート）→ ▶ の ▶ →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

4 **起動メニューが表示されたら、「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。**

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 **表示されたメニューで【↓】を押してCD/DVD ドライブに該当する項目を選択し、【Enter】を押します。**

6 **そのまましばらくお待ちください。**

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 **「ユーティリティ」タブをクリックします。**

8 **「[フォーマットしたいドライブ名] のみフォーマット」をクリックして選択し、「実行」をクリックします。**

C ドライブをフォーマットしたい場合は、「C ドライブのみフォーマット」をクリックします。
D ドライブをフォーマットしたい場合は、「D ドライブのみフォーマット」をクリックします。

9 **「同意する」をクリックしてにし、「次へ」をクリックします。**

フォーマットが始まります。

10 **「領域を設定しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。**

「トラブル解決ナビ」に戻ります。

11 **「終了」をクリックします。**

12 **メッセージが表示されたら、ディスクを取り出し、「終了」をクリックします。**

付録

2 「アプリケーションディスク」に搭載されているソフトウェアを使う

このパソコンには、あらかじめソフトウェアがインストールされています。インストールされているソフトウェアは、「アプリケーションディスク」にも搭載されています。
ほとんどのソフトウェアは、ディスクがなくてもお使いになれますが、次の場合は、添付のディスクからソフトウェアをインストールする必要があります。

ご購入時にインストールされていないソフトウェアをお使いになる場合

「学研パーソナル統合辞典」をお使いになるには（BIBLO LOOX を除く）

「学研パーソナル統合辞典」は、ご購入時にはパソコンにインストールされていません。「アプリケーションディスク」からインストールしてお使いください。
インストールする方法についてはソフトウェアの説明をご覧ください。

参照
▼ ソフトウェアの説明を表示するには
『画面で見るマニュアル』
→「7. 添付ソフトウェア一覧（読み別）」

BIBLO LOOX、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は

BIBLO LOOX、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方は、「アプリケーションディスク」からインストールして使うソフトウェアがあります。
インストールが必要なソフトウェアについては、ソフトウェア搭載状況一覧をご覧ください。

参照
▼ ソフトウェア搭載状況一覧を表示するには
『画面で見るマニュアル』
→「7. 添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「ソフトウェア搭載状況一覧」

「アプリケーションディスク」の内容について

「アプリケーションディスク」には、次のものが収録されています。

- ソフトウェア
- ドライバ
  ドライバを更新する方法については、「ドライバを更新する」（••▶ P.162）をご覧ください。
- indexcd.htm
  「indexcd」をクリックすると、収録されているソフトウェアのフォルダ／ファイル名の一覧が表示されます。

3 付録

補足情報

ここでは、トラブルを解決するときによく行う操作について紹介します。

ドライバを更新する

サウンドの再生や画面表示などが正常に行われないとき、ドライバを更新すると問題が解決できる場合があります。次の方法でドライバを更新してください。

重要

ドライバを更新する前に

ドライバを更新する前に、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。
スクリーンセーバーを設定している場合は、スクリーンセーバーを「なし」に設定してください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「920740」で検索
→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

インターネットに接続してドライバを更新する

各ドライバは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバがインターネット上で公開されている場合があります。

■「アップデートナビ」で最新のドライバを確認する

お使いのパソコンに搭載されているドライバなどの最新情報は、「アップデートナビ」で確認することができます。更新情報の確認後、そのままインストールすることもできるので便利です。
アップデートナビについては、『スタートガイド2　セットアップ編』→「FMVを最新の状態にする」→「アップデートナビを実行する」をご覧ください。

■ホームページで最新のドライバを確認する

ドライバなどの最新情報は、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ドライバダウンロード」をご覧ください。
「ドライバダウンロード」については、『画面で見るマニュアル』→「インターネットのサポート情報」からもご覧いただけます。

その他

プリンタなど、このパソコンに添付されていない周辺機器のドライバについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

セーフモードで起動する

パソコンに何らかのトラブルが発生したときに、Windows をセーフモードで起動すると、最小限の機能で起動できます。次の手順に従って操作してください。

1　キーボードの【F8】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

2　パソコンの電源を入れます。

電源が入っている場合は再起動します。

3　FUJITSU のロゴ画面が表示されたらすぐに【F8】を押します。

FUJITSU ロゴ画面が表示されない場合は、(スタート)→ の→「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。

【F8】を押すのが遅かった場合

セーフモードではなく、通常の状態で Windows が起動します。
次の操作を行い、手順 3(【F8】を押す)からやり直してください。

1. (スタート)→ の→「再起動」の順にクリックします。
   Windows が再起動します。

4　「オペレーティング　システムの選択」画面が表示されたら、お使いのOSが選択されていることを確認し、【F8】を押します。

5　【↑】【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押します。

POINT

「前回正常起動時の構成」とは

前回正常に Windows が起動したときの設定が保存されています。
原因がよくわからない場合は、こちらを選択することをお勧めします。

セーフモードで起動します。

6
付録

[F8] を押しても Windows が起動してしまう場合

次の操作でセーフモードにすることもできます。

・セーフモードで起動する

1. （スタート）をクリックし、「スタート」メニューを表示します。
2. 「検索ボックス」に半角英数で次のように入力し、[Enter] を押します。

```
msconfig
```

3. 「ユーザーアカウントの制御」ウィンドウが表示されたら、「続行」をクリックします。
4. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「ブート」タブをクリックします。
5. 「ブートオプション」で「セーフブート」の□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。
6. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。
   Windows が再起動します。
   セーフモードで起動します。

・セーフモードから通常の状態に戻す

1. この POINT 内の「セーフモードで起動する」の手順 2、3 を実行します。
2. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「全般」タブをクリックします。
3. 「スタートアップの選択」で「通常スタートアップ」の○をクリックして◉にし、「OK」をクリックします。
4. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。
   Windows が再起動します。

セーフモードで起動しても問題が見つけられず、Windows が正常に起動しない場合は、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンを復元する（リカバリ）」（••▶ P.101）をご覧ください。

BIOS をご購入時の状態に戻す

Windows が起動しないときなど、BIOS セットアップを起動し、BIOS の設定を戻すと問題が解決できることがあります。

DESKPOWER、TEO の場合

1 **キーボードの F2 の位置を確認し、押せるように準備しておきます。**

2 **パソコンの電源を入れます。**

3 **FUJITSU のロゴ画面が表示されたら F2 を押します。**
F2 を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
FUJITSU ロゴ画面が表示されない場合は、（スタート）→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して FUJITSU ロゴ画面を表示させてください。
タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しない場合は、次の操作を行ってください。
・Windows が起動した場合
Windows を再起動して、手順 3 から操作をやり直してください。
・Windows が起動しない場合
電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度最初から操作をやり直してください。

4 **「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで Enter を押します。**

5 **Y を押す、または「はい」を選んで Enter を押します。**

6 **「変更を保存して終了する（再起動）」を選んで Enter を押します。**

7 **Y を押す、または「はい」を選んで Enter を押します。**
Windows が起動します。

6
付録

BIBLO の場合

1 **キーボードの【F2】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。**

2 **パソコンの電源を入れます。**

3 **FUJITSU のロゴ画面が表示されたら【F2】を押します。**

【F2】を軽く押しただけでは BIOS セットアップが起動しない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
タイミングが合わずに BIOS セットアップが起動しない場合は、次の操作を行ってください。
・Windows が起動した場合
　Windows を再起動して、手順 3 から操作をやり直してください。
・Windows が起動しない場合
　電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、もう一度最初から操作をやり直してください。

POINT

次の方法でも BIOS セットアップが起動できます

1. FUJITSUのロゴ画面が表示されている間に、【Enter】を押します。
   ポップアップメニューが表示されます。
2. 【↓】を押して「BIOS セットアップ」を選択し、もう一度【Enter】を押します。
   しばらくすると、BIOS セットアップが起動します。

4 **「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。**

5 **「はい」を選んで【Enter】を押します。**

6 **「変更を保存して終了する」を選んで【Enter】を押します。**

7 **「はい」を選んで【Enter】を押します。**

Windows が起動します。

4 付録

文字コードの取り扱いに関するご注意

環境依存文字の取り扱いについて

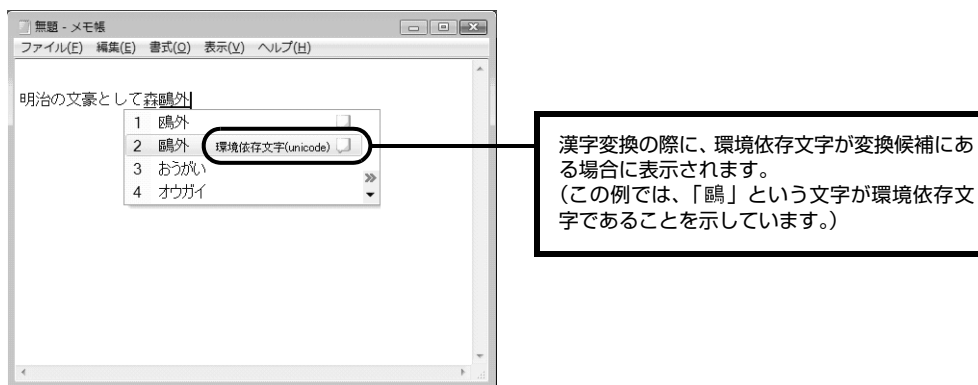
環境依存文字とは、お使いのソフトや相手のパソコンの環境によって、正しく表示されない可能性のある文字のことです。
文書データなどを作成するときに環境依存文字を使用すると、E メールやホームページ上で字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。

環境依存文字を使用すると、次のようなトラブルが起きることがあります。
トラブルを避けるため、環境依存文字はできるだけ使用しないことをお勧めします。

- E メールのやりとりで環境依存文字を使用すると、送信側と受信側で、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
- ソフトウェアが環境依存文字に対応していない場合、ソフトウェアが環境依存文字を正しく表示したり認識したりできない場合があります。
- お使いのプリンタによっては、環境依存文字を使用して印刷すると、字形が異なったり崩れたりして印刷される場合があります。
- インターネットのサイトなどで運用側のシステムが環境依存文字に対応していない場合、環境依存文字を入力すると、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
  例　ショッピングサイト、検索サイト、ブログ、ホームページ、インターネット掲示板など

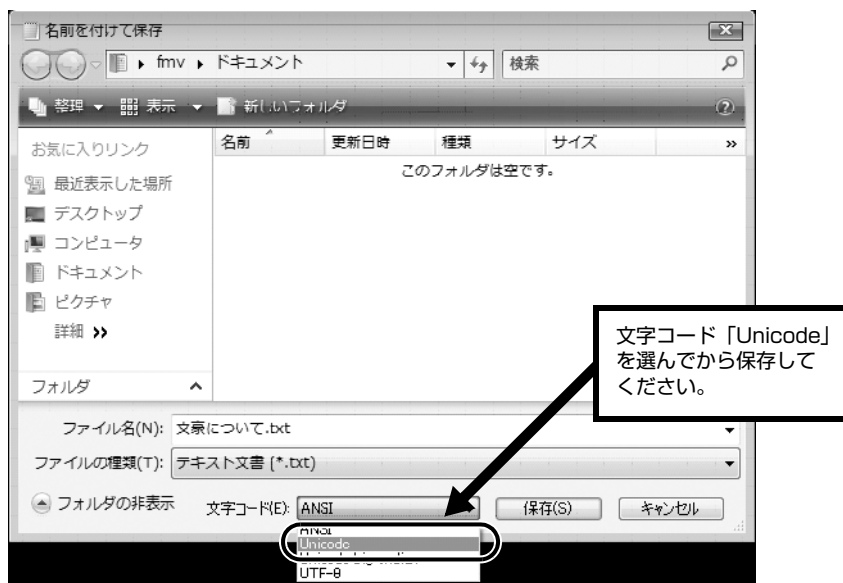
Windows Vista では、環境依存文字を取り扱うときに、注意を促すメッセージが表示されます。
次に表示されるメッセージの例を説明します。

例 1　文字入力中に環境依存文字を示すメッセージ

6
付録

例 2　環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されるメッセージ

- 環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されます。
  「キャンセル」をクリックすると作成中の状態に戻るので、環境依存文字を変更して保存し直すことをお勧めします。

文字コードを他の形式にして保存する

環境依存文字を含んだファイルは、次のように文字コードを Unicode 形式にすることで保存できます。
ただし、文字コードを他の形式にするため、意図と異なる文字や字形として保存される場合がありますのでご注意ください。

Windows Vista と従来 OS との文字の互換性（2007 年 2 月現在）

Windows Vista は、日本工業規格「JIS X 0213:2004」に対応しています。Windows XP 以前の OS は「JIS X 0213:2004」に対応していないため、「JIS X 0213:2004」で新たに追加された文字や字形変更された文字を使用して作った文書データは、従来 OS では、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。また、従来 OS で作られた文書データに、「JIS X 0213:2004」で字形変更された文字が含まれる場合は、異なった字形で表示されます。

参考：JIS X 0213:2004 改正における字形変更の比較（一例）

改正後字形：Windows Vista　改正前字形：Windows XP など

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
5026	倦	倦	5C60	屠	屠	6753	杓	杓	701E	瀞	瀞
50C5	僅	僅	5DF7	巷	巷	6962	楢	楢	7026	瀦	瀦
5132	儲	儲	5E96	庖	庖	698A	榊	榊	7058	灘	灘
51A4	冤	冤	5EDF	廟	廟	6994	榔	榔	707C	灼	灼
537F	卿	卿	5FBD	徽	徽	69CC	槌	槌	7149	煉	煉
53A9	厩	厩	6062	恢	恢	6A0B	樋	樋	714E	煎	煎
53DB	叛	叛	6108	愈	愈	6A3D	樽	樽	717D	煽	煽
54E8	哨	哨	6241	扁	扁	6ADB	櫛	櫛	7259	牙	牙
55A9	喩	喩	6357	捗	捗	6B4E	歎	歎	7337	猷	猷
5632	嘲	嘲	6372	捲	捲	6C72	汲	汲	7511	甑	甑
5642	噂	噂	63C3	揃	揃	6DEB	淫	淫	75BC	疼	疼
564C	噌	噌	647A	摺	摺	6EA2	溢	溢	77A5	瞥	瞥
56C0	囀	囀	64B0	撰	撰	6EBA	溺	溺	7941	祁	祁
5835	堵	堵	64E2	擢	擢	6F23	漣	漣	7947	祇	祇
5C51	屑	屑	6666	晦	晦	7015	瀕	瀕	79B0	禰	禰

UCS: Universal multiple-octet coded Character Set

改正後字形：Windows Vista　改正前字形：Windows XP など

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
79E4	秤	秤	84EC	蓬	蓬	8CED	賭	賭	9306	錆	錆
7A7F	穿	穿	8511	蔑	蔑	8FBB	辻	辻	939A	鎚	鎚
7B08	笈	笈	853D	蔽	蔽	8FBF	辿	辿	9453	鑓	鑓
7B75	筵	筵	85A9	薩	薩	8FC2	迂	迂	9784	鞄	鞄
7BAD	箭	箭	85AF	薯	薯	8FC4	迄	迄	9798	鞘	鞘
7BB8	箸	箸	85F7	藷	藷	8FE6	迦	迦	98F4	飴	飴
7BC7	篇	篇	86F8	蛸	蛸	9017	逗	逗	9905	餅	餅
7BDD	篝	篝	8755	蝕	蝕	9019	這	這	990C	餌	餌
7C3E	簾	簾	8956	襖	襖	9022	逢	逢	9957	饗	饗
7C7E	籾	籾	8A1D	訝	訝	903C	逼	逼	9A19	騙	騙
7FEB	翫	翫	8A3B	註	註	9041	遁	遁	9BD6	鯖	鯖
7FF0	翰	翰	8A6E	詮	詮	905C	遜	遜	9C2F	鰯	鰯
817F	腿	腿	8AFA	諺	諺	9061	遡	遡	9C52	鱒	鱒
82A6	芦	芦	8B0E	謎	謎	912D	鄭	鄭	9D09	鴉	鴉
8328	茨	茨	8B2C	謬	謬	914B	酋	酋	9D60	鵠	鵠
845B	葛	葛	8C79	豹	豹						

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

索引

ま行

ら行

わ行

文字の入力のしかた

1 入力する場所をクリック。

2 半角/全角 を押す。

日本語が入力できる状態にする。

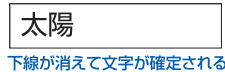
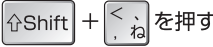
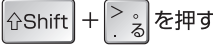
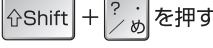
3 文字のキーを押す。

4 変換する。

漢字	変換	太陽
ひらがな	F6	たいよう
全角カタカナ	F7	タイヨウ
半角カタカナ	F8	ﾀｲﾖｳ
全角英字	F9	ｔａｉｙｏｕ
半角英字	F10	taiyou

5 Enter を押す。

太陽

下線が消えて文字が確定される

句読点や記号の入力

「、」や「。」などの句読点は、
次の表に示すキーを使って入力できます。

入力したい文字	キーの操作	
	ローマ字入力	かな入力
、(読点)	< 、ね を押す	⇧Shift ＋ < 、ね を押す
。(句点)	> 。る を押す	⇧Shift ＋ > 。る を押す
・(中黒)	? ・／め を押す	⇧Shift ＋ ? ・／め を押す
ー(長音)	= ー ほ を押す	| ¥ ー を押す

○や■などの記号は、次の表に示す読みを入力して変換できます。

入力したい文字	読み	入力したい文字	読み
～	から	㈱	かぶ
☆★※	ほし	〒	ゆうびん
←→↑↓	やじるし	℡	でんわ
「」『』【】	かっこ	①～⑳、Ⅰ～Ⅹ	いち、に、さん、･･･(以降同様)
○●◎	まる	々〃	おなじ
□■◇◆	しかく	ヶ	け／か

キーに刻印された文字の入力のしかた

ローマ字入力

上段は ⇧Shift (シフト)を押しながら押す

下段はそのまま押す

・ローマ字入力では原則として左側の文字を使用する
・キーの右側はかな入力用なので、ローマ字入力では使用しない(いくつか例外もある)

かな入力

上段は ⇧Shift (シフト)を押しながら押す

下段はそのまま押す

左側と右側は、入力モードを切り替えて打ち分ける

英字が入力できる状態

ひらがなが入力できる状態

かな・ローマ字対応表

あ	あ	い	う	え	お					
	A	I	U	E	O					
か	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KA	KI	KU	KE	KO	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
さ	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SA	SI	SU	SE	SO	SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
		(SHI)								
た	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	TA	TI	TU	TE	TO	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
		(CHI)	(TSU)							
な	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NA	NI	NU	NE	NO	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HA	HI	HU	HE	HO	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
			(FU)							
ま	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MA	MI	MU	ME	MO	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
や	や		ゆ		よ					
	YA		YU		YO					
ら	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RA	RI	RU	RE	RO	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
わ	わ	うぃ	う	うぇ	を					
	WA	WI	WU	WE	WO					
	ん		ヴ			ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	NN		VU			FA	FI		FE	FO
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GA	GI	GU	GE	GO	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
		(JI)				(JA)				(JO)
だ	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DA	DI	DU	DE	DO	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BA	BI	BU	BE	BO	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PA	PI	PU	PE	PO	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

小さい文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA	LI	LU	LE	LO
(XA)	(XI)	(XU)	(XE)	(XO)
ゃ	ゅ	ょ		っ
LYA	LYU	LYO		LTU
(XYA)	(XYU)	(XYO)		(XTU)

小さい「っ」は、子音（AIUEO以外）を
2回続けて押しても入力できます。

例）　にっき

N I K K I